

令和5年度

全国体力・運動能力、 運動習慣等調査

報告書

体力・運動能力の向上

体育・保健体育の授業

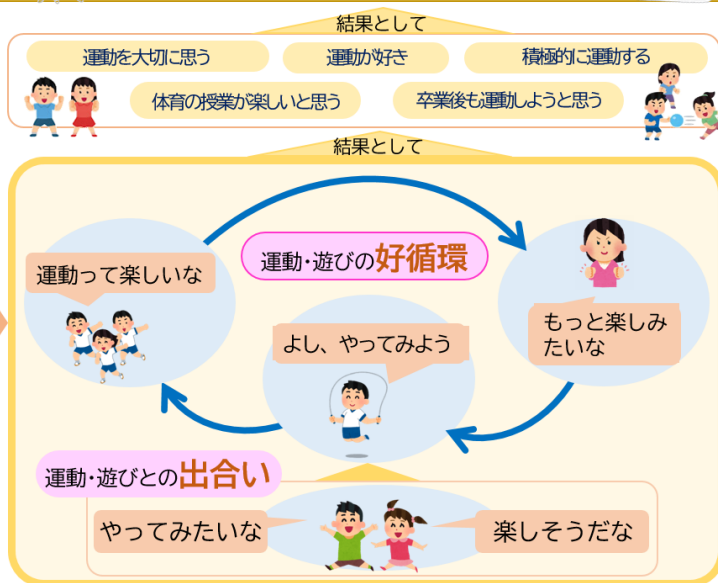
授業改善の視点

- 期待感
- 安心感
- 共感

+

授業づくりの基礎

- 楽しさ
- 目標
- バランスよく
- 運動量
- 安全



授業以外の取組

運動環境の整備

- 家庭
- 地域
- 時間
- 空間
- 仲間
- 学校

運動・遊びの内容

- 簡単
- 誰でも
- 継続性



令和6年3月
福岡県教育委員会

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「報告書」

目次

I 調査の概要

1

- I-1 調査の目的
- I-2 調査の対象の児童生徒
- I-3 調査内容
- I-4 調査の実施時期
- I-5 調査参加状況(政令指定都市を含む公立学校)

II 児童生徒に対する調査結果の概要

2

II-1 実技に関する調査

- (1) 体力合計点及び総合評価の算出方法
- (2) 体力合計点の調査結果の概要
- (3) 体力合計点の全国及び福岡県の状況
- (4) 体力合計点平均値の推移
- (5) 体力合計点の各地区の状況
- (6) 各種目の状況(T得点)
- (7) 総合評価の状況
- (8) 市町村別の状況

II-2 児童生徒に対する調査

- (1) 運動やスポーツに対する意識
 - ① 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の回答
 - ② 「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは、大切なものですか」の回答
 - ③ 「運動やスポーツに対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計
- (2) 1週間の総運動時間
 - ① 「学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをどのくらいしていますか」の回答
- (3) 体育・保健体育の授業に対する意識
 - ① 「体育・保健体育の授業は楽しいですか」の回答

III 学校に対する調査結果の概要

38

- (1) 家庭との連携について
 - ① 「運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか(複数回答可)」の回答
- (2) ICTの活用について
 - ① 「体育・保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか」の回答
 - ② 「体育・保健体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか」の回答

- (1) 1週間の総運動時間の推移
- (2) 肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移
- (3) 朝食を食べない児童生徒の推移
- (4) 1日の睡眠時間の推移
- (5) 1日のスクリーンタイムの推移
- (6) 体力総合評価の推移

「体育と保健を関連させた指導の現状と期待される子供の姿」

V-1 福岡県の体育・保健体育の授業の取組

V-2 「体育・保健体育の授業で大切にしていることを上位から3つ選んでください」に対する回答

V-3 「体育・保健体育の授業では、運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）との関連を図っていますか」に対する回答

V-4 体育と保健を関連させた指導の現状と期待される子供の姿

【調査結果に関する注意事項と説明】

- ① 「Ⅱ-1 実技に関する調査」については、政令市（福岡市・北九州市）を含んだデータとなっていますが、「Ⅱ-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市（福岡市・北九州市）を除いたデータとなっています。
- ② 「IV 児童生徒の運動習慣・生活習慣の状況について」における経年比較のグラフは、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は調査中止、令和3年度は標本数が大幅に減少しています。
- ③ 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。（複数回答を除く）

I 調査の概要

I—1 調査の目的

I—2 調査の対象の児童生徒

I—3 調査内容

I—4 調査の実施時期

I—5 調査参加状況(政令指定都市を含む公立学校)

I 調査の概要

I-1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

I-2 調査の対象の児童生徒

※ 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象。

- (1) 児童
小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員
- (2) 生徒
中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員

ただし、特別支援学校及び小学校、中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断する。

I-3 調査内容

- (1) 実技に関する調査

実 技 種 目 (小・中各8種目)
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン【中学校は持久走(男子1500m、女子1000m)との選択可】、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ【中学校はハンドボール投げ】

- (2) 質問紙調査(運動習慣、生活習慣等)

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
運動意欲、運動習慣、生活習慣、体育科・保健体育科の学習状況等に関する調査	体力向上に関する取組、体育科・保健体育科の学習指導状況等に関する調査

I-4 調査の実施時期

- (1) 実技に関する調査：令和5年4月から令和5年7月末まで
- (2) 質問紙調査：調査票到着から7月末まで
(児童生徒・学校)

I-5 調査参加状況 (政令指定都市を含む公立学校) ※体力合計点標本数

小 学 校		標 本 数	中 学 校		標 本 数
男 子	福岡県	22,691	男 子	福岡県	20,014
	全 国	498,654		全 国	446,511
女 子	福岡県	21,567	女 子	福岡県	19,364
	全 国	479,104		全 国	421,336

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ-1 実技に関する調査

- (1) 体力合計点及び総合評価の算出方法
- (2) 体力合計点の調査結果の概要
- (3) 体力合計点の全国及び福岡県の状況
- (4) 体力合計点平均値の推移
- (5) 体力合計点の各地区の状況
- (6) 各種目の状況(T得点)
- (7) 総合評価の状況
- (8) 市町村別の状況

【調査結果に関する注意事項と説明】

- ① 「Ⅱ-1 実技に関する調査」については、政令市(福岡市・北九州市)を含んだデータとなっていますが、「Ⅱ-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市(福岡市・北九州市)を除いたデータとなっています。
- ② 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。(複数回答を除く)

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－１実技に関する調査

(1) 体力合計点及び総合評価の算出方法

★種目別得点表★

○小学校男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

○小学校女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

★総合評価基準★

○小学校男女共通

段階	6歳(1年)	7歳(2年)	8歳(3年)	9歳(4年)	10歳(5年)	11歳(6年)
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

【種目別得点表について】

- ・全学年男女別種目別に、10段階に分けて得点化している。

【体力合計点について】

- ・上掲の種目別得点表から、実技8種目の合計得点を算出した数値である。
(10点満点×8種目＝80点満点)

【総合評価基準について】

- ・体力合計点を年齢(学年)に応じた小学校男女共通の総合評価基準にあてはめ、総合評価(A～E)を判定する。
- ・総合評価については、実技8種目すべてを実施した場合に判定するものとする。

★種目別得点表★

○中学校男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5'00"~5'16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5'17"~5'33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5'34"~5'55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5'56"~6'22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6'23"~6'50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6'51"~7'30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7'31"~8'19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8'20"~9'20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

○中学校女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3'50"~4'02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4'03"~4'19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4'20"~4'37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4'38"~4'56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4'57"~5'18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5'19"~5'42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5'43"~6'14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6'15"~6'57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

★総合評価基準★

○中学校男女共通

段階	12歳(中1)	13歳(中2)	14歳(中3)	15歳(高1)	16歳(高2)	17歳(高3)
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下

【種目別得点表について】

- ・全学年男女別種目別に、10段階に分けて得点化している。(小学校とは得点基準が異なる)

【体力合計点について】

- ・上掲の種目別得点表から、実技8種目の合計得点を算出した数値である。
(10点満点×8種目=80点満点)

【総合評価基準について】

- ・体力合計点を年齢(学年)に応じた中学校男女共通の総合評価基準にあてはめ、総合評価(A~E)を判定する。
- ・総合評価については、実技8種目すべてを実施した場合に判定するものとする。

(2) 体力合計点の調査結果の概要

令和5年度	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
福岡県体力合計点平均値	53.11	54.21	42.31	47.68
全国体力合計点平均値	52.59	54.28	41.32	47.22
全国平均値との差	+0.52	-0.07	+0.99	+0.46

※体力合計点の算出方法については、P2・P3を参照のこと

(3) 体力合計点の全国及び福岡県の状況

【全国の状況】

- 体力合計点平均値については、小学校男子及び中学校男子が昨年度を上回り、小学校女子は横ばい、中学校女子は下回った。

【福岡県の状況】

- 体力合計点平均値については、小学校男女及び中学校男女すべての区分で令和元年度を下回った。
- 小学校男子は8回連続、中学校男子は7回連続、中学校女子は6回連続で県平均値が全国平均値を上回った。
- 小学校女子は、全国平均値を下回った。

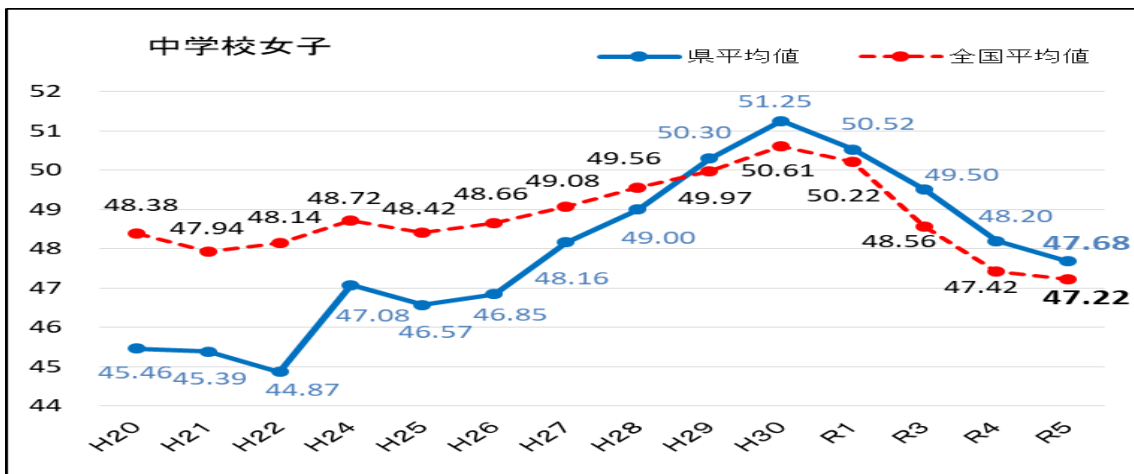
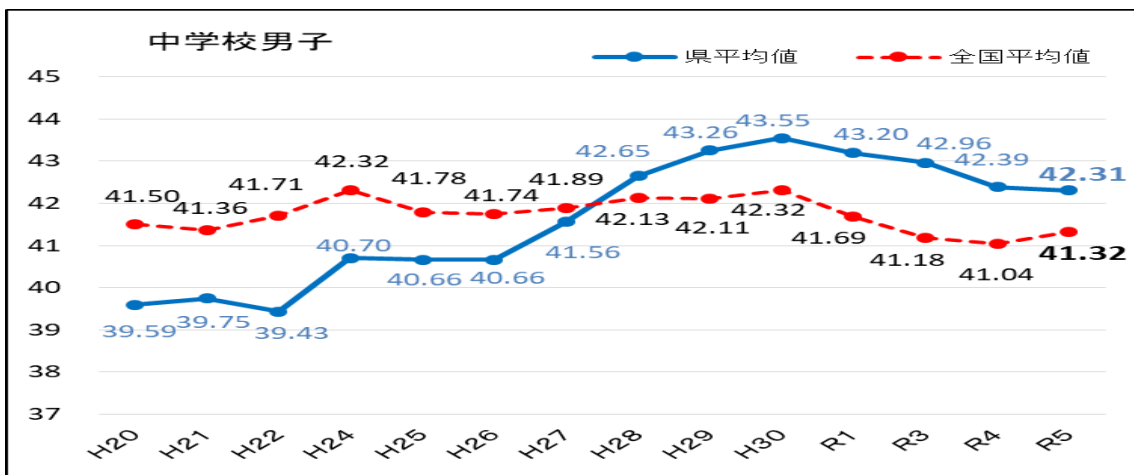
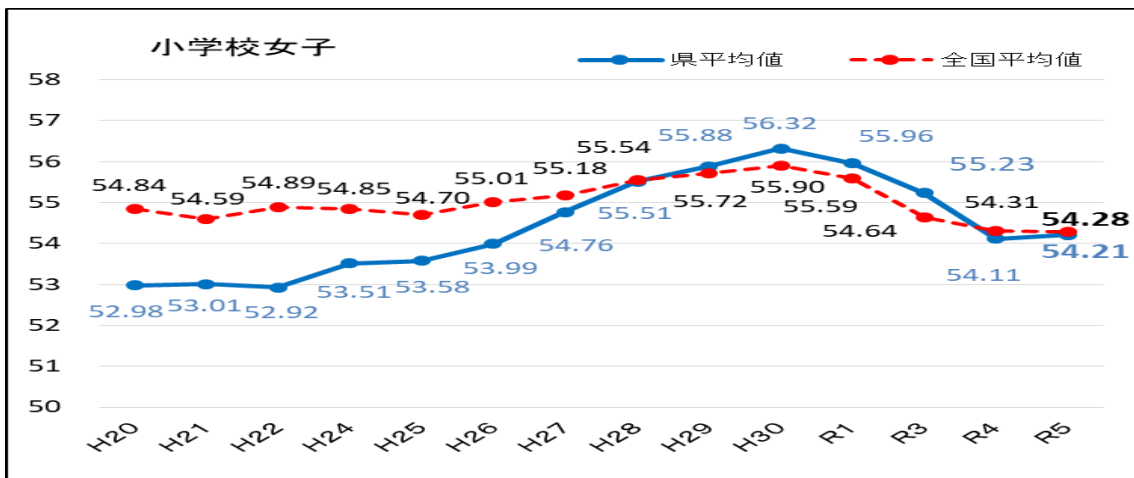
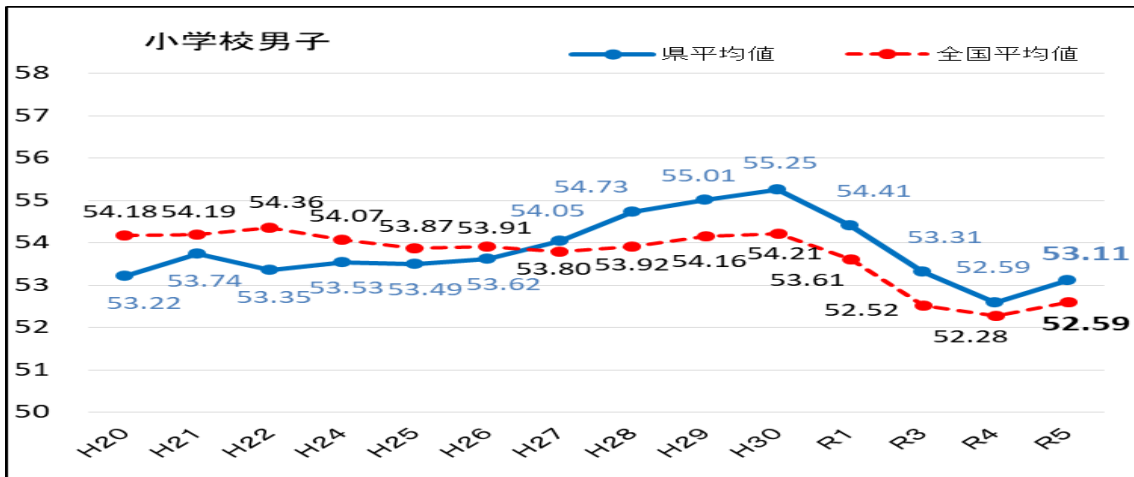
※ 平成20年度から実施されている本調査については、平成20・21・25・26・27・28・29・30年度、令和元年度は悉皆調査、平成22・24年度は抽出調査であった。なお、平成23年度は震災の影響により、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国が調査を実施しなかった。また、令和3年度は、標本数の大幅な減少により、参考値となっている。

(4) 体力合計点平均値の推移

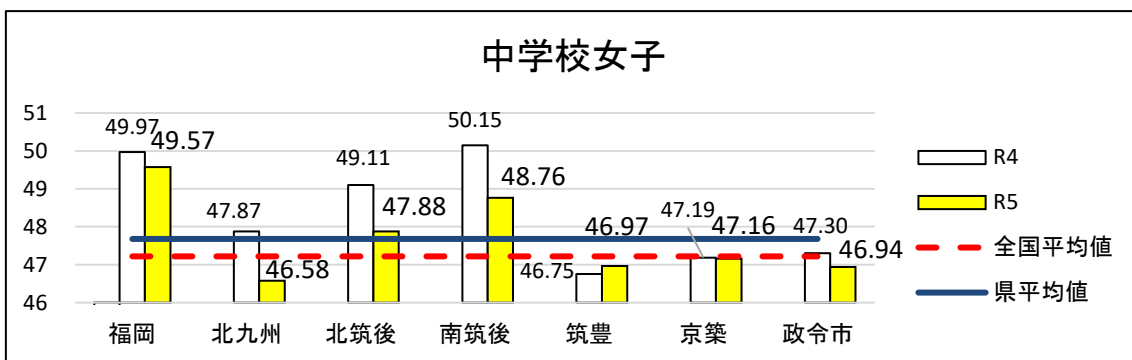
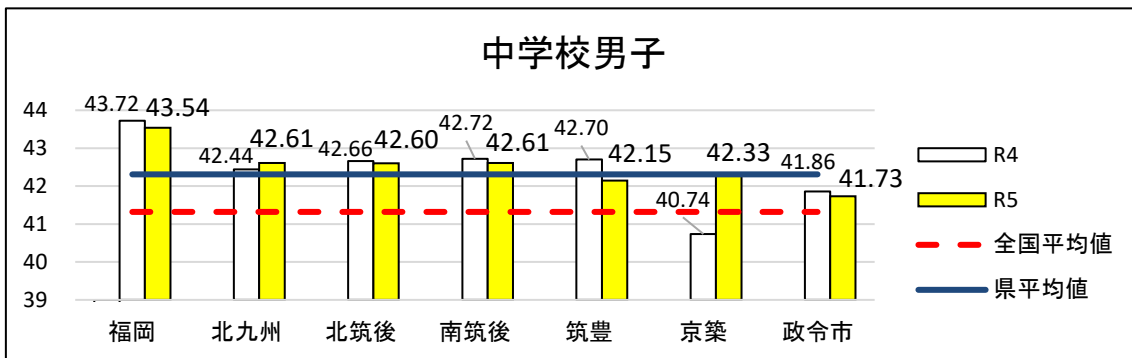
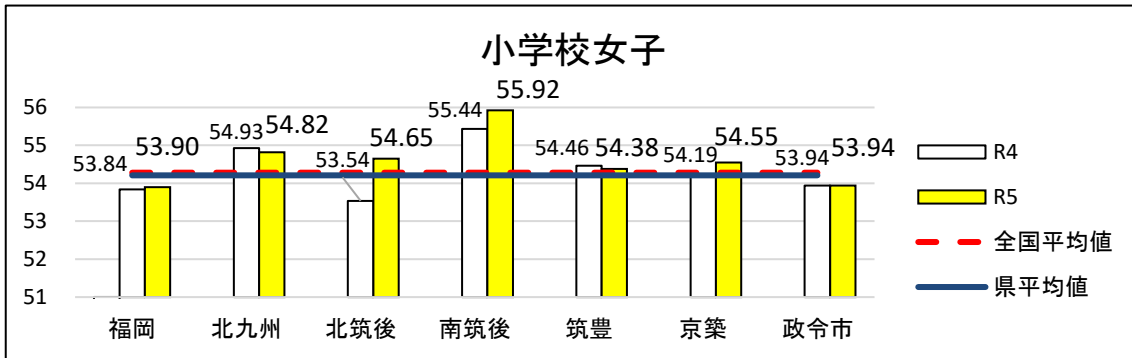
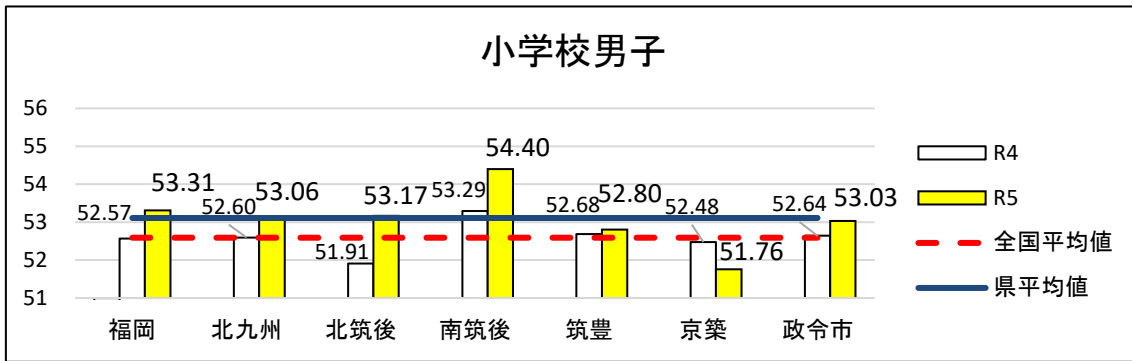
ア 調査開始以降の県平均値と全国平均値との差の推移（表）

	年度	県平均値		全国平均値		差
		県平均値	全国平均値	県平均値	全国平均値	
小学校男子	H20	53.22	54.18	54.18	54.18	-0.96
	H21	53.74	54.19	54.19	54.19	-0.45
	H22	53.35	54.36	54.36	54.36	-1.01
	H24	53.53	54.07	54.07	54.07	-0.54
	H25	53.49	53.87	53.87	53.87	-0.38
	H26	53.62	53.91	53.91	53.91	-0.29
	H27	54.05	53.80	53.80	53.80	0.25
	H28	54.73	53.92	53.92	53.92	0.81
	H29	55.01	54.16	54.16	54.16	0.85
	H30	55.25	54.21	54.21	54.21	1.04
	R1	54.41	53.61	53.61	53.61	0.80
	R3	53.31	52.52	52.52	52.52	0.79
	R4	52.59	52.28	52.28	52.28	0.31
R5	53.11	52.59	52.59	52.59	0.52	
小学校女子	H20	52.98	54.84	54.84	54.84	-1.86
	H21	53.01	54.59	54.59	54.59	-1.58
	H22	52.92	54.89	54.89	54.89	-1.97
	H24	53.51	54.85	54.85	54.85	-1.34
	H25	53.58	54.70	54.70	54.70	-1.12
	H26	53.99	55.01	55.01	55.01	-1.02
	H27	54.76	55.18	55.18	55.18	-0.42
	H28	55.51	55.54	55.54	55.54	-0.03
	H29	55.88	55.72	55.72	55.72	0.16
	H30	56.32	55.90	55.90	55.90	0.42
	R1	55.96	55.59	55.59	55.59	0.37
	R3	55.23	54.64	54.64	54.64	0.59
	R4	54.11	54.31	54.31	54.31	-0.20
R5	54.21	54.28	54.28	54.28	-0.07	
中学校男子	H20	39.59	41.50	41.50	41.50	-1.91
	H21	39.75	41.36	41.36	41.36	-1.61
	H22	39.43	41.71	41.71	41.71	-2.28
	H24	40.70	42.32	42.32	42.32	-1.62
	H25	40.66	41.78	41.78	41.78	-1.12
	H26	40.66	41.74	41.74	41.74	-1.08
	H27	41.56	41.89	41.89	41.89	-0.33
	H28	42.65	42.13	42.13	42.13	0.52
	H29	43.26	42.11	42.11	42.11	1.15
	H30	43.55	42.32	42.32	42.32	1.23
	R1	43.20	41.69	41.69	41.69	1.51
	R3	42.96	41.18	41.18	41.18	1.78
	R4	42.39	41.04	41.04	41.04	1.35
R5	42.31	41.32	41.32	41.32	0.99	
中学校女子	H20	45.46	48.38	48.38	48.38	-2.92
	H21	45.39	47.94	47.94	47.94	-2.55
	H22	44.87	48.14	48.14	48.14	-3.27
	H24	47.08	48.72	48.72	48.72	-1.64
	H25	46.57	48.42	48.42	48.42	-1.85
	H26	46.85	48.66	48.66	48.66	-1.81
	H27	48.16	49.08	49.08	49.08	-0.92
	H28	49.00	49.56	49.56	49.56	-0.56
	H29	50.30	49.97	49.97	49.97	0.33
	H30	51.25	50.61	50.61	50.61	0.64
	R1	50.52	50.22	50.22	50.22	0.30
	R3	49.50	48.56	48.56	48.56	0.94
	R4	48.20	47.42	47.42	47.42	0.78
R5	47.68	47.22	47.22	47.22	0.46	

イ 調査開始以降の県平均値と全国平均値との差の推移（グラフ）



(5) 体力合計点の各地区の状況



※ 県内を6つの教育事務所と政令市（福岡市・北九州市）の7つの地区に分けて分析した。

【本年度における全国との比較】

- 小学校男子は、福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・政令市が全国平均値を上回った。小学校女子は、北九州・北筑後・南筑後・筑豊・京築が、全国平均値を上回った。
- 中学校男子は、すべての地区が全国平均値を上回った。中学校女子は、福岡・北筑後・南筑後が、全国平均値を上回った。

【令和4年度との比較】

- 小学校男子は、福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・政令市が令和4年度を上回った。小学校女子は、福岡・北筑後・南筑後・京築が令和4年度を上回った。中学校男子は、北九州・京築が令和4年度を上回った。中学校女子は、筑豊が令和4年度を上回った。

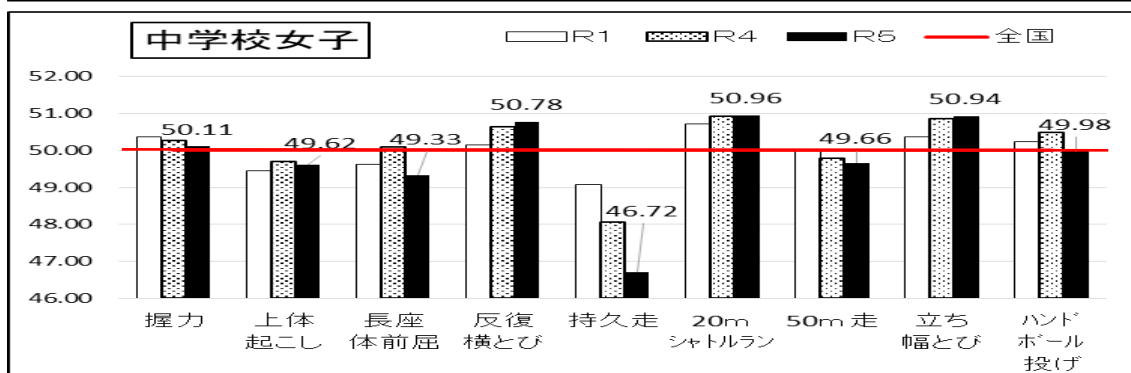
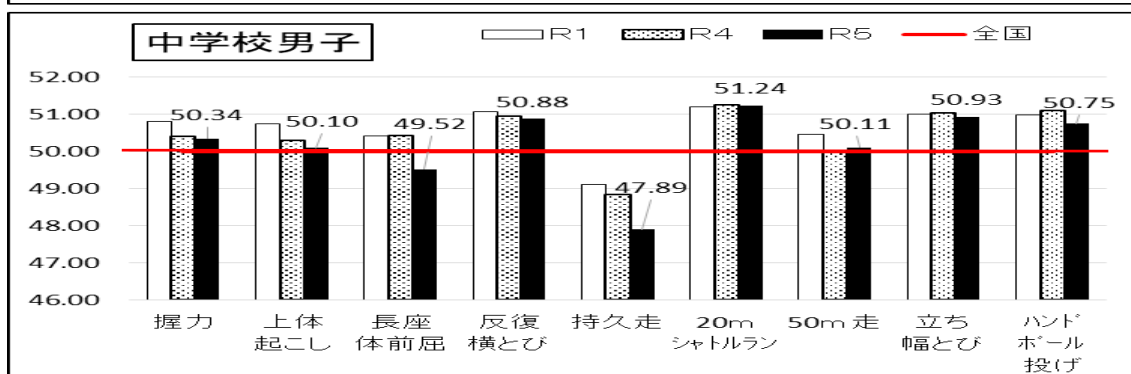
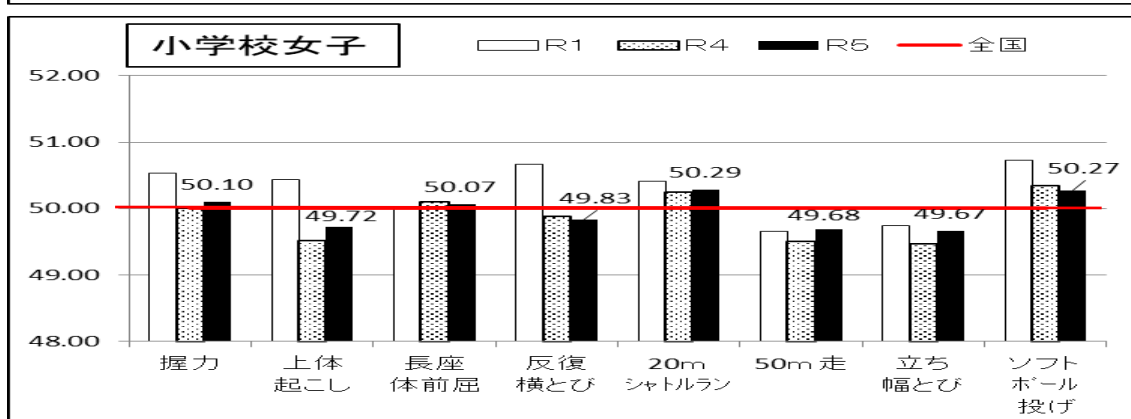
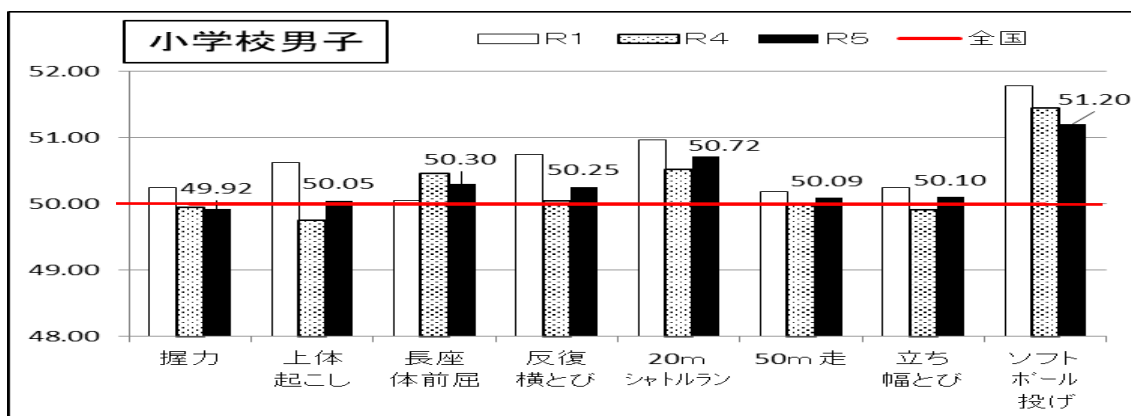
【各地区の最大最小の差】

- 令和4年度と比較すると、小学校男女は、7つの地区間の最大最小の差が広がり、中学校男女は、最大最小の差が縮まった。

(6) 各種目の状況 (T得点)

ア 福岡県の推移と全国との比較

※ T得点：全国平均値に対する本県平均値の相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較することができるもの。(全国平均値を50点とする)



【福岡県の状況】

- 小学校男子は、握力以外の種目が全国平均値を上回っている。
- 小学校女子は、握力、長座体前屈、20mシャトルラン、ソフトボール投げの種目が全国平均値を上回っている。
- 中学校男子は、長座体前屈、持久走以外の種目が全国平均値を上回っている。
- 中学校女子は、握力、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびの種目が全国平均値を上回っている。

イ 各地区の状況

※ 色付け部分は、令和4年度と比較して向上した種目である。

※ 標本数が0であった項目は、斜線で示している。

■ 小学校男子

R5	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.69	50.82	51.42	50.13	50.54	50.48	49.19	51.20
北九州	50.13	50.85	50.28	51.33	51.28	49.56	49.73	50.24
北筑後	50.47	49.86	50.22	49.62	51.45	50.62	49.80	51.80
南筑後	50.93	51.14	49.28	51.92	53.08	50.99	51.13	52.47
筑豊	49.85	50.58	50.47	50.67	49.95	49.48	49.11	50.52
京築	49.22	48.63	49.04	48.66	49.77	49.67	50.75	50.42
政令市	49.40	49.65	50.03	50.28	50.47	50.11	50.77	51.27

■ 小学校女子

R5	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.67	50.22	50.88	49.39	49.57	49.32	48.34	49.79
北九州	50.31	50.93	50.09	51.15	51.50	49.44	49.18	50.56
北筑後	50.50	49.74	50.20	49.81	51.92	50.43	49.99	50.88
南筑後	50.51	51.11	47.93	52.22	53.38	51.37	50.87	52.17
筑豊	49.97	50.88	50.14	50.95	49.98	49.26	49.41	50.17
京築	50.25	48.73	48.63	49.85	49.96	49.98	51.41	51.46
政令市	49.68	49.17	50.09	49.50	49.78	49.50	50.10	50.02

■ 中学校男子

R5	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.61	51.54	51.64	51.79	48.17	51.69	50.30	52.05	51.59
北九州	51.62	50.87	50.48	51.70	59.73	50.29	50.03	51.00	50.22
北筑後	50.62	50.36	49.33	50.70	51.29	51.11	50.41	51.50	50.96
南筑後	51.04	50.28	49.19	50.76	47.53	52.04	50.51	51.00	51.04
筑豊	50.84	50.78	48.69	51.61	30.38	49.96	50.03	50.65	50.31
京築	50.28	49.26	48.28	51.73	46.24	52.29	51.34	50.37	49.85
政令市	50.01	49.38	48.76	50.51	46.42	51.35	50.08	50.62	50.71

■ 中学校女子

R5	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.71	51.29	51.73	52.25	46.02	51.86	50.24	52.37	50.90
北九州	50.20	49.75	49.41	50.89		49.63	48.85	49.75	48.56
北筑後	50.92	48.89	49.31	50.46	49.11	50.64	49.84	51.56	50.15
南筑後	51.74	50.24	48.53	51.23	49.00	52.48	50.80	51.51	50.81
筑豊	49.39	49.42	47.80	51.23	13.71	49.04	48.76	50.50	48.67
京築	49.91	49.72	47.99	51.92	46.51	50.60	49.39	51.24	48.55
政令市	49.53	49.00	48.63	50.15	44.85	51.00	49.68	50.43	49.96

【小学校の状況】

- 令和4年度のT得点と比較すると、男子については、北筑後、南筑後が全種目上回った。また、女子については、北筑後が全種目、北九州が6種目上回った。

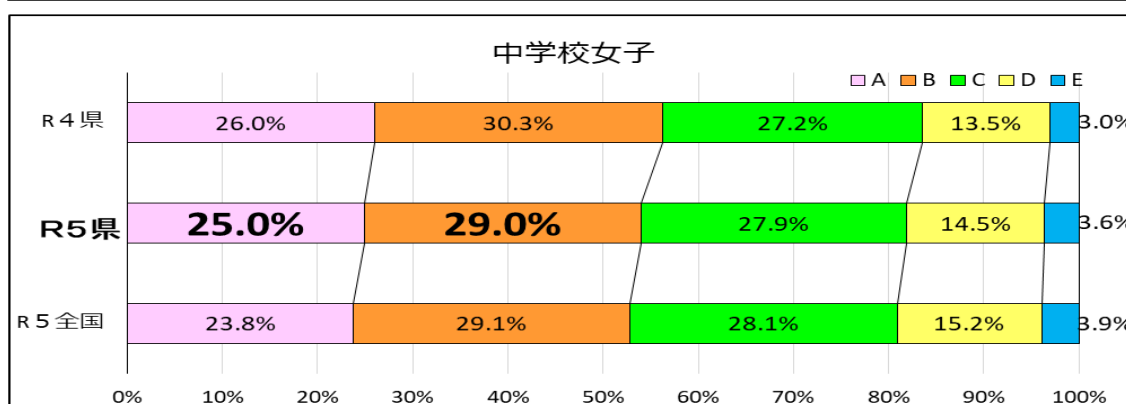
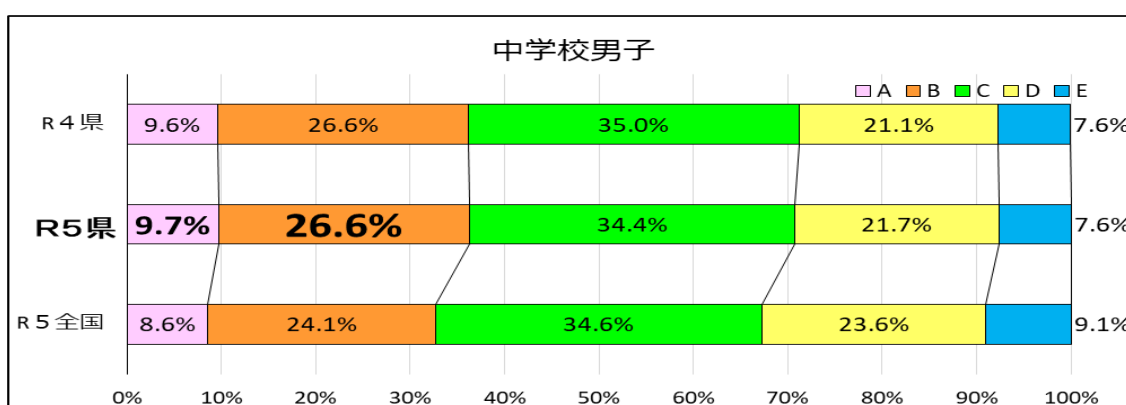
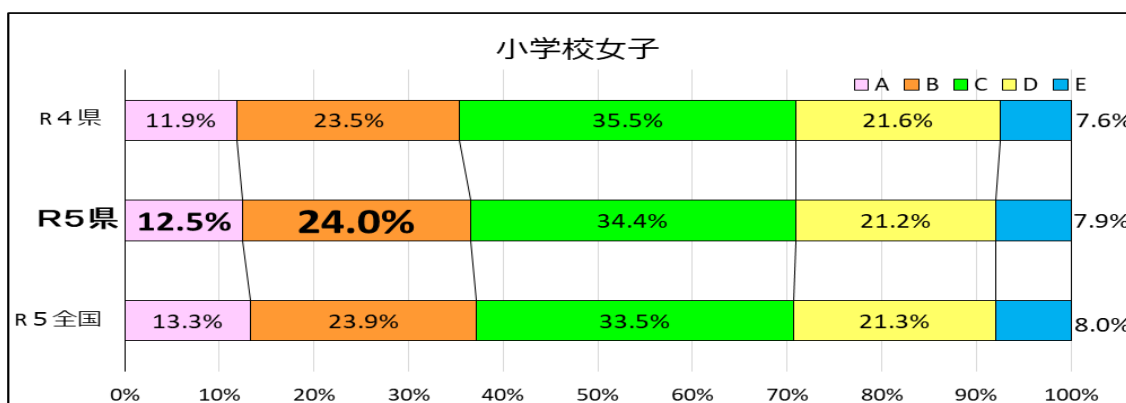
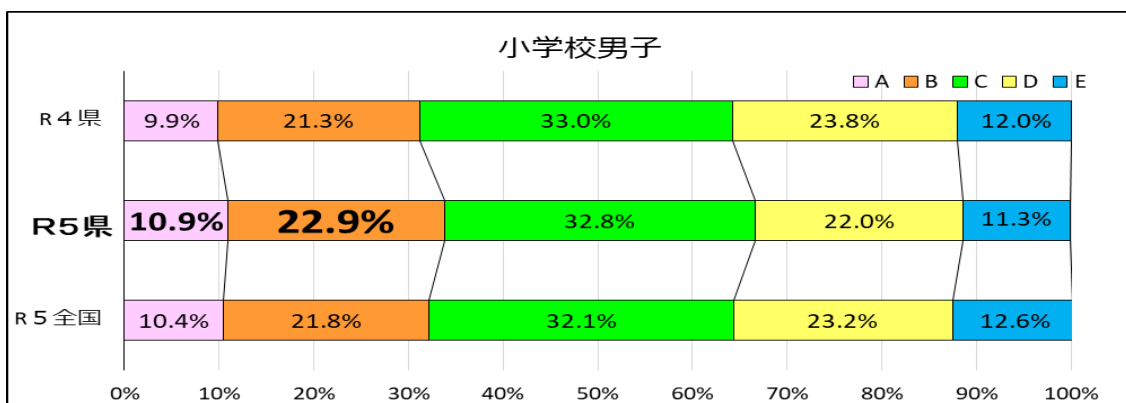
【中学校の状況】

- 令和4年度のT得点と比較すると、男子については、京築が8種目上回った。また、女子については、福岡、京築が5種目上回った。

(7) 総合評価の状況

ア 福岡県の推移と全国との比較

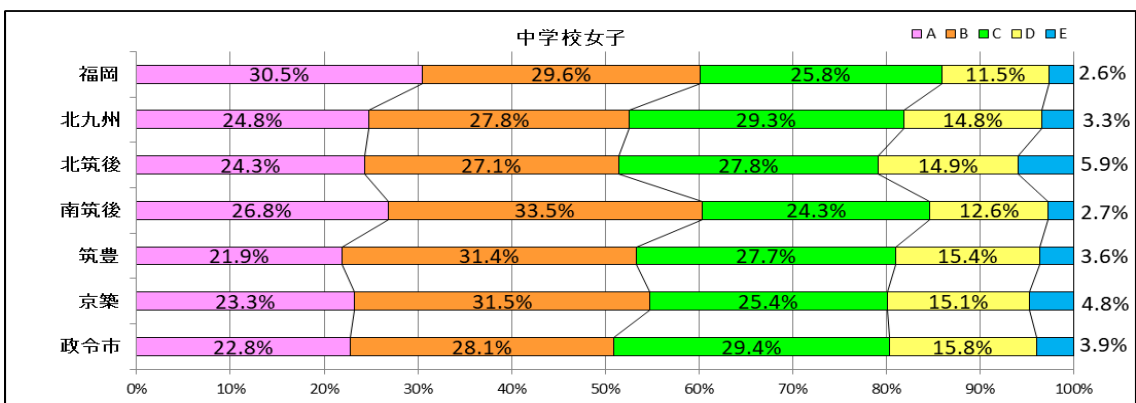
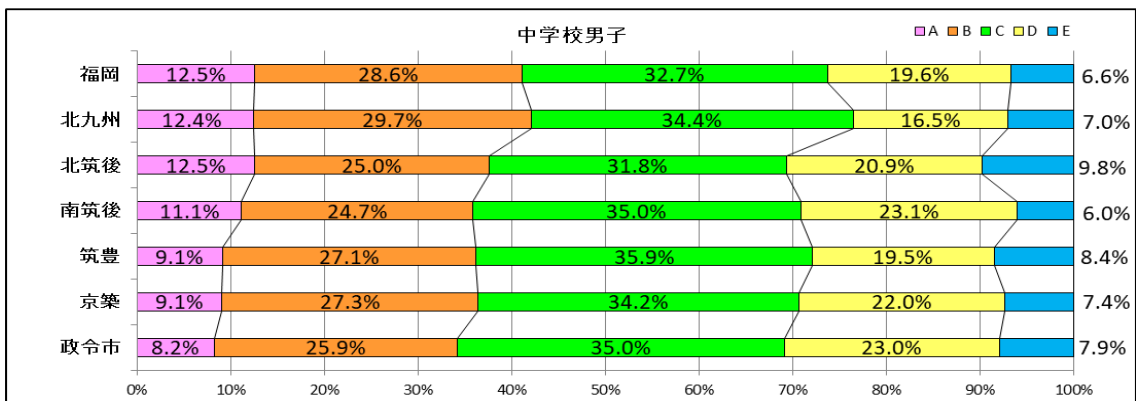
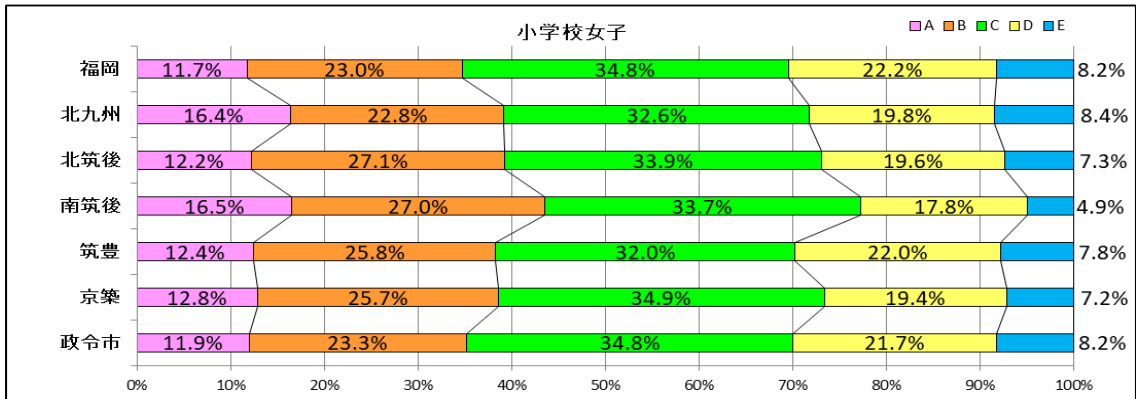
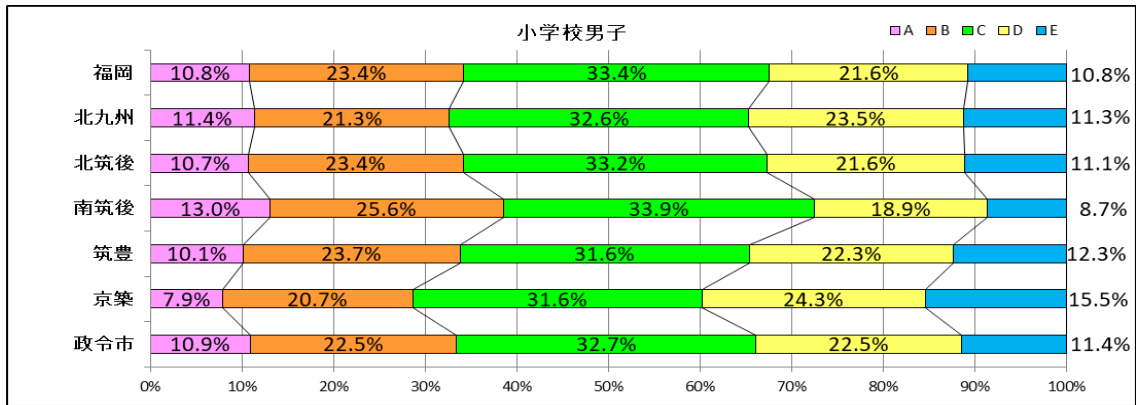
※ 総合評価の基準等については、P2・P3を参照のこと。



【福岡県の状況】

- A+Bの値は、小学校女子以外、全国値を上回っているが、令和4年度と比較すると、中学校女子において減少している。
- D+Eの値は、令和4年度と比較すると、小学校男子は減少し、小学校女子と中学校男子は横ばい、中学校女子が増加している。

イ 各地区の状況



【小学校の状況】

- A+Bの値が全国値（男子 32.2% 女子 37.2%）より高いのは、男子が福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・政令市、女子が北九州・北筑後・南筑後・筑豊・京築である。また、D+Eの値が全国値（男子 35.8% 女子 29.3%）より高いのは、男子が京築、女子が福岡・筑豊・政令市である。

【中学校の状況】

- A+Bの値が全国値（男子 32.7% 女子 52.9%）より高いのは、男子が全地区、女子が福岡・南筑後・筑豊・京築である。また、D+Eの値が全国値（男子 32.7% 女子 19.1%）より高いのは、男子がなし、女子は、北筑後・京築・政令市である。

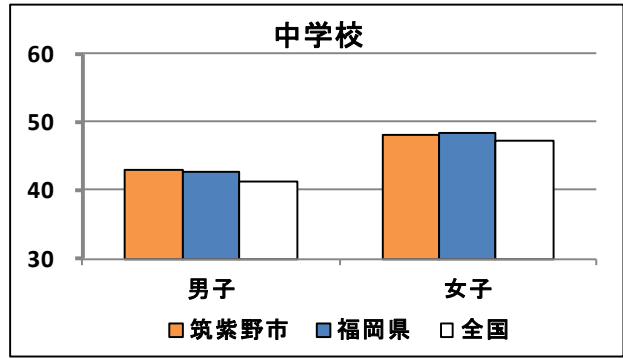
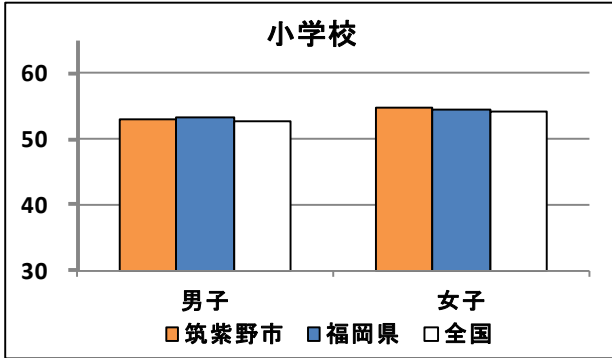
(8) 市町村別の状況

○ 市町村別の体力合計点平均値の状況

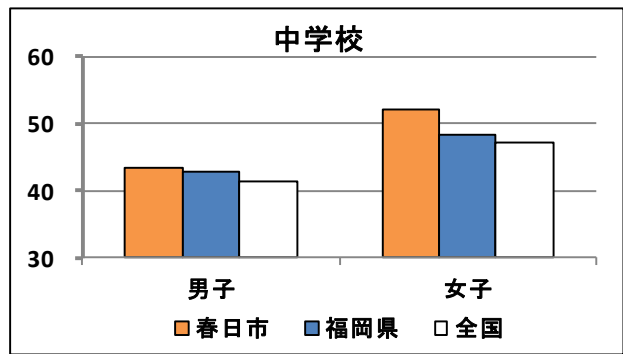
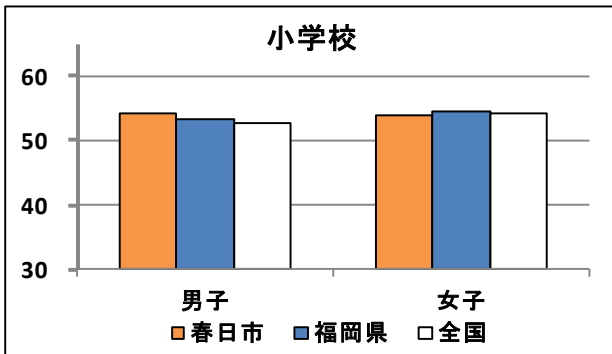
※ 同意を得た市町村のみ掲載

県教育委員会としては、市町村立学校別の公表はしないため、市町村内の学校数が1小学校、1中学校である場合は公表しない。

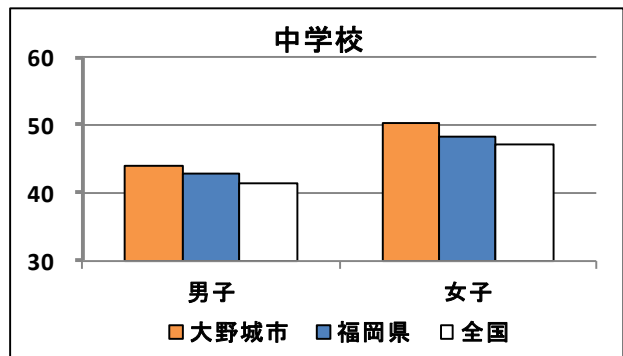
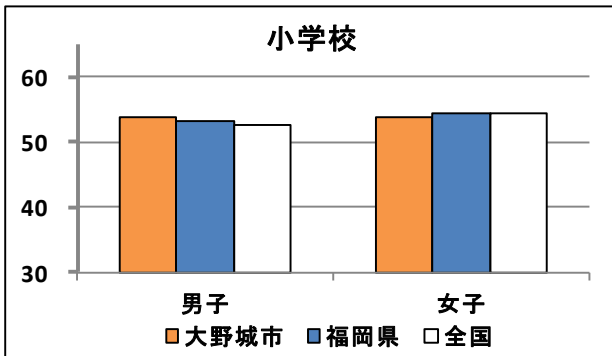
【筑紫野市】



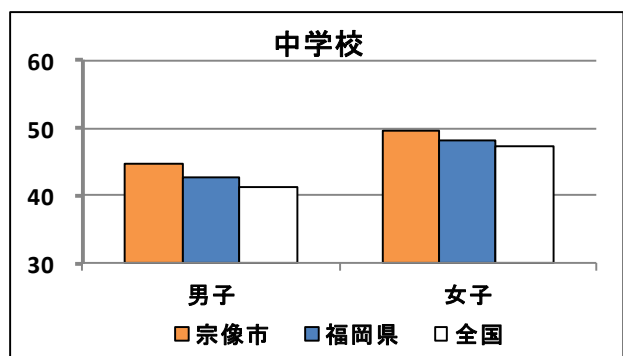
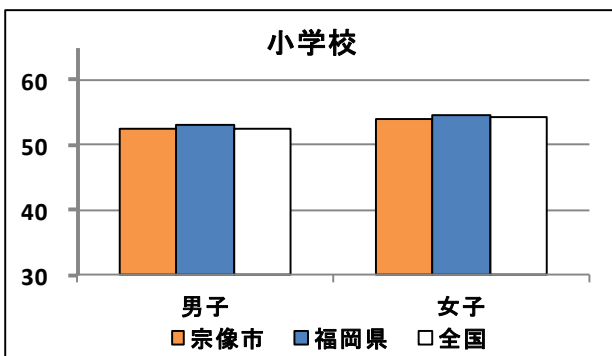
【春日市】



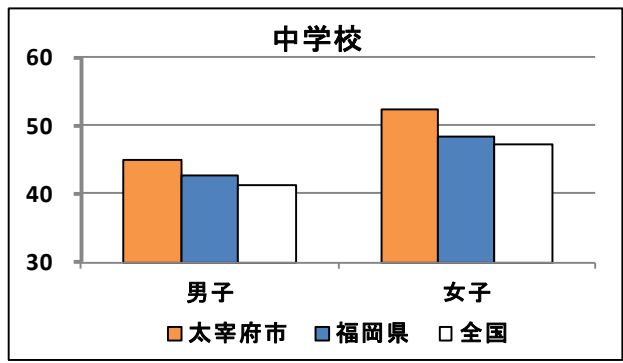
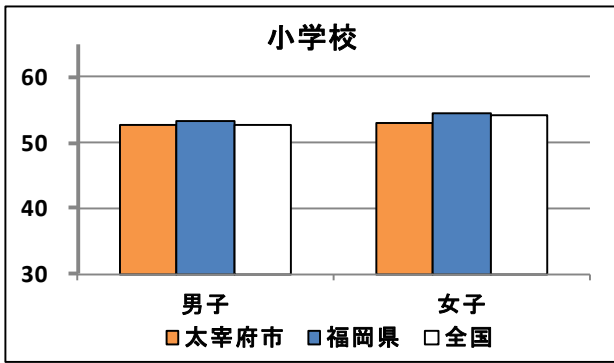
【大野城市】



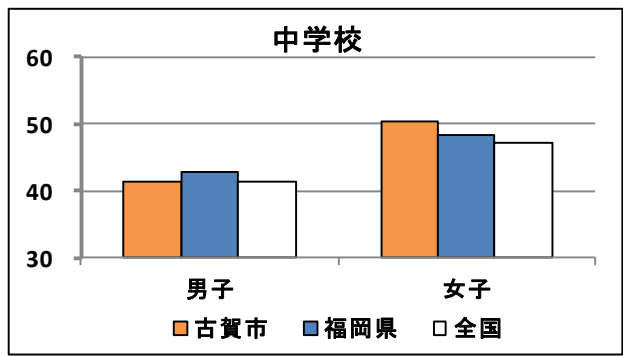
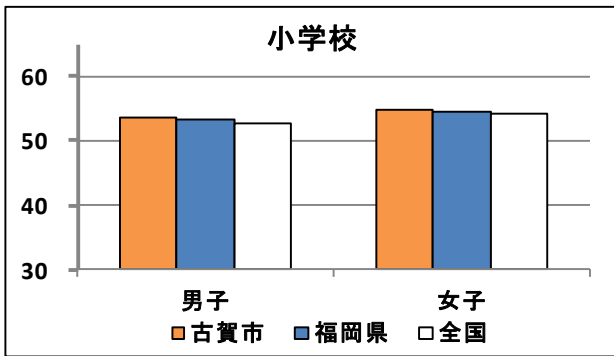
【宗像市】



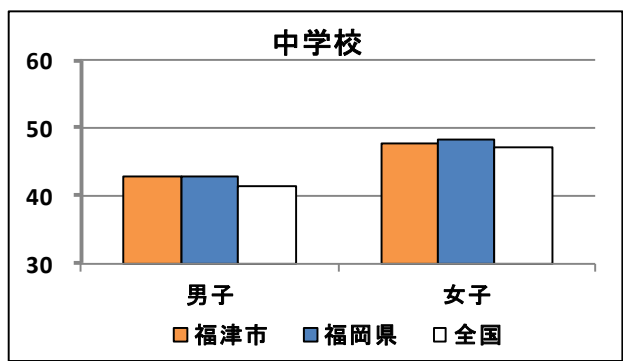
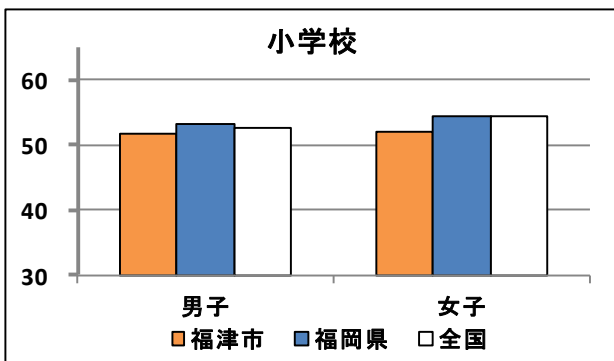
【太宰府市】



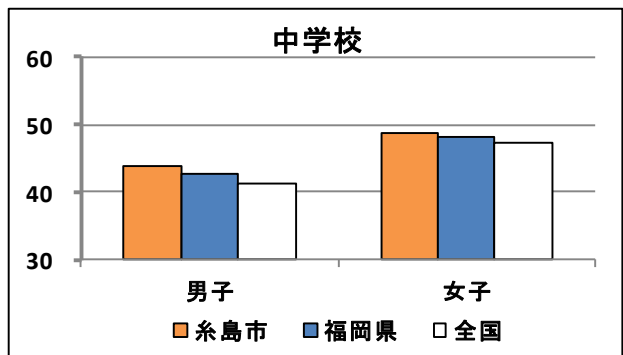
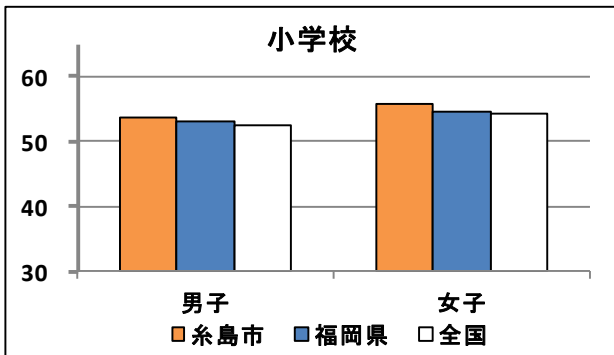
【古賀市】



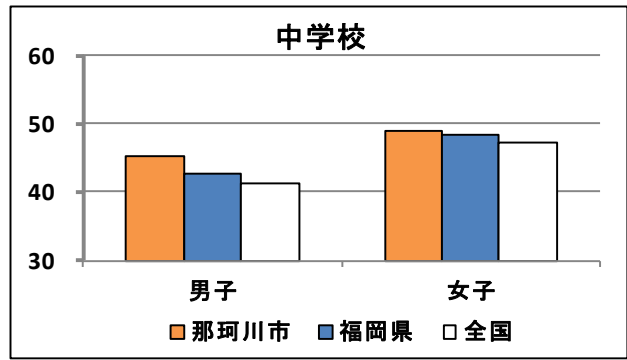
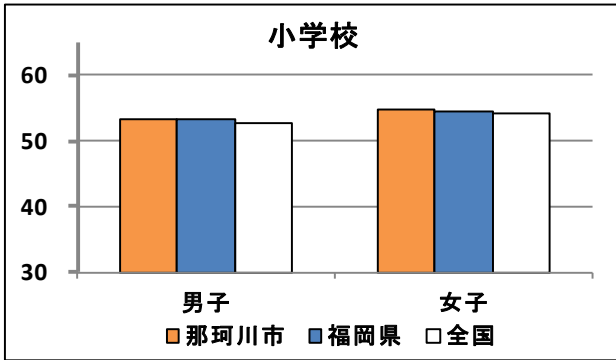
【福津市】



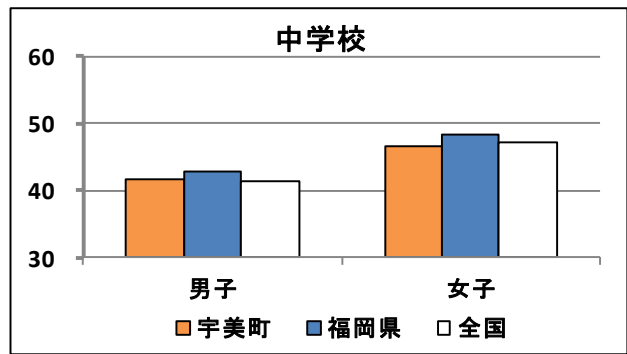
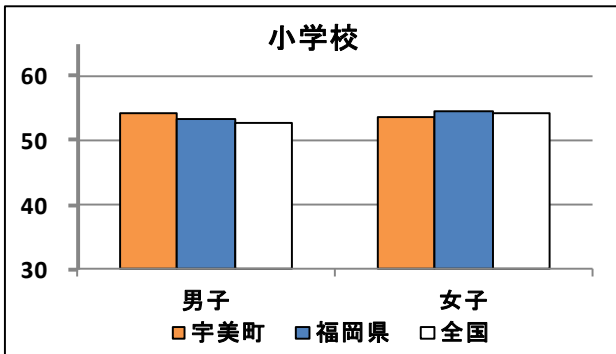
【糸島市】



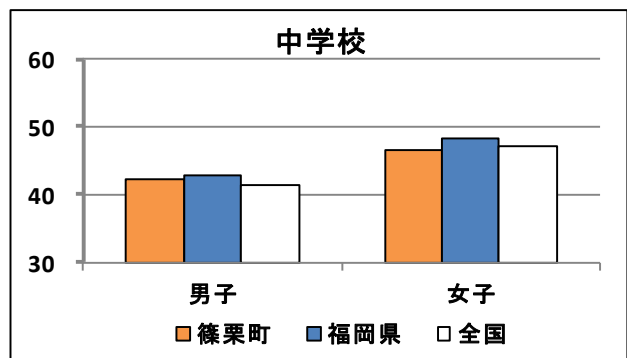
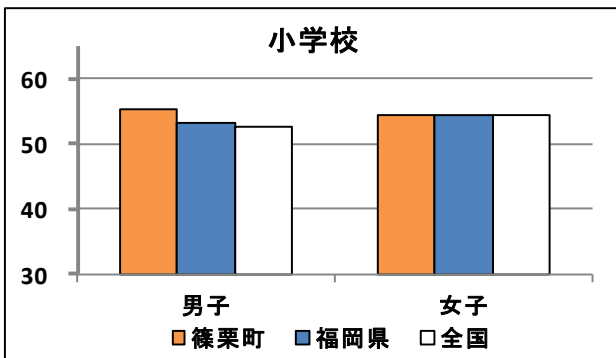
【那珂川市】



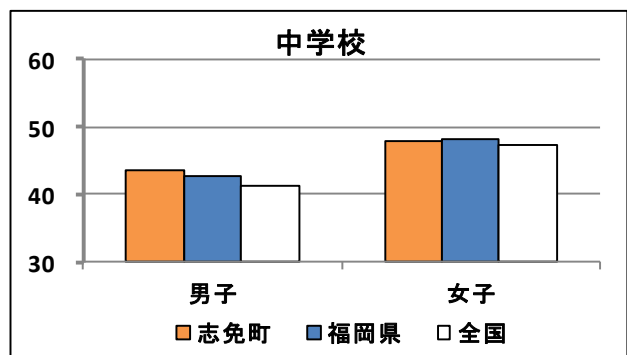
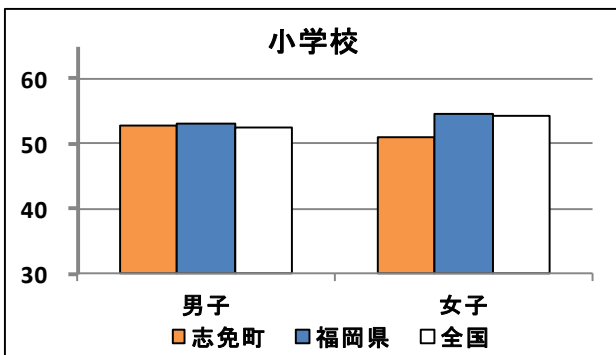
【宇美町】



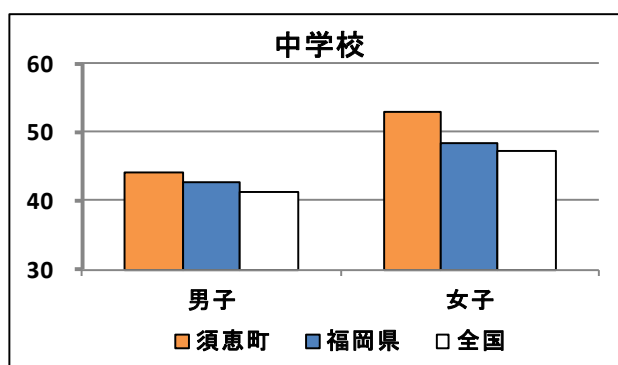
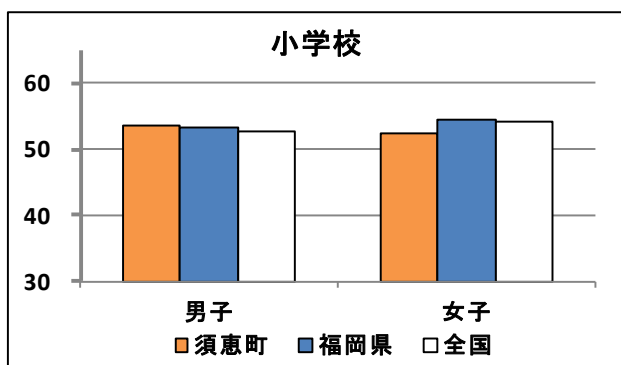
【篠栗町】



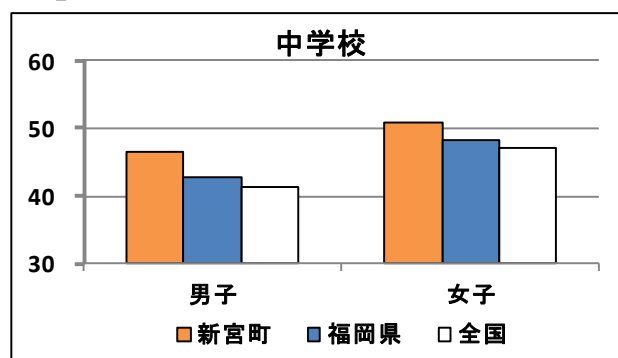
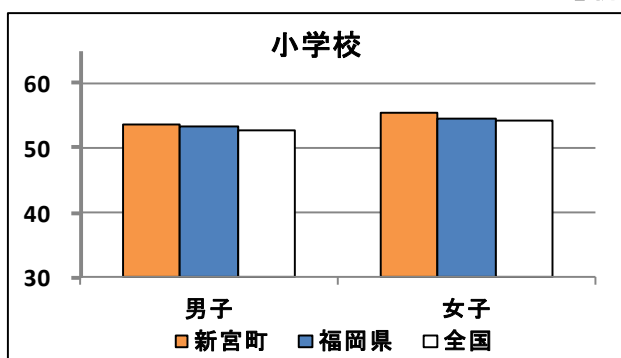
【志免町】



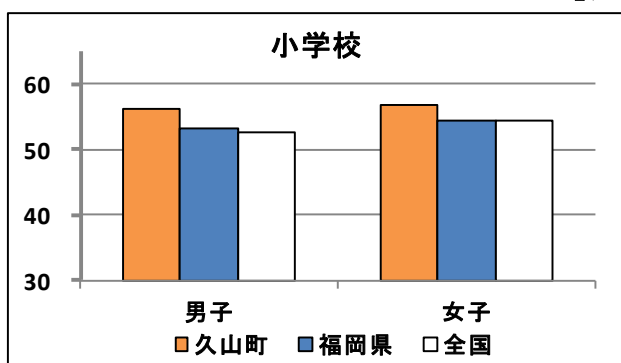
【須恵町】



【新宮町】

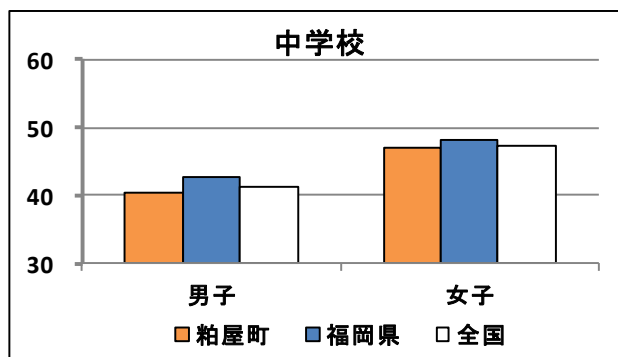
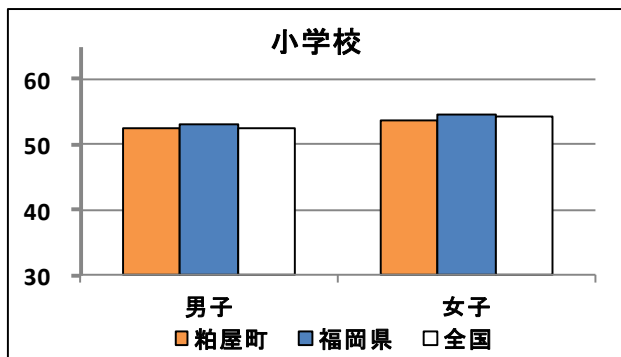


【久山町】

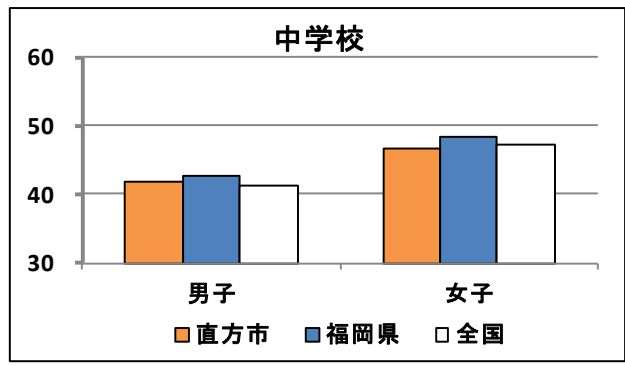
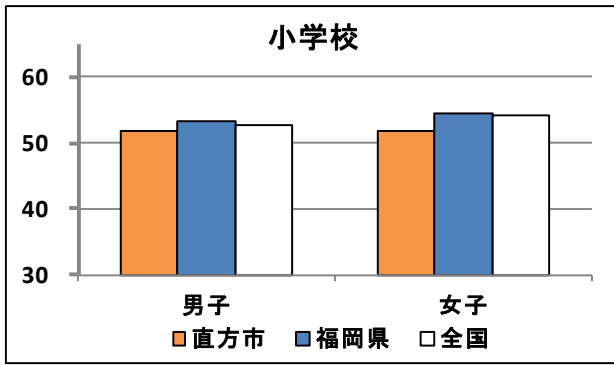


※町立中学校が1校のため、公表しない。

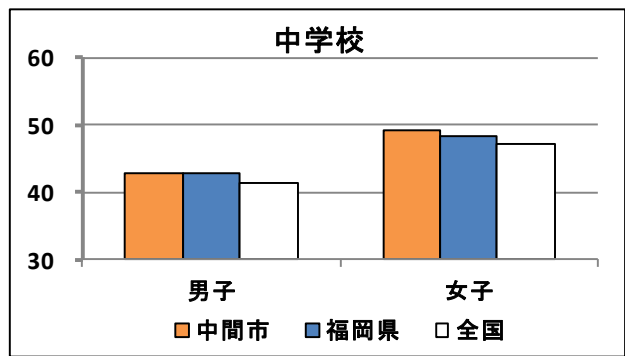
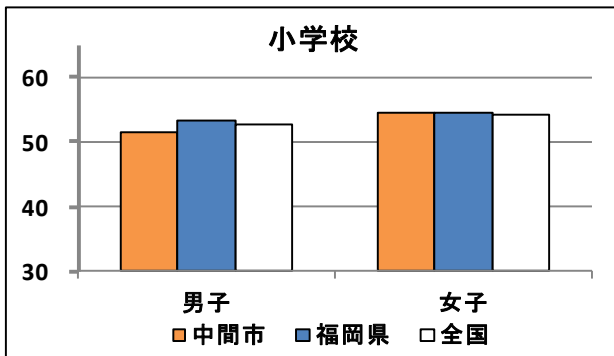
【粕屋町】



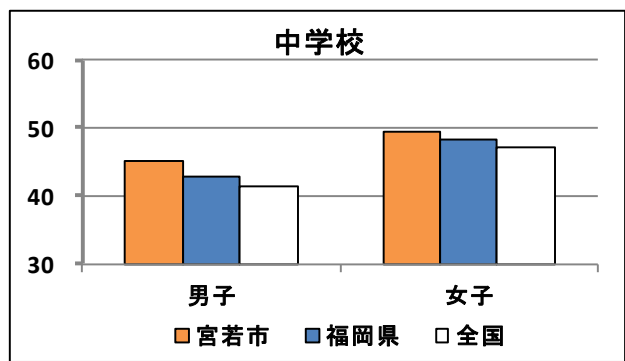
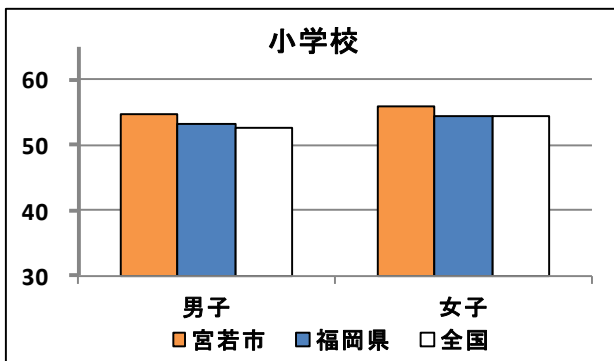
【直方市】



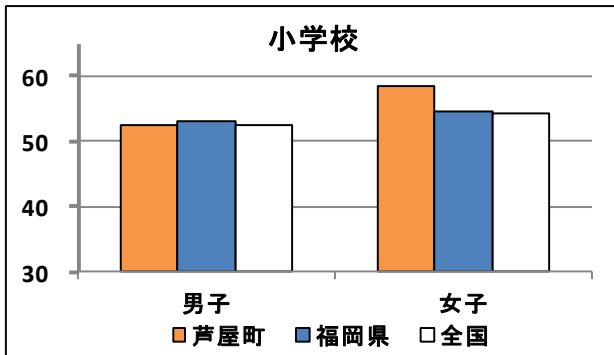
【中間市】



【宮若市】

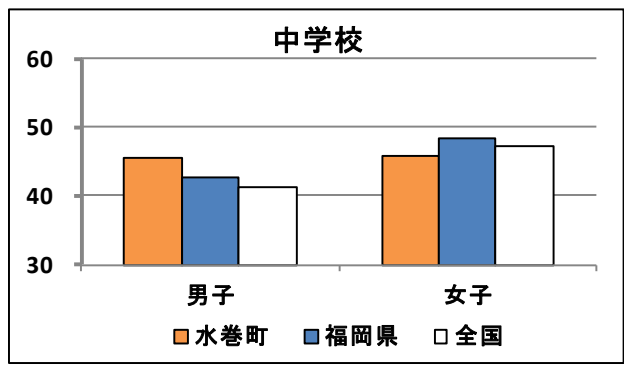
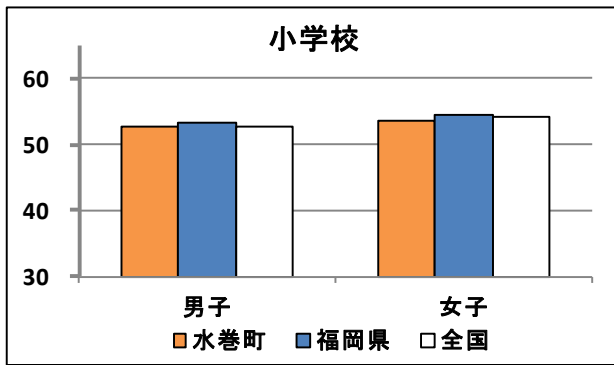


【芦屋町】

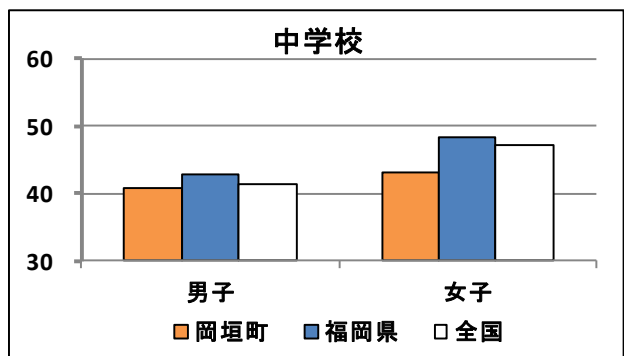
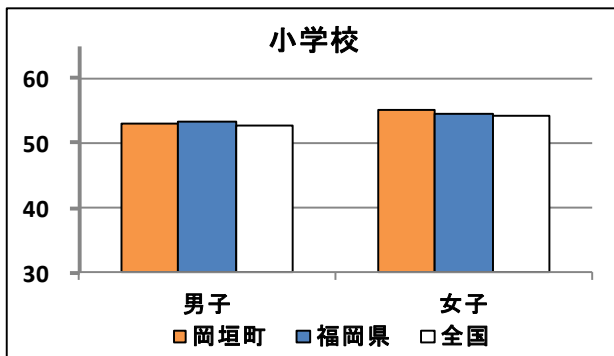


※町立中学校が1校のため、公表しない。

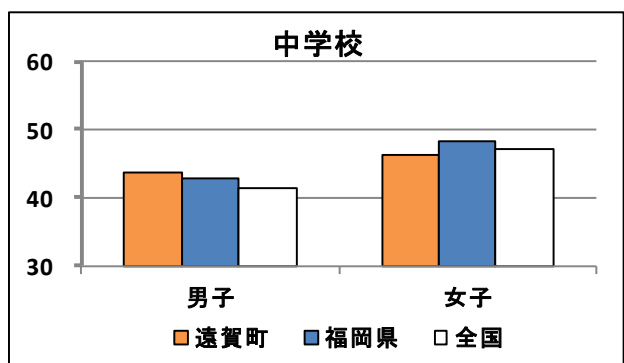
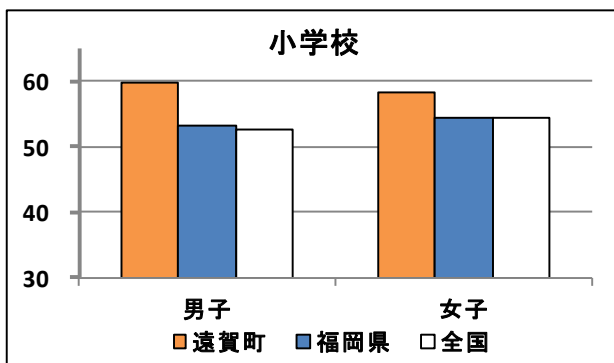
【水巻町】



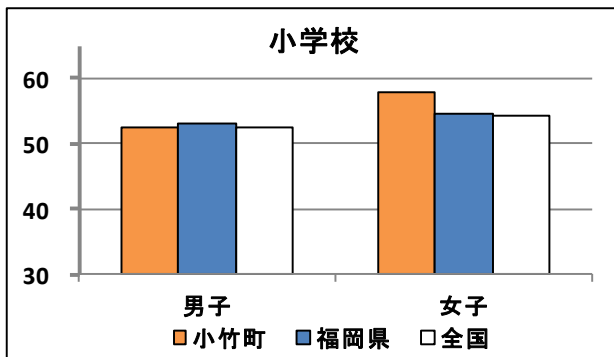
【岡垣町】



【遠賀町】

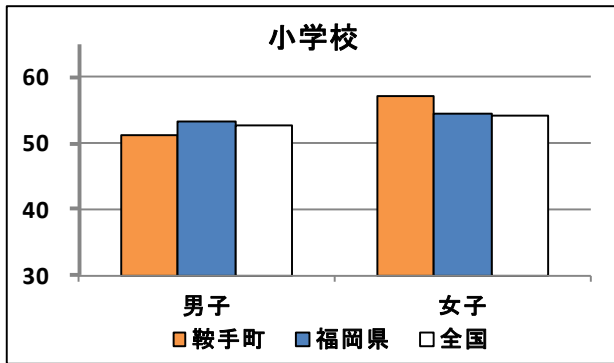


【小竹町】



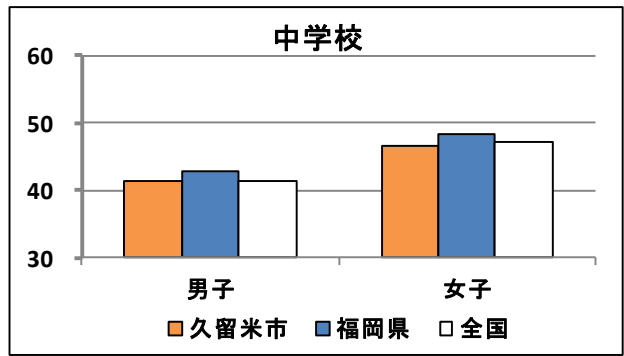
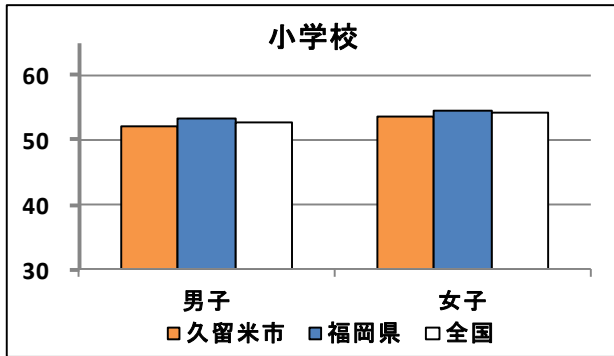
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【鞍手町】

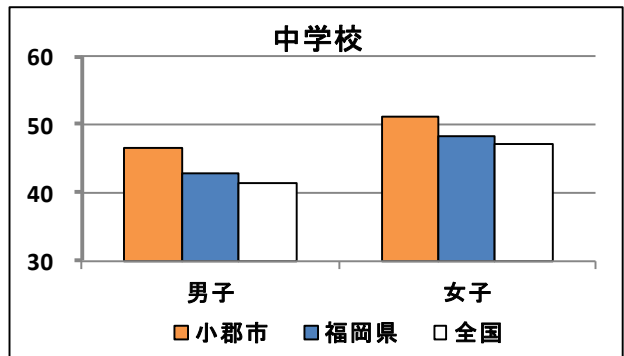
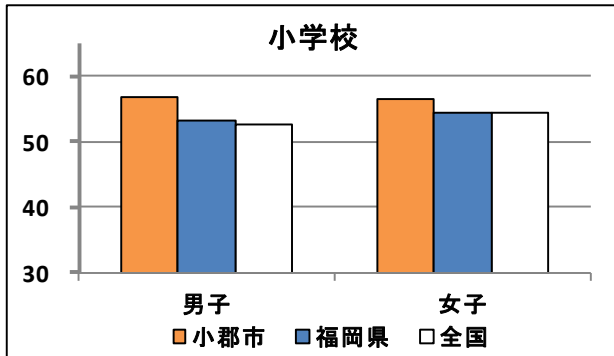


※町立中学校が1校のため、公表しない。

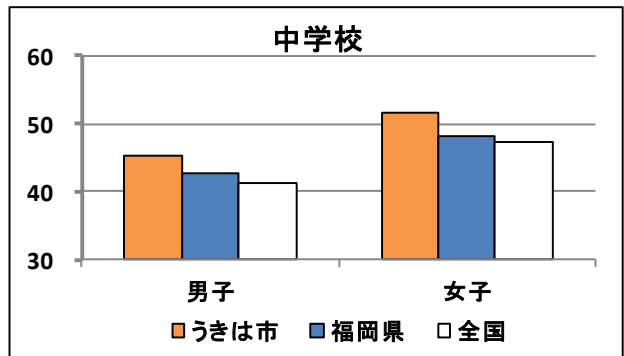
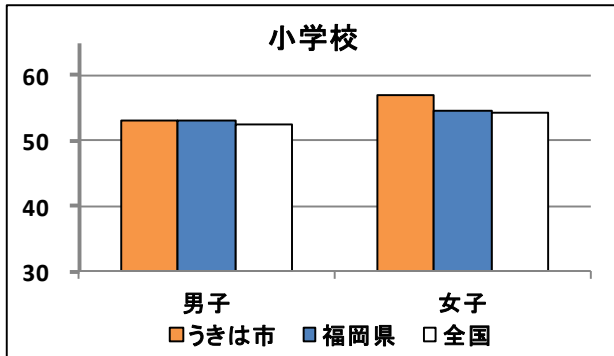
【久留米市】



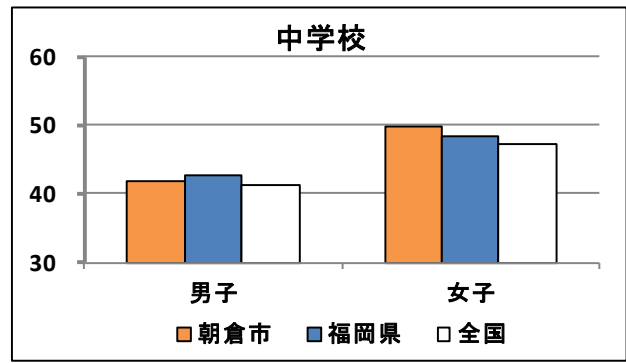
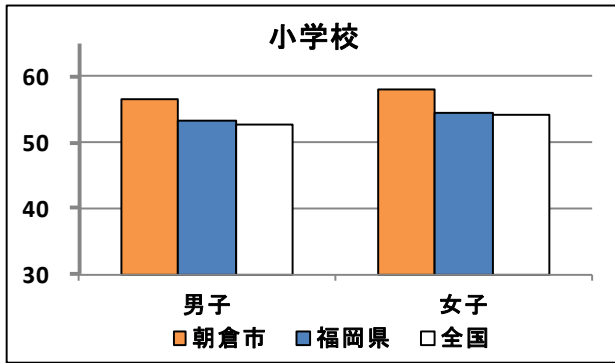
【小郡市】



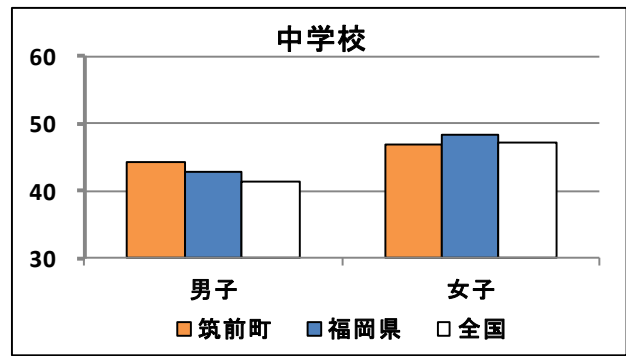
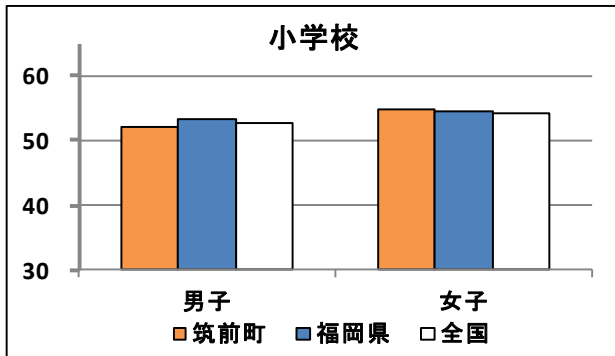
【うきは市】



【朝倉市】



【筑前町】

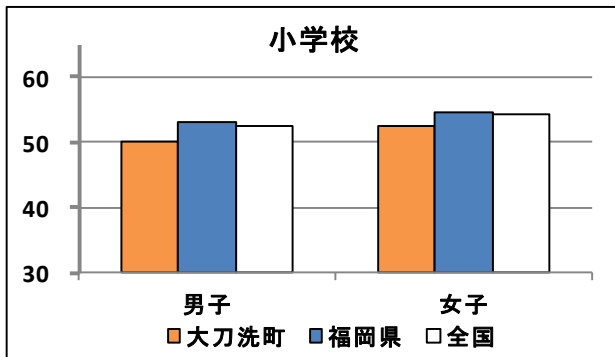


【東峰村】

※村立小学校が1校のため、公表しない。

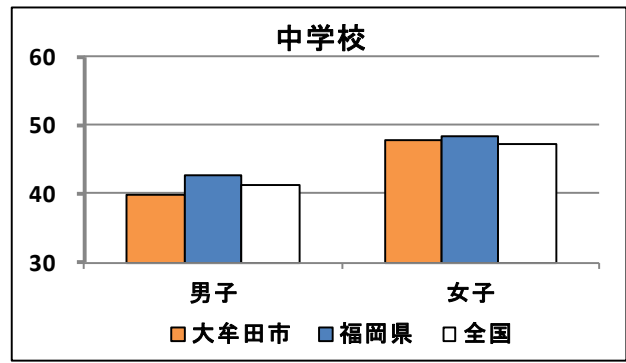
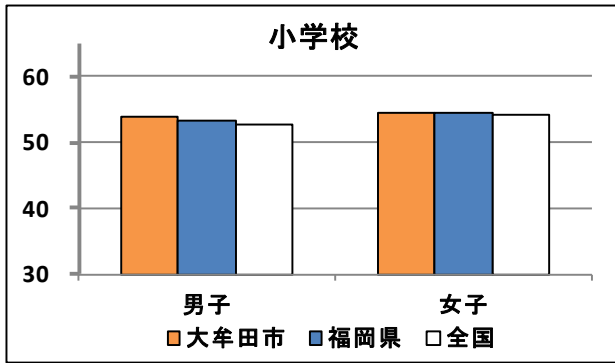
※村立中学校が1校のため、公表しない。

【大刀洗町】

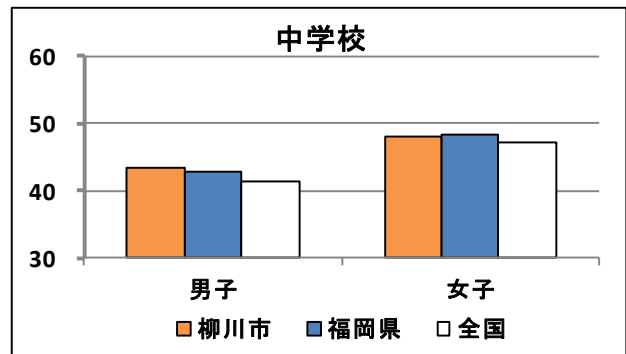
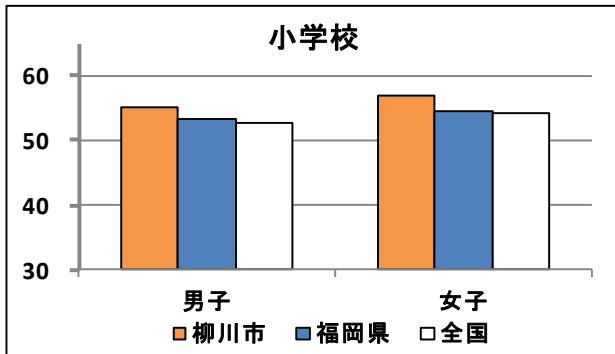


※町立中学校が1校のため、公表しない。

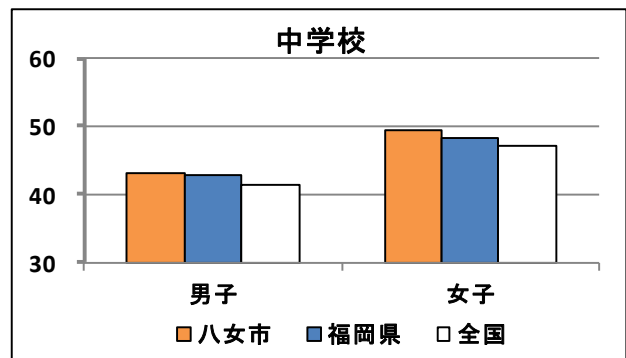
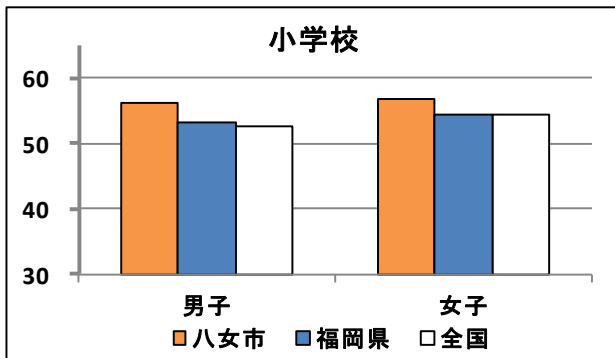
【大牟田市】



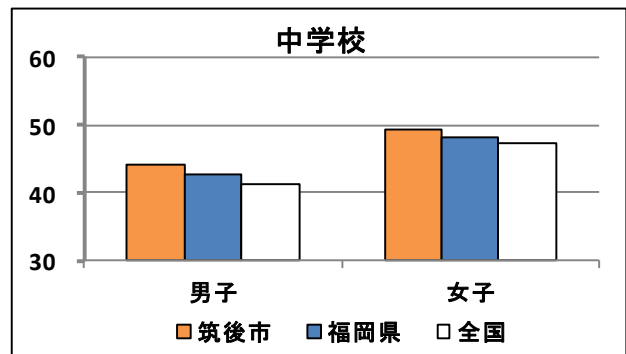
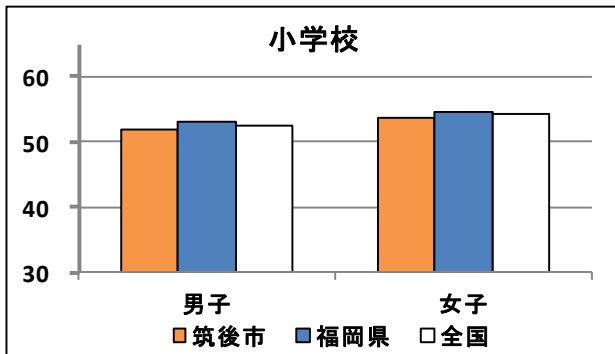
【柳川市】



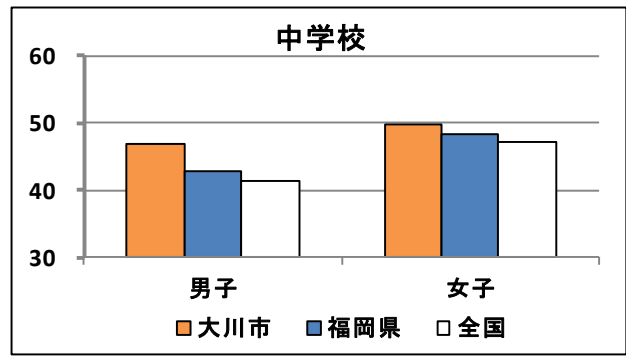
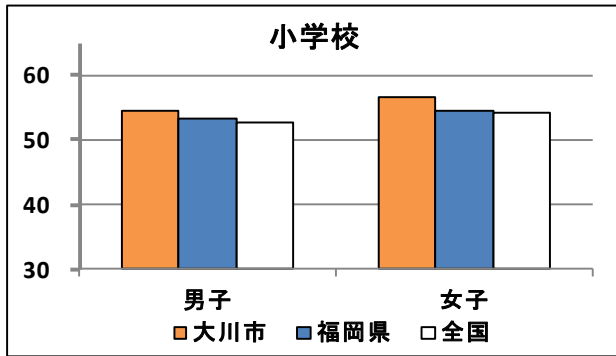
【八女市】



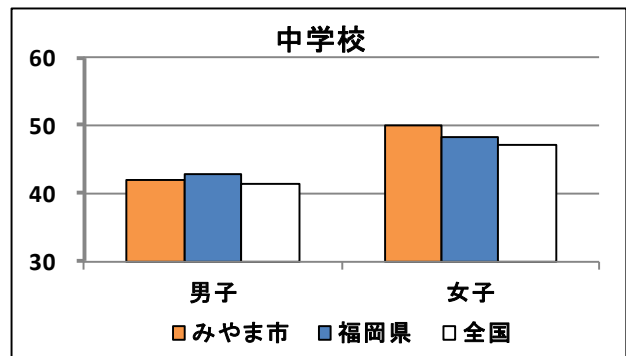
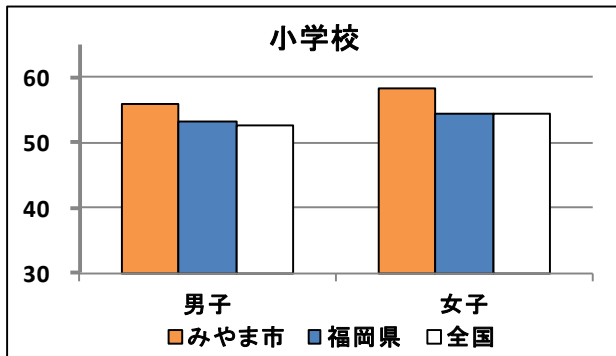
【筑後市】



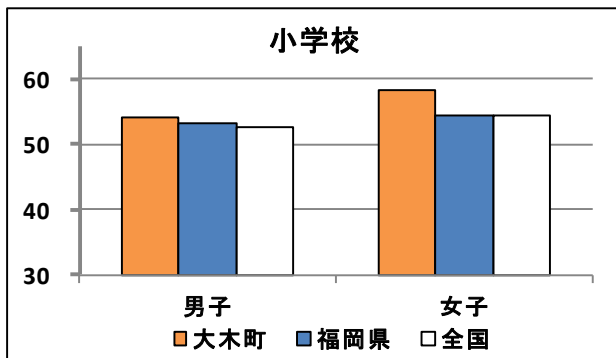
【大川市】



【みやま市】

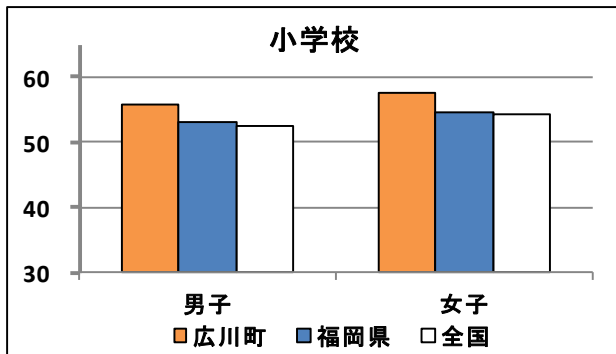


【大木町】



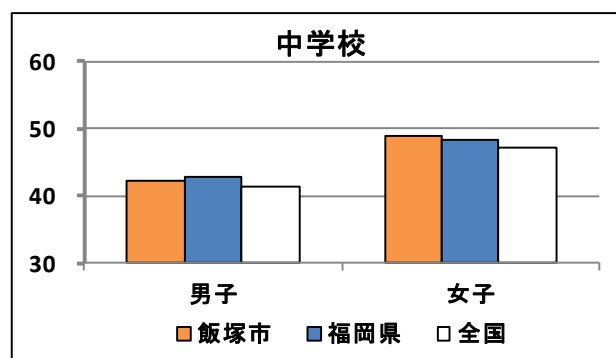
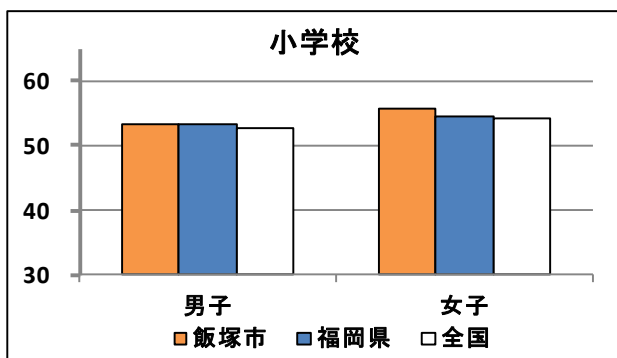
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【広川町】

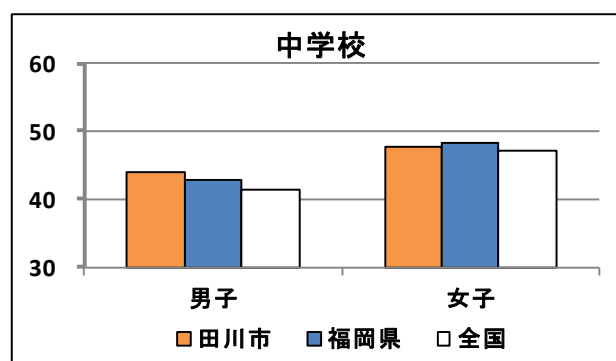
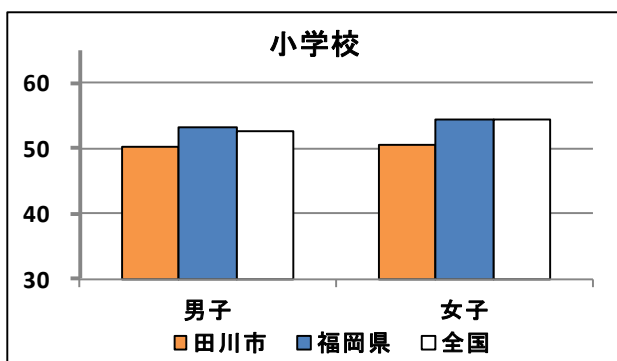


※町立中学校が1校のため、公表しない。

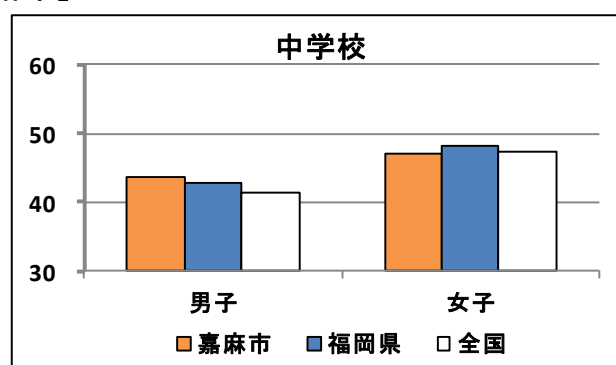
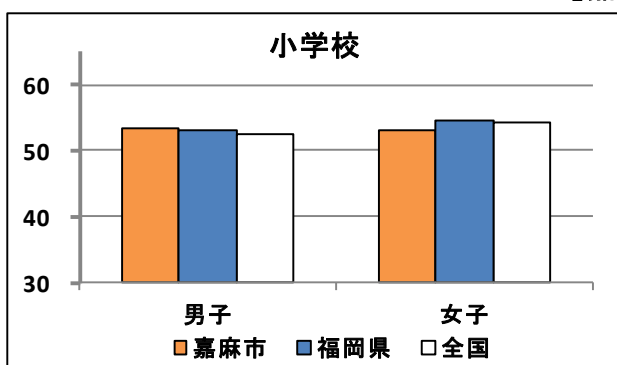
【飯塚市】



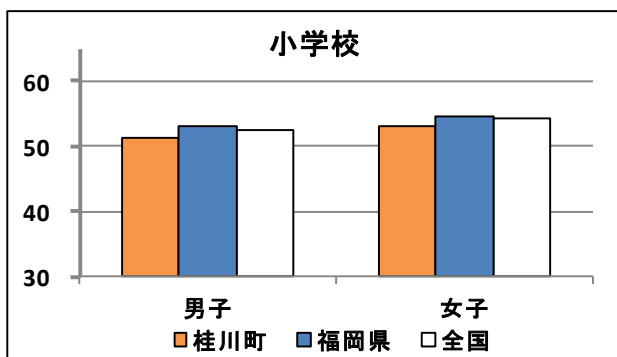
【田川市】



【嘉麻市】



【桂川町】



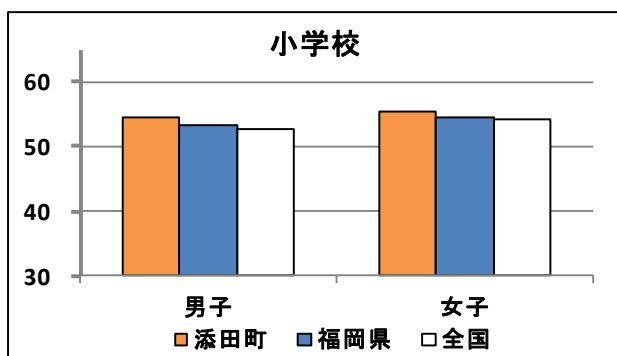
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【香春町】

※町立小学校(義務教育学校前期課程)
が1校のため、公表しない。

※町立中学校(義務教育学校後期課程)
が1校のため、公表しない。

【添田町】



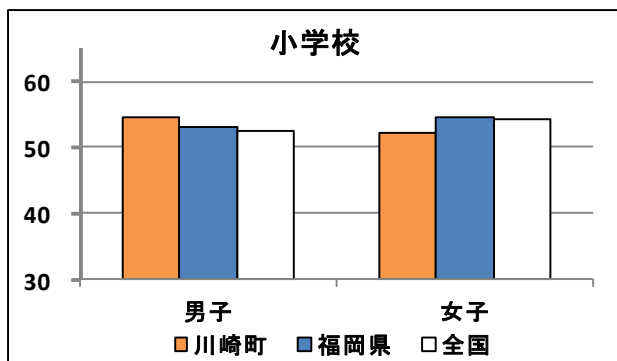
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【糸田町】

※町立小学校が1校のため、公表しない。

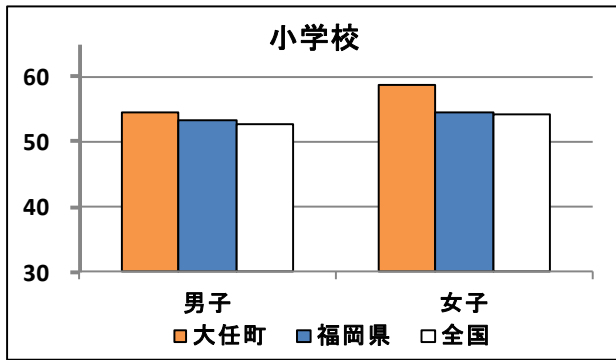
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【川崎町】



※町立中学校が1校のため、公表しない。

【大任町】



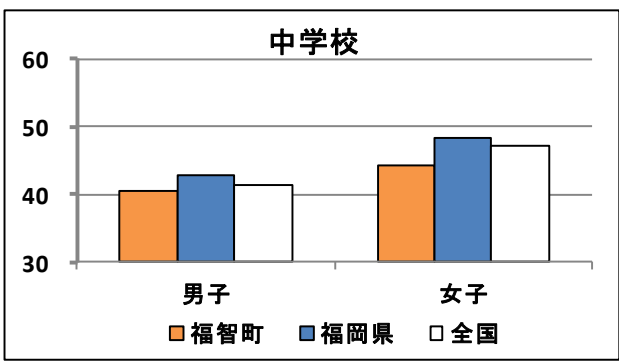
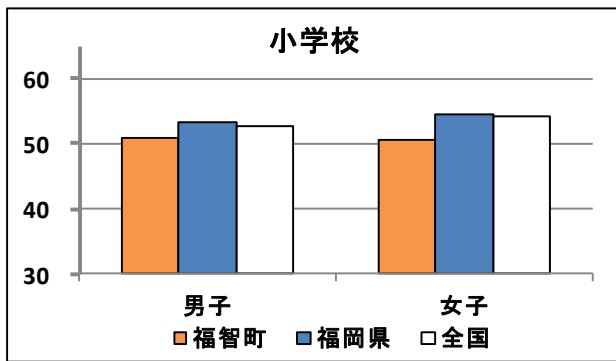
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【赤村】

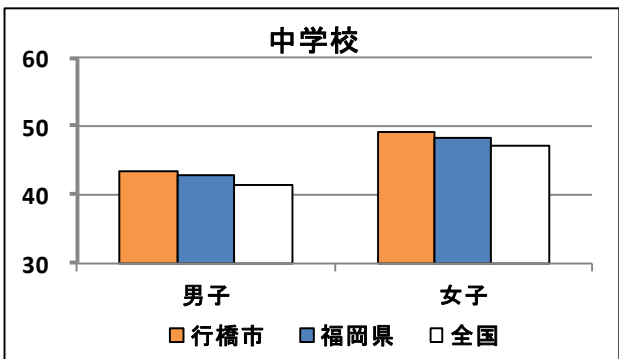
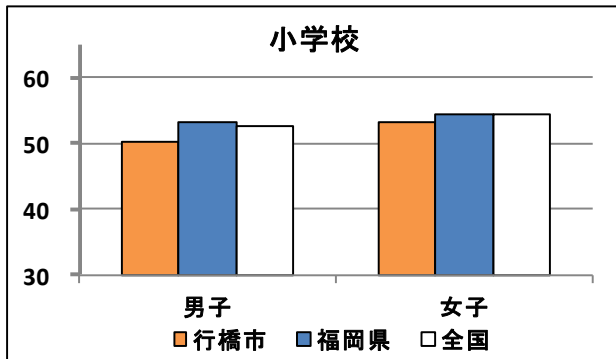
※村立小学校が1校のため、公表しない。

※村立中学校が1校のため、公表しない。

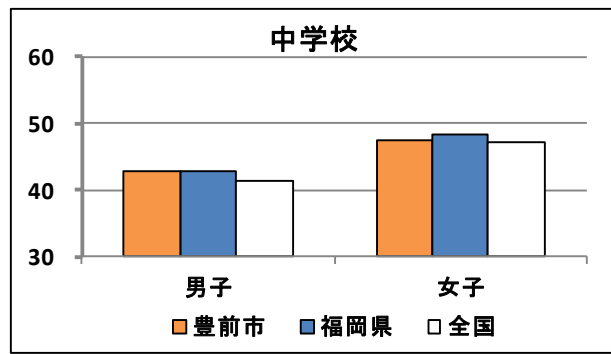
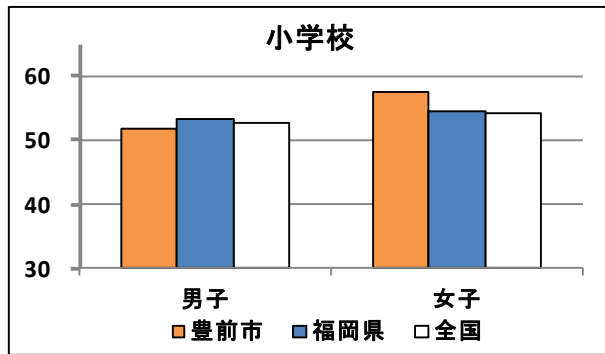
【福智町】



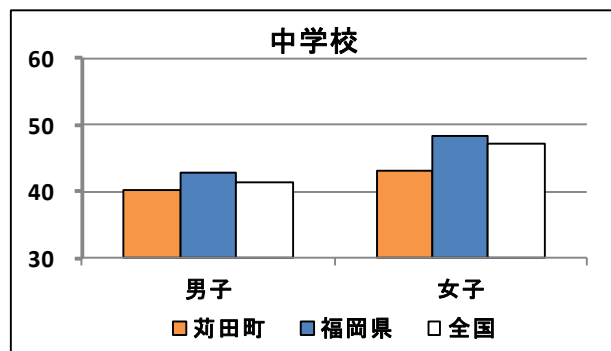
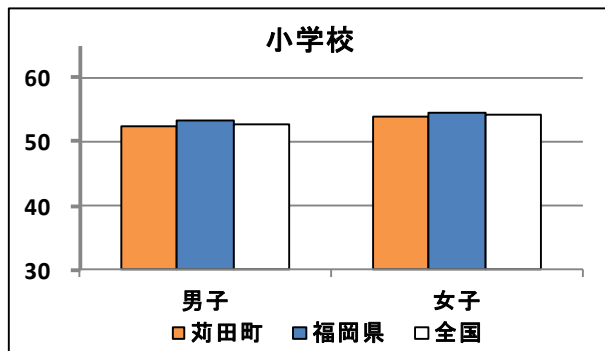
【行橋市】



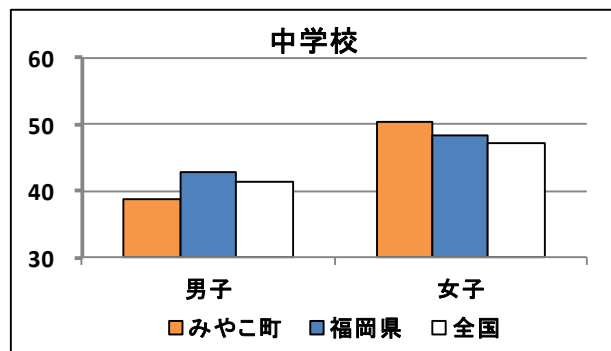
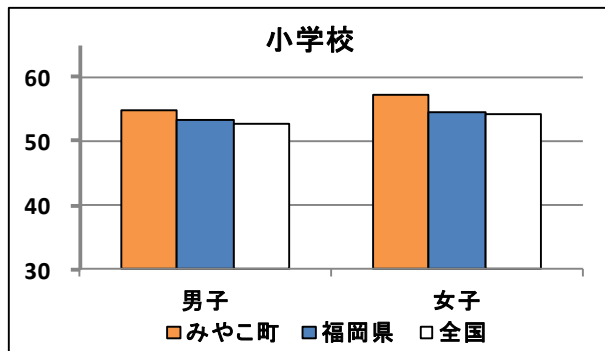
【豊前市】



【苅田町】



【みやこ町】

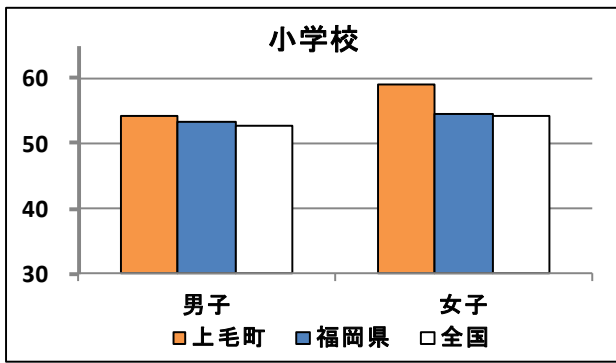


【吉富町】

※町立小学校が1校のため、公表しない。

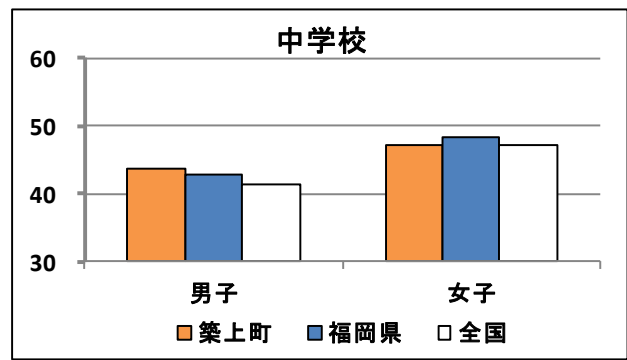
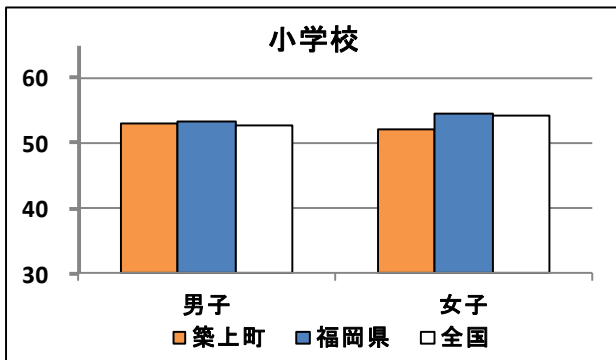
※町外一市中学校組合立中学校が1校のため、公表しない。

【上毛町】

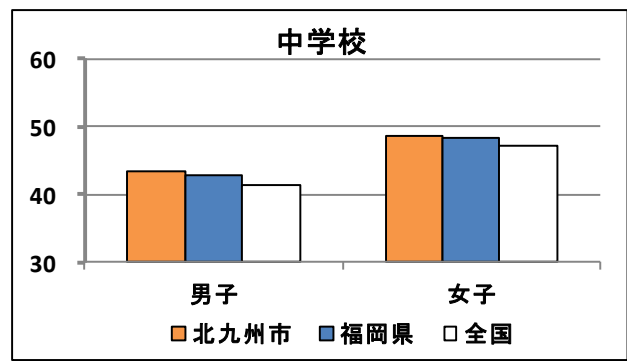
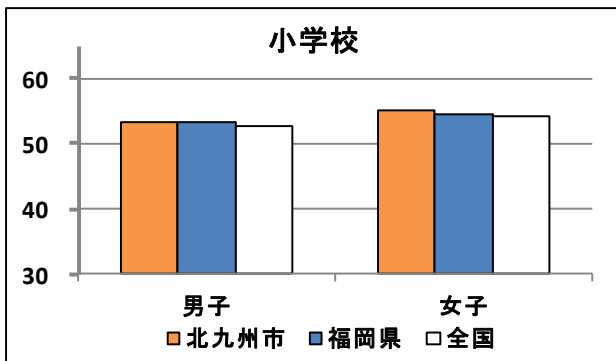


※町立中学校が1校のため、公表しない。

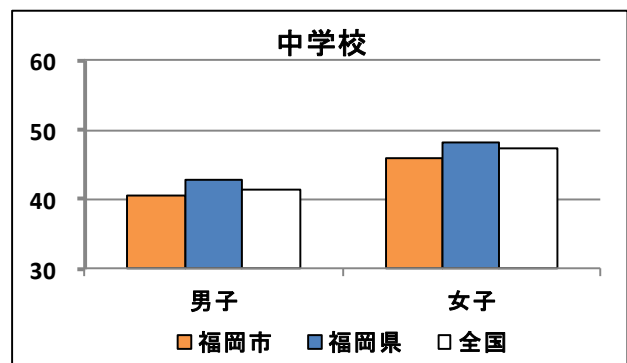
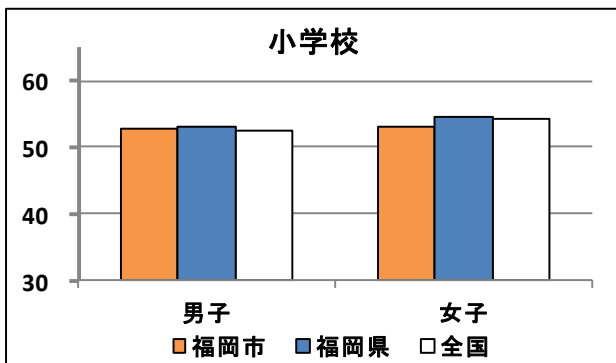
【築上町】



【北九州市】

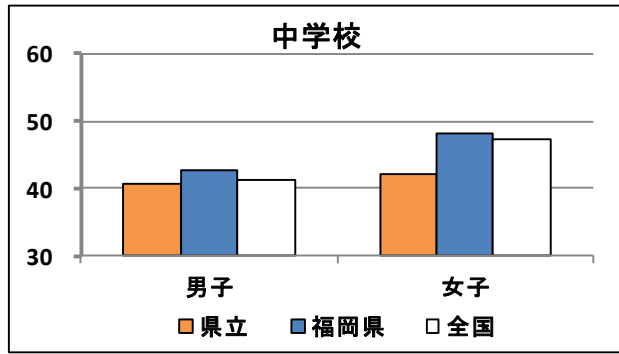


【福岡市】



【県立中学校・県立中等教育学校(前期課程)】

※県立小学校はない。



Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ-2 児童生徒に対する調査

(1) 運動やスポーツに対する意識

- ① 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

- ② 「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは、大切なものですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

- ③ 「運動やスポーツに対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計

【調査結果に関する注意事項と説明】

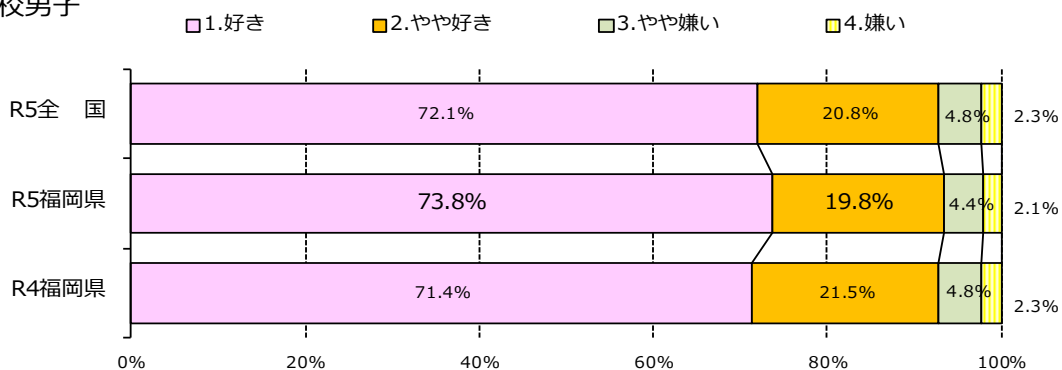
- ① 「Ⅱ-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市(福岡市・北九州市)を除いたデータとなっています。
- ② 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。(複数回答を除く)

Ⅱ－２ 児童生徒に対する調査 (1) 運動やスポーツに対する意識

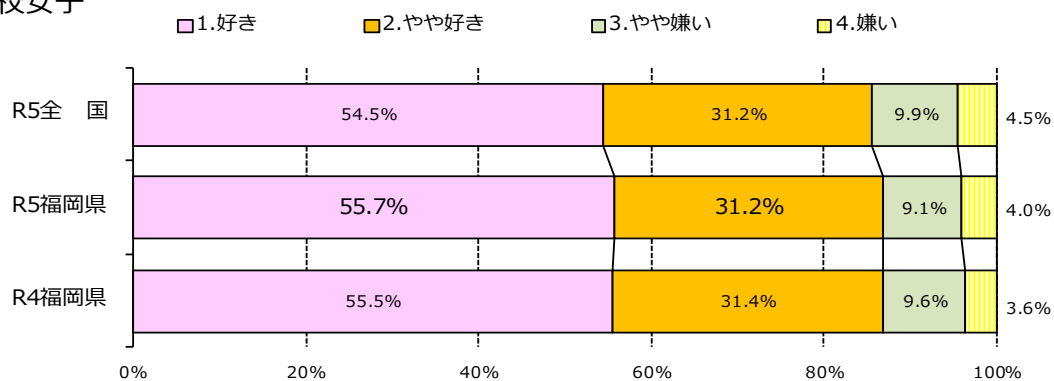
① 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

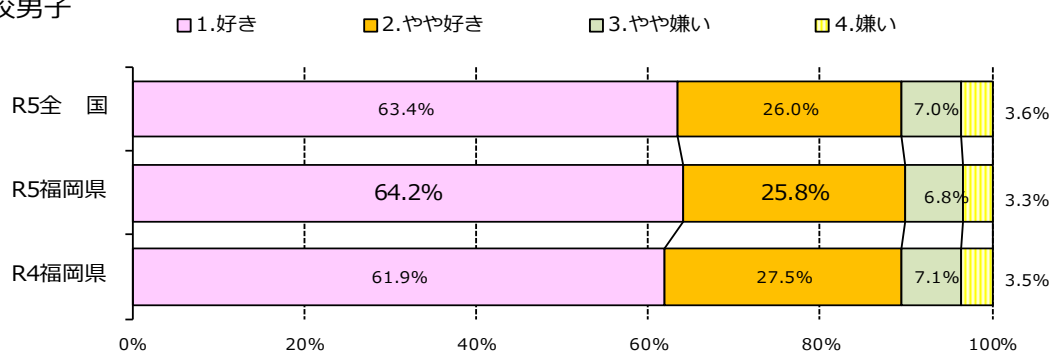
小学校男子



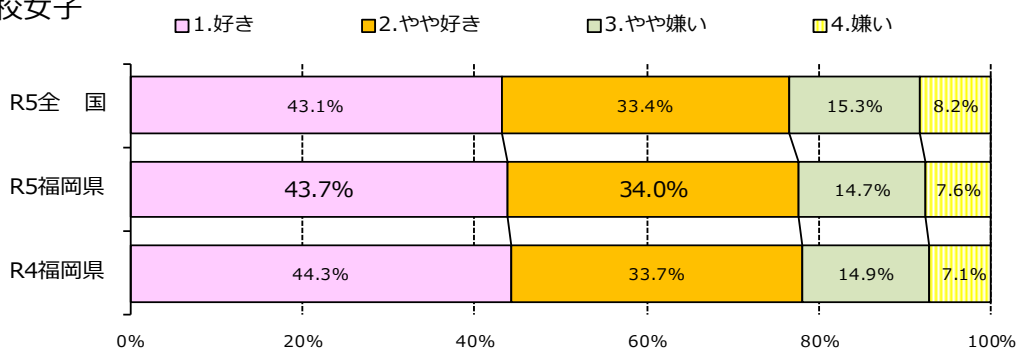
小学校女子



中学校男子



中学校女子

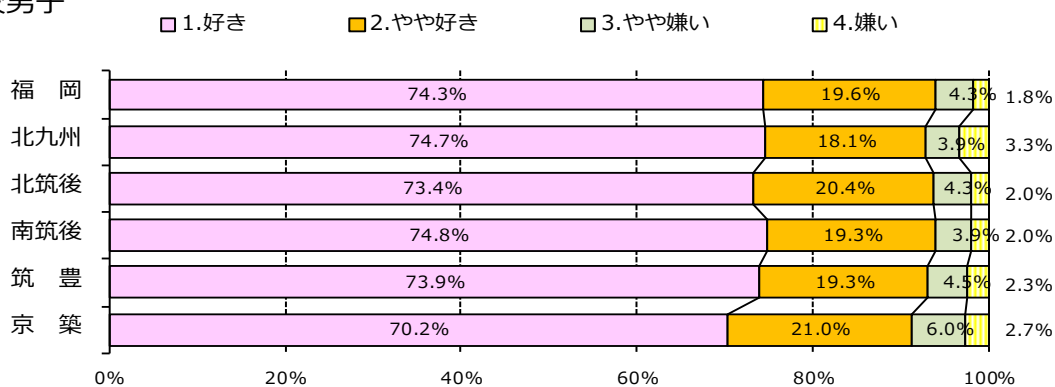


【福岡県の状況】

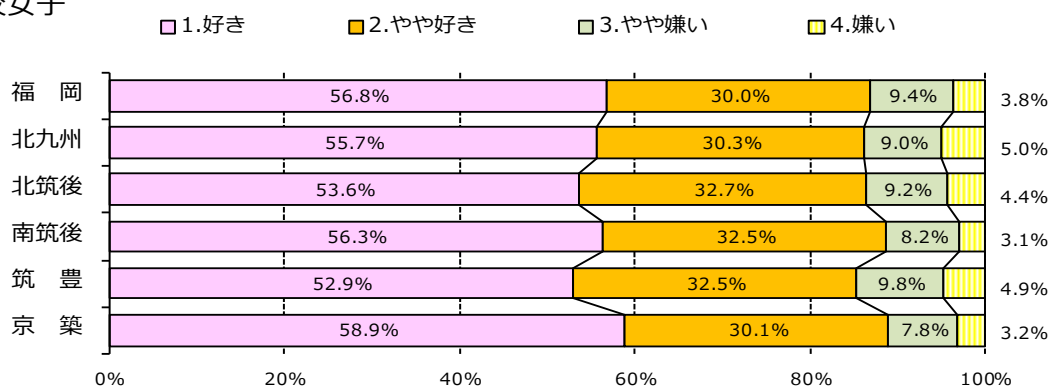
- 小学校男女及び中学校男女すべての区分において、「好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合は、全国平均値を上回っている。
- 令和4年度と比較すると、「好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合は、小学校男子及び中学校男子において増加している。小学校女子は横ばい、中学校女子は減少している。

イ 各地区の状況

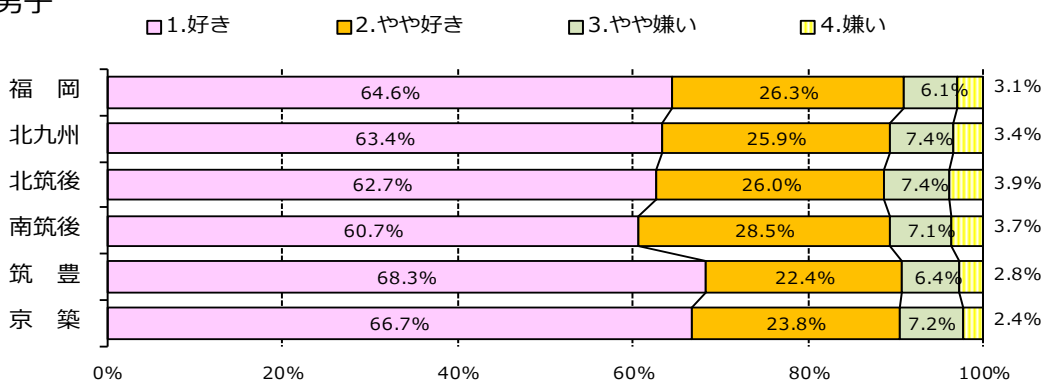
小学校男子



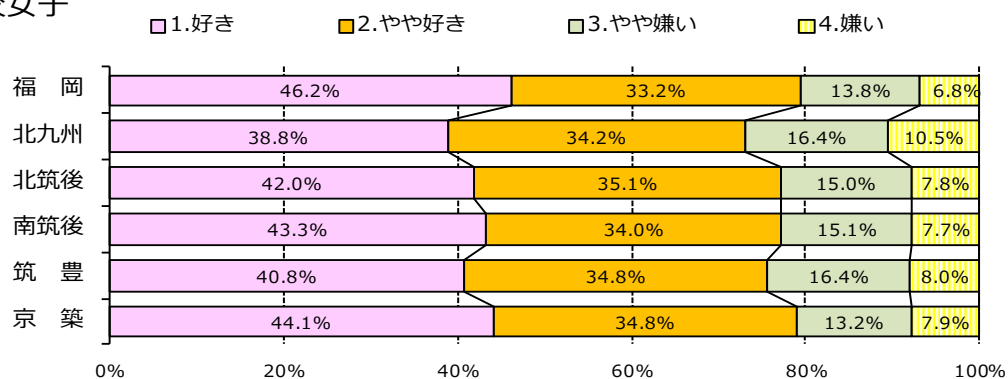
小学校女子



中学校男子



中学校女子



【小学校の状況】

- 「好き・やや好き」と回答した児童の割合を全国値（男子 92.9% 女子 85.7%）と比較すると、男子においては、福岡・北筑後・南筑後・筑豊が上回り、女子においては、福岡・北九州・北筑後・南筑後・京築が上回った。

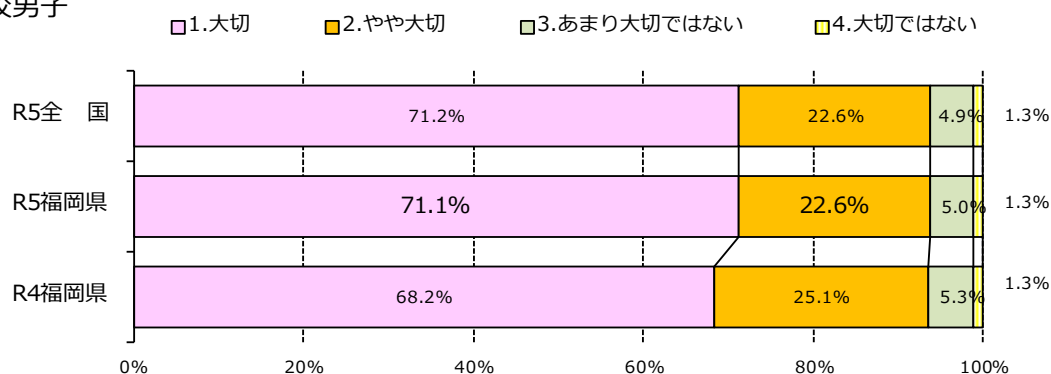
【中学校の状況】

- 「好き・やや好き」と回答した生徒の割合を全国値（男子 89.4% 女子 76.5%）と比較すると、男子においては、福岡・筑豊・京築が上回り、女子においては、福岡・北筑後・南筑後・京築が上回った。

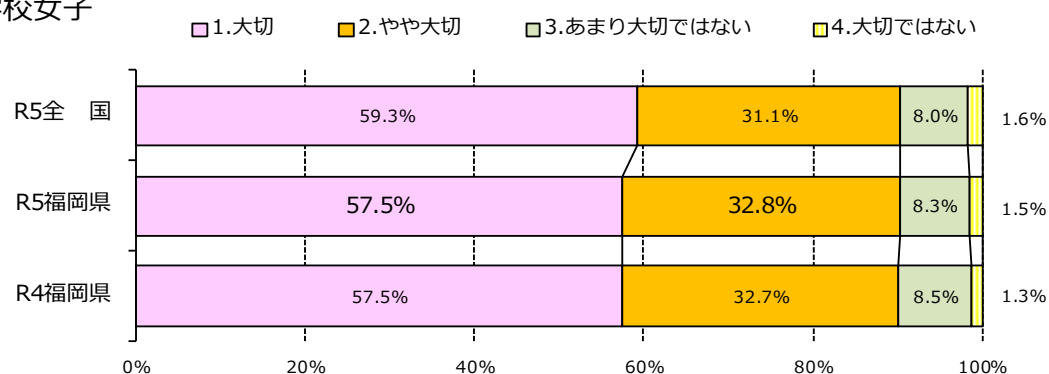
② 「あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは、大切なものですか」
の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

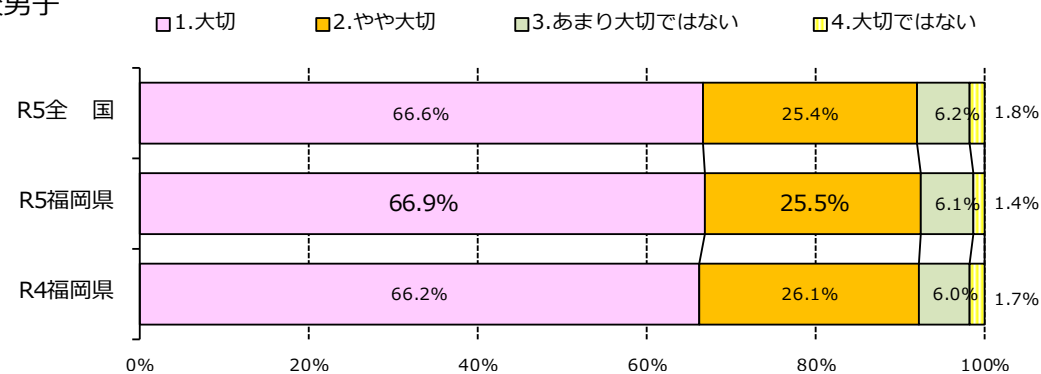
小学校男子



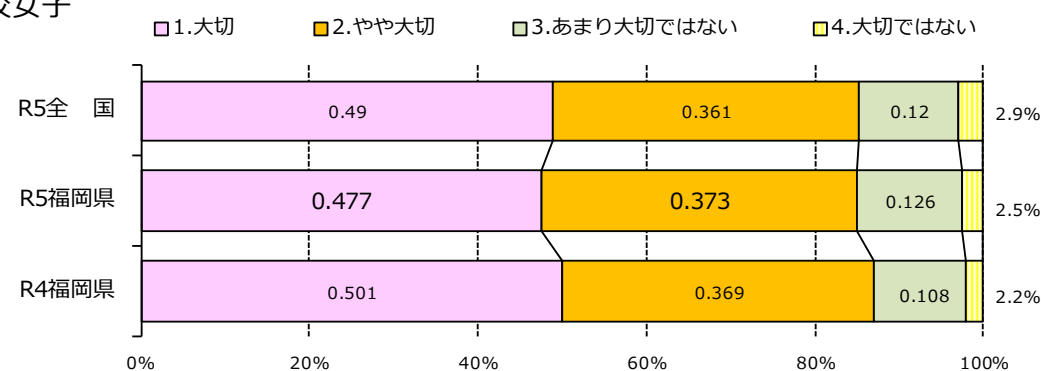
小学校女子



中学校男子



中学校女子

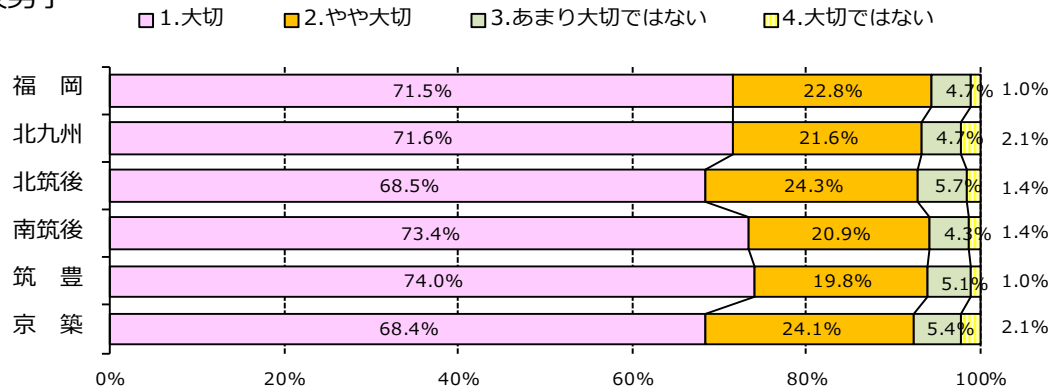


【福岡県の状況】

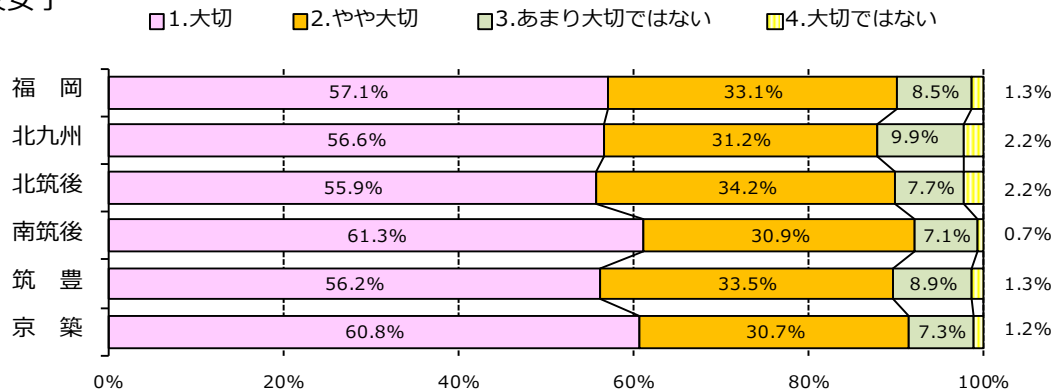
- 全国平均値と比較すると、「大切・やや大切」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校女子において下回った。中学校男子においては、上回った。
- 令和4年度と比較すると、「大切・やや大切」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校男子において増加し、中学校女子においては、減少した。

イ 各地区の状況

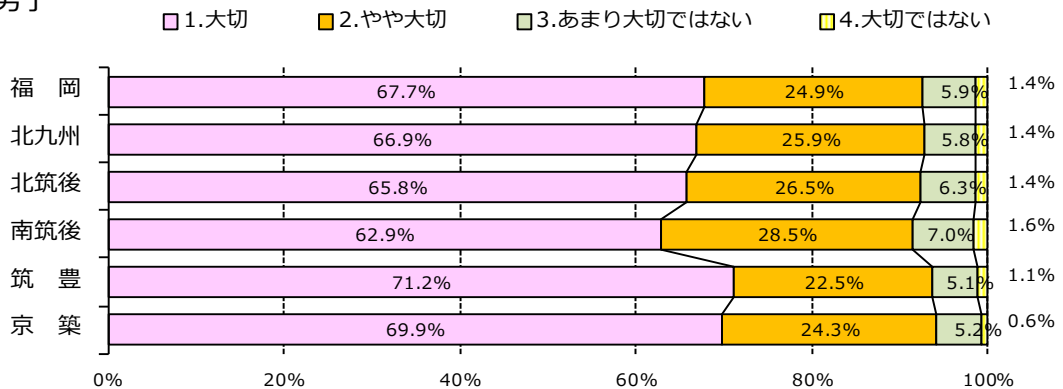
小学校男子



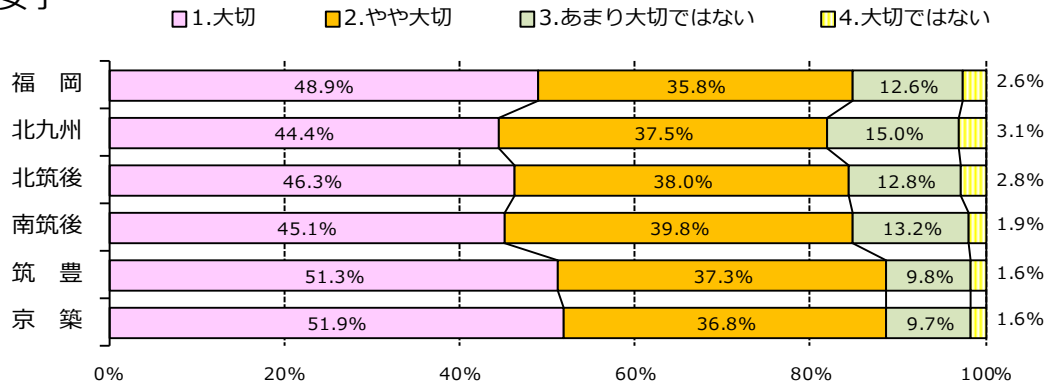
小学校女子



中学校男子



中学校女子



【小学校の状況】

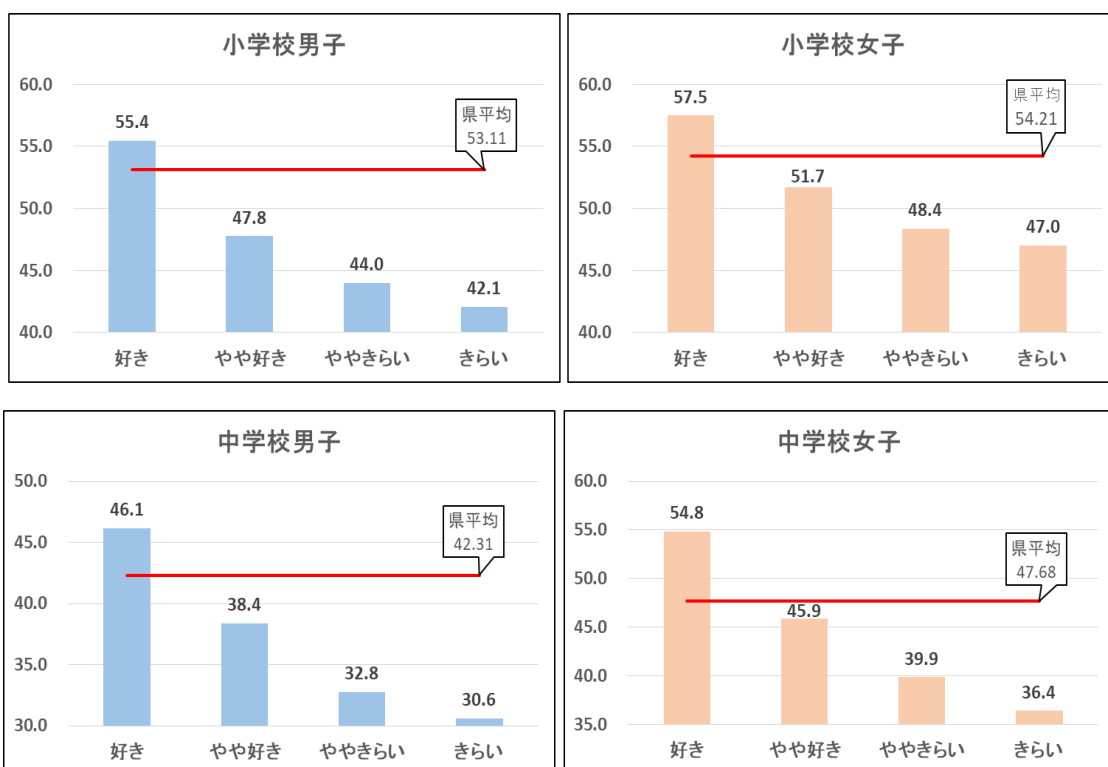
- 「大切・やや大切」と回答した児童の割合を全国平均値（男子 93.8% 女子 90.4%）と比較すると、男子においては、福岡・南筑後が上回り、女子においては、南筑後・京築が上回った。

【中学校の状況】

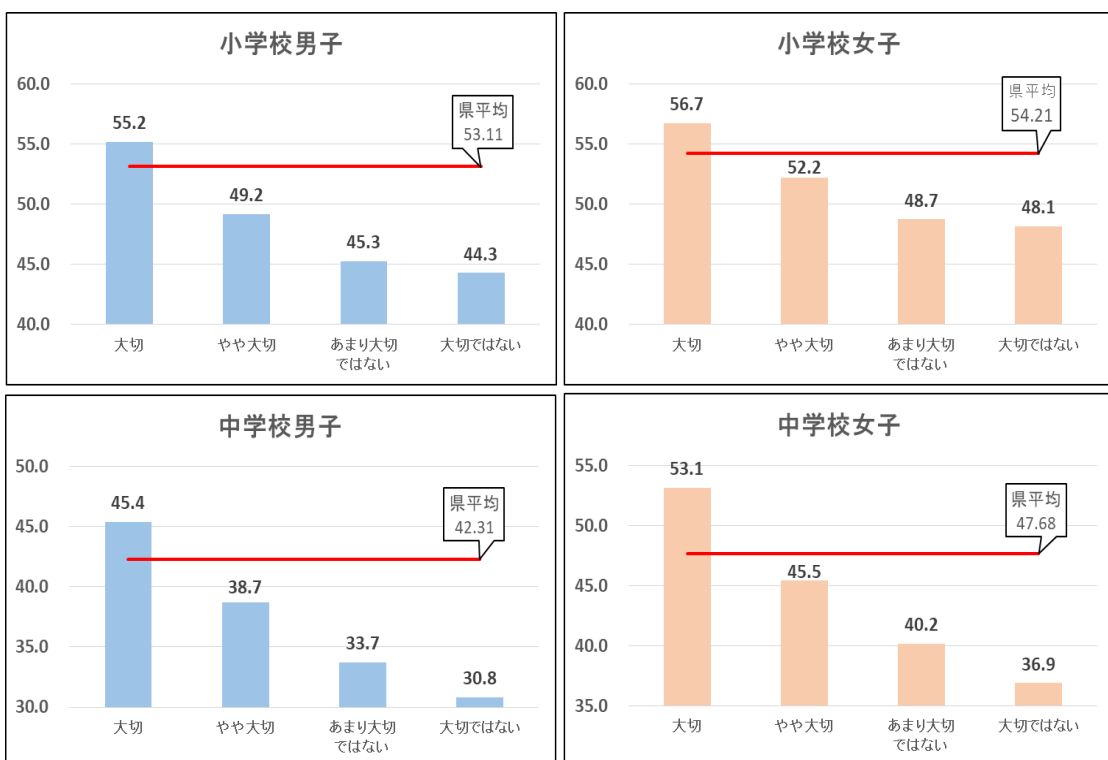
- 「大切・やや大切」と回答した生徒の割合を全国平均値（男子 92.0% 女子 85.1%）と比較すると、男子においては、福岡・北九州・北筑後・筑豊・京築が上回り、女子においては、筑豊・京築が上回った。

③ 「運動やスポーツに対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計

ア 「運動の好き嫌い」と「体力合計点」とのクロス集計



イ 「運動やスポーツは大切か」と「体力合計点」とのクロス集計



【福岡県の状況】

小中学校男女ともに、運動やスポーツをすることが「好き」、運動やスポーツは「大切」と回答した児童・生徒ほど、体力合計点が高かった。また、小中学校男女ともに「好き」「大切」と回答した児童・生徒の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ-2 児童生徒に対する調査

(2) 1週間の総運動時間

- ① 「学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをどのくらいしていますか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

ウ 「1週間の総運動時間」と「体力合計点」とのクロス集計

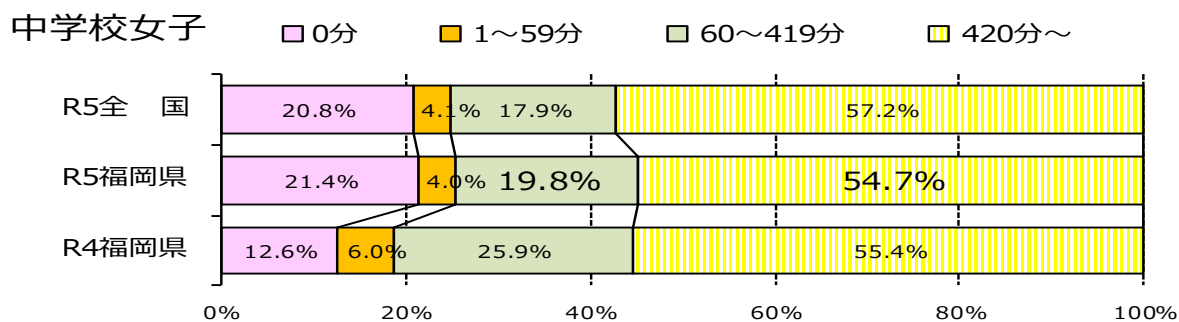
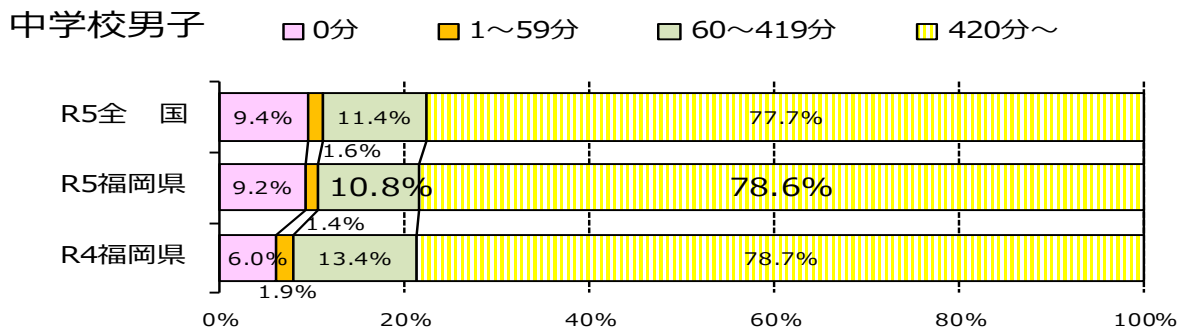
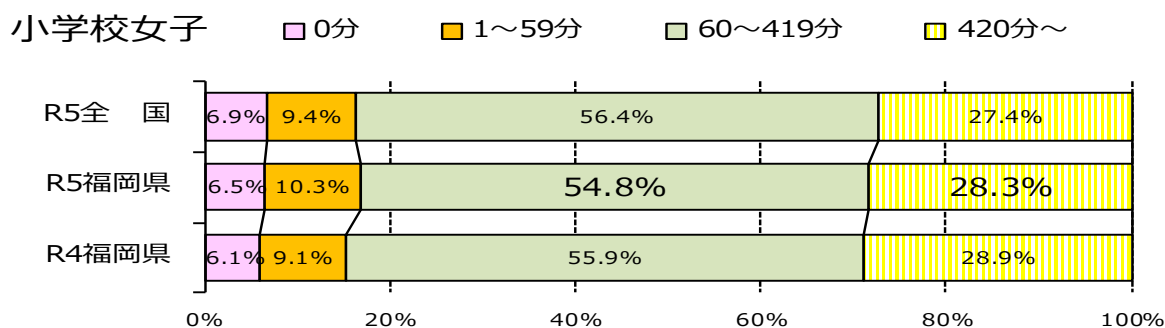
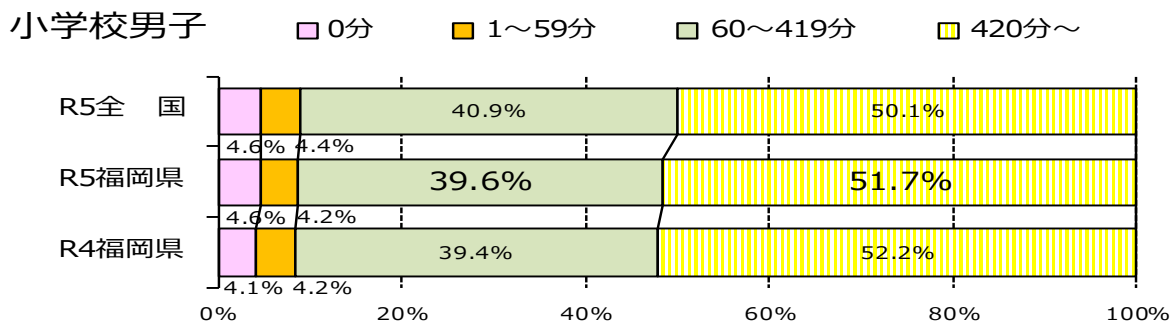
【1週間の総運動時間について】

- ・小学校は、ふだんの1週間について「学校の体育・保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日およそどのくらいの時間していますか」に対する各曜日の回答の合計。
 - ・中学校は、「学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分くらい活動していますか（学校の体育の授業を除く）」に対する各曜日の回答の合計。
- ※「体を動かす遊びを含む」の文言は平成26年度より追加した。

Ⅱ-2 児童生徒に対する調査 (2) 1週間の総運動時間

① 「学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをどのくらいしていますか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

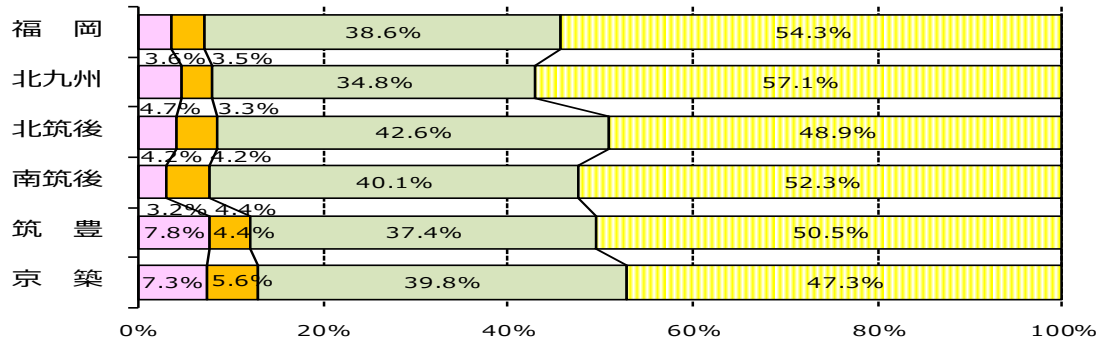


【福岡県の状況】

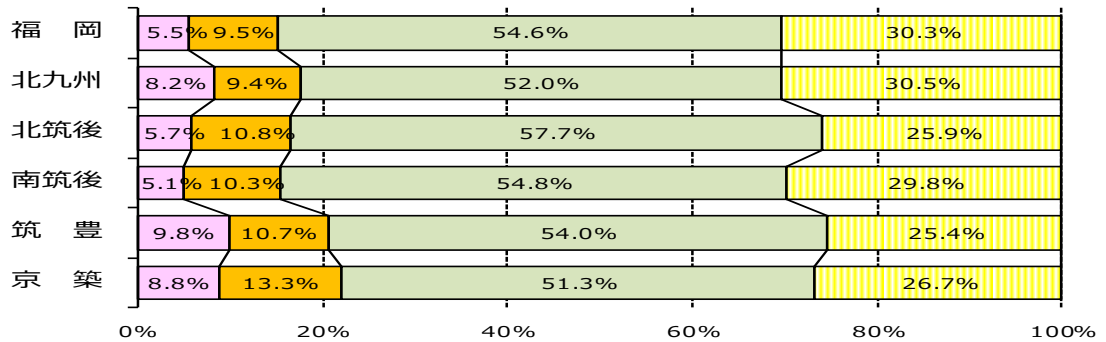
- 小学校男子、中学校男子の1週間の総運動時間「60分以上」の割合は、全国平均を上回っている。
しかし、小学校女子、中学校女子は、全国平均を下回っている。
- 令和4年度と比較すると、1週間の総運動時間「60分以上」の割合は、小学校男女及び中学校男女の全ての区分において減少している。

イ 各地区の状況

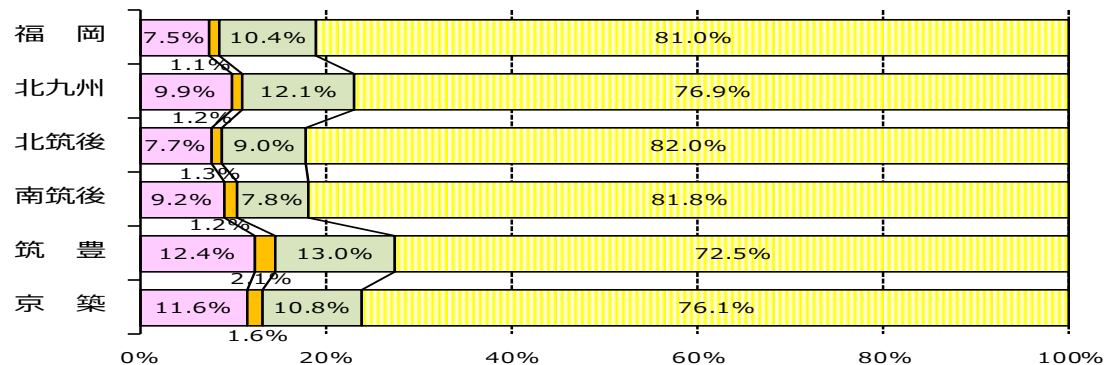
小学校男子 0分 1~59分 60~419分 420分~



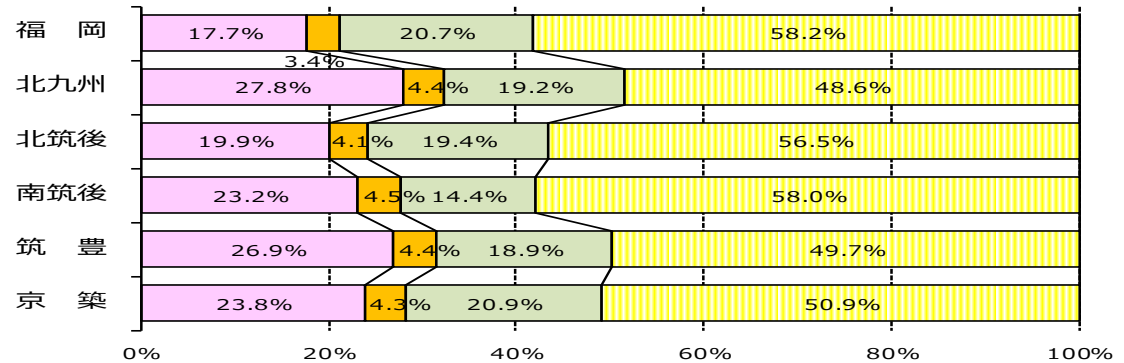
小学校女子 0分 1~59分 60~419分 420分~



中学校男子 0分 1~59分 60~419分 420分~



中学校女子 0分 1~59分 60~419分 420分~



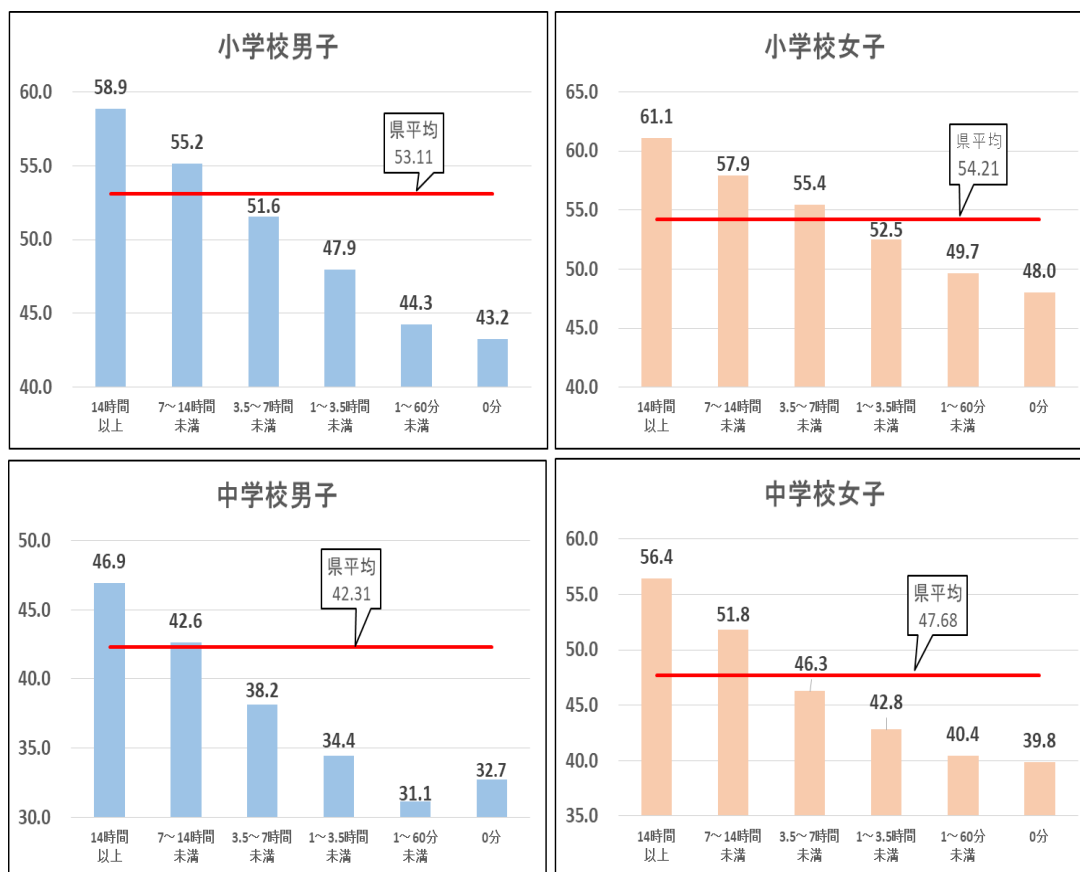
【小学校の状況】

- 1週間の総運動時間「60分以上」の割合を全国値（男子 91.0% 女子 83.8%）と比較すると、男子においては、福岡・北九州・北筑後・南筑後が上回り、女子においては、福岡・南筑後が上回った。

【中学校の状況】

- 1週間の総運動時間「60分以上」の割合を全国値（男子 89.1% 女子 75.1%）と比較すると、男子においては、福岡・北筑後・南筑後が上回り、女子においては、福岡・北筑後が上回った。

ウ 「1週間の総運動時間」と「体力合計点」とのクロス集計



【小学校の状況】

- 男女ともに、1週間の総運動時間が長い児童ほど体力合計点が高かった。また、男子では「7時間以上」、女子では「3.5時間以上」運動をしている児童の体力合計点は、県平均値より高かった。

【中学校の状況】

- 小学校と同様に、男女ともに、1週間の総運動時間が長い生徒ほど体力合計点が高い傾向にあった。また、男女ともに、「7時間以上」運動をしている生徒の体力合計点は、県平均値より高かった。

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ-2 児童生徒に対する調査

(3) 体育・保健体育の授業に対する意識

① 「体育・保健体育の授業は楽しいですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

ウ 「体育・保健体育の授業の楽しさ」と「体力合計点」
とのクロス集計

エ 「体育・保健体育の授業の楽しさ」と「1週間の総運
動時間」とのクロス集計

【調査結果に関する注意事項と説明】

- ① 「Ⅱ-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市（福岡市・北九州市）を除いたデータとなっています。
- ② 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。（複数回答を除く）

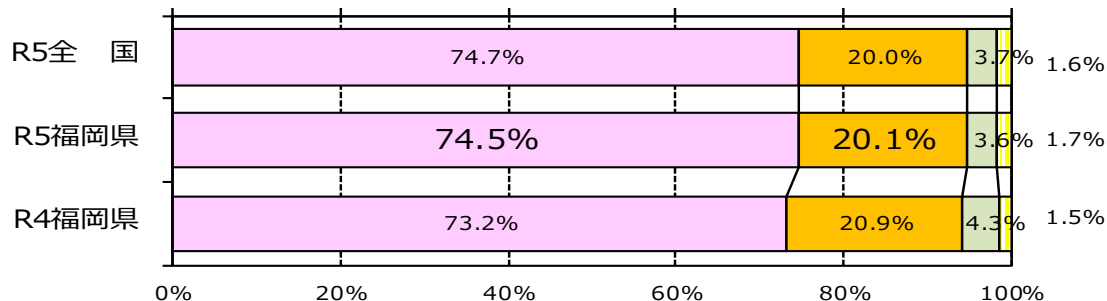
Ⅱ-2 児童生徒に対する調査

(3) 体育・保健体育の授業に対する意識

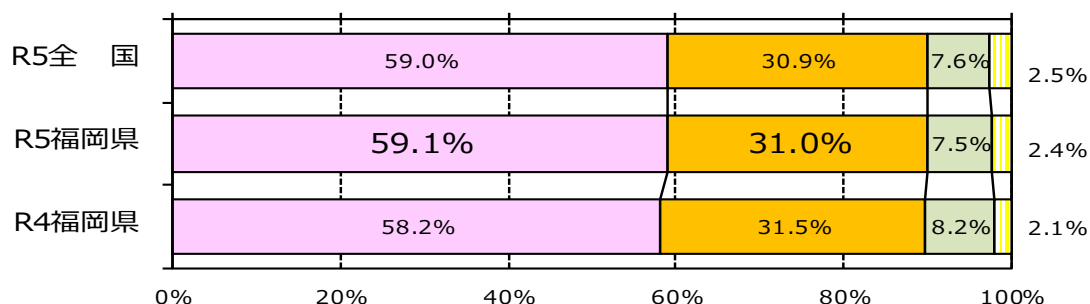
① 「体育・保健体育の授業は楽しいですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

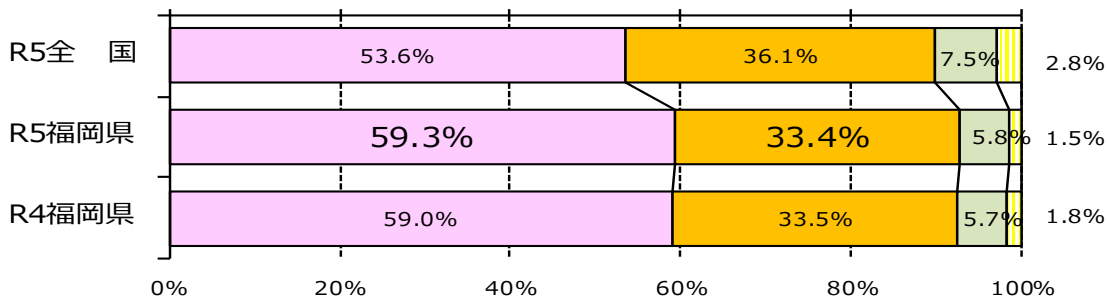
小学校男子 □1.楽しい □2.やや楽しい □3.あまり楽しくない □4.楽しくない



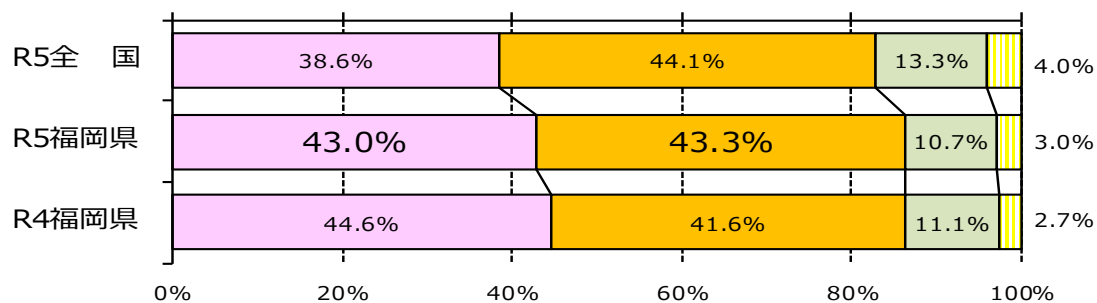
小学校女子 □1.楽しい □2.やや楽しい □3.あまり楽しくない □4.楽しくない



中学校男子 □1.楽しい □2.やや楽しい □3.あまり楽しくない □4.楽しくない



中学校女子 □1.楽しい □2.やや楽しい □3.あまり楽しくない □4.楽しくない

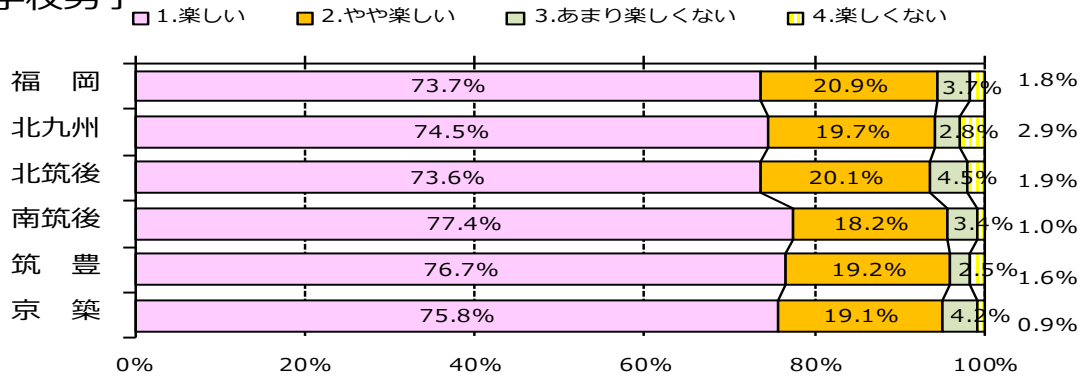


【福岡県の状況】

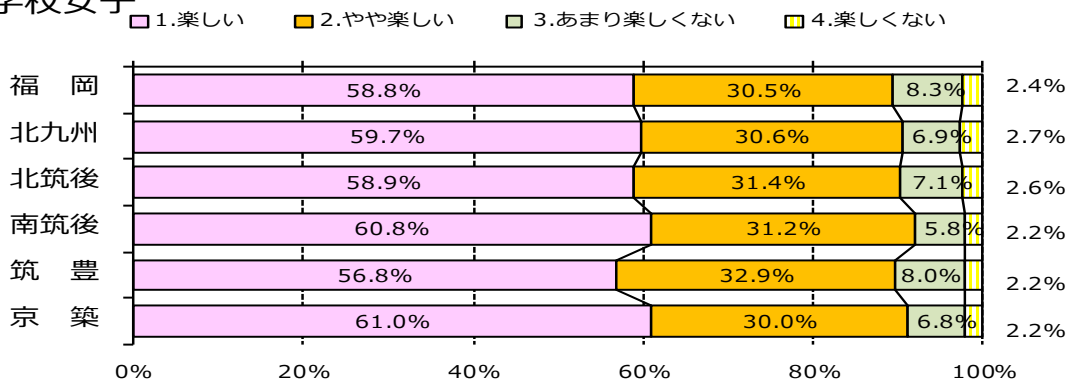
- 全国値と比較すると、「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小学校女子及び中学校男女において、上回っている。
- 令和4年度と比較すると、「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校男女全ての区分において、増加している。

イ 各地区の状況

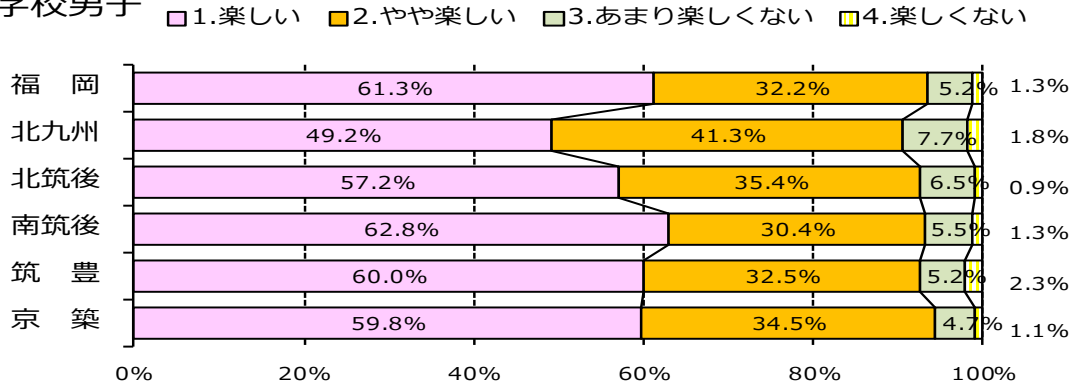
小学校男子



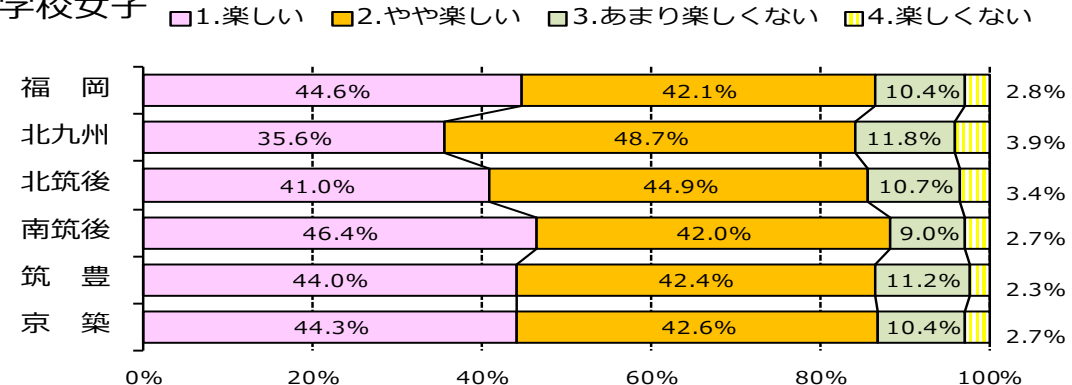
小学校女子



中学校男子



中学校女子



【小学校の状況】

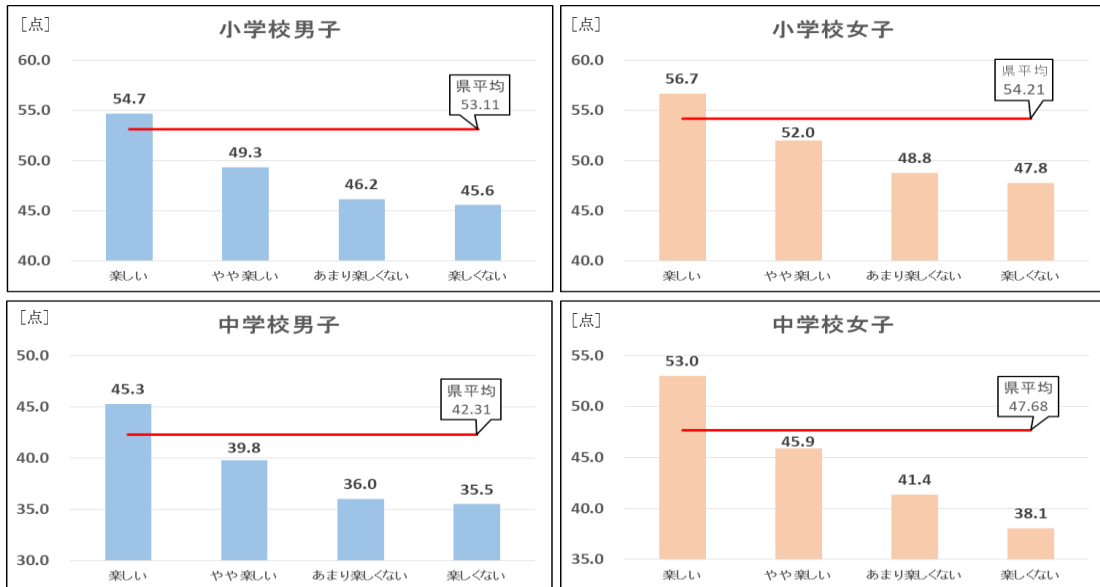
○ 「楽しい・やや楽しい」と回答した児童の割合を全国値（男子 94.7% 女子 89.9%）と比較すると、男子においては、南筑後・筑豊・京築が上回り、女子においては、北九州・北筑後・南筑後・京築が上回った。

【中学校の状況】

○ 「楽しい・やや楽しい」と回答した生徒の割合を全国値（男子 89.7% 女子 82.7%）と比較すると、男女ともに、全地区が上回った。

ウ 「体育・保健体育の授業の楽しさ」と「体力合計点」とのクロス集計

質問紙調査「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」に対する回答と「体力合計点」をクロス集計したものです。

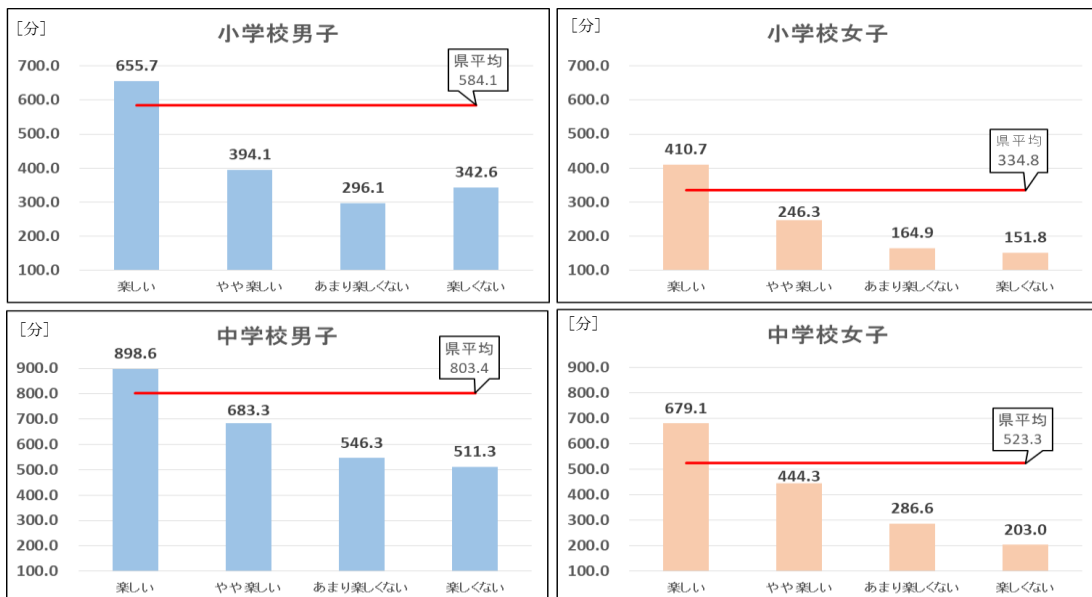


【福岡県の状況】

小中学校男女ともに、体育（保健体育）の授業が「楽しい」と回答した児童・生徒ほど体力合計点が高かった。また、小中学校男女ともに、「楽しい」と回答した児童・生徒の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

エ 「体育・保健体育の授業の楽しさ」と「1週間の総運動時間」とのクロス集計

質問紙調査「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」に対する回答と「1週間の総運動時間」をクロス集計したものです。



【福岡県の状況】

小中学校男女ともに、体育（保健体育）の授業が「楽しい」と回答した児童・生徒ほど1週間の総運動時間が長い傾向がみられた。また、小中学校男女ともに、「楽しい」と回答した児童・生徒の1週間の総運動時間平均値は、県平均値より高かった。

Ⅲ 学校に対する調査結果の概要

(1) 家庭との連携について

- ① 「運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか(複数回答可)」の回答

(2) ICTの活用について

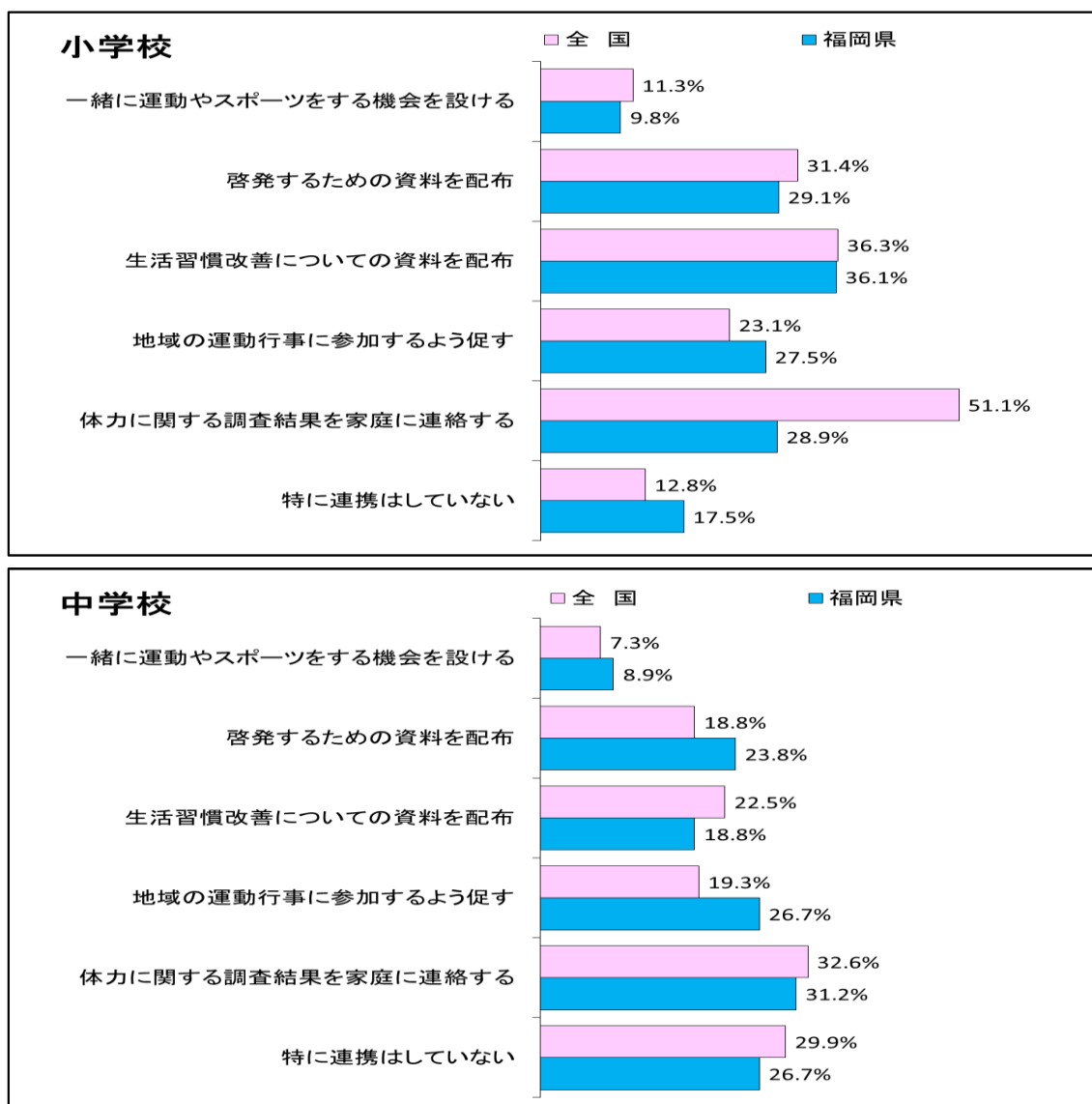
- ① 「体育・保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか」の回答
- ② 「体育・保健体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか」の回答

Ⅲ 学校に対する調査結果の概要

(1) 家庭との連携について

子供の体力向上に向けては、家庭や地域と連携しながら、子供の運動機会を創出していくことが大切です。本県の小中学校においては、どのような連携がなされているのか、アンケート結果をまとめています。

- ① 「運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか(複数回答可)」の回答



【福岡県の状況】

- 小学校では、生活習慣改善についての資料を配布したり、啓発するための資料を配布したりして、情報を共有していることがうかがえる。中学校では、体力に関する調査結果を家庭に連絡したり、地域の運動行事に参加するよう促したりしている。しかし、小中学校ともに、一緒に運動やスポーツをする機会を設けることについて回答した割合は、10%以下となっている。
- 全国値と比較すると、小学校で、「体力に関する調査の結果を家庭に連絡する」と回答した割合が全国値を20ポイント以上、下回っている。
- 小学校では、「特に連携はしていない」と回答した割合が全国値より高くなっている。また、中学校では、全国値よりは低いものの、26.7%となっている。

スポーツ庁は、子供の運動習慣形成と体力向上に向けた今後の取組として、下図のように5つの対策パッケージを示しています。その中の1つとして、**家庭における運動を実践するきっかけづくり**を実施することとしています。

【子供の運動習慣形成と体力向上に向けた取組について 令和5年12月】

子供の運動習慣形成と体力向上に向けた取組について

令和5年12月

○令和元年度から続く子供の体力の**低下傾向に見られた改善の兆し**を、運動習慣の本質的な改善につなげることが必要
 ○いわゆる「**ゴールデンエイジ**」（概ね幼児期から中学生まで）の運動習慣は、生涯にわたる体力・運動能力等の基盤となる極めて重要な要素であることから、**生活の中に運動(習慣)を取り入れ定着させるための取組**を進めていくことが必要
 ○**学校・家庭・地域における運動機会を確保**し、子供の**運動習慣の形成や体力向上**につなげられるよう以下の取組を実施

地 域

- 1. 幼児期における運動習慣形成の取組を強化**
 - 毎日合計60分以上、楽しく体を動かすことを目安として示した「**幼児期運動指針**」や、望ましい動きや能力を獲得するための運動プログラム「**アクティブチャイルドプログラム**」の周知・普及
 - 幼児期からの**運動遊びの普及**や、**保護者等の行動変容に関する調査分析**の実施
- 2. 子供のニーズに応じた多様なスポーツ環境の整備を促進**
 競技・大会志向の特定種目の活動だけでなく、アーバンスポーツ、レクリエーション、体験型キャンプ、パラスポーツなど、従来の部活動では対応しきれていない、子供のニーズに応じた**多様なスポーツ機会を提供**（地域クラブ活動の運営団体等の整備、指導者の確保、デジタル動画の活用、コミュニティ・スクール等の仕組みの活用等）

学 校

- 3. 体育授業における児童生徒の運動意欲向上**
 - 体育授業へのアスリートの派遣**を通じた児童生徒の運動意欲を喚起する教育手法の普及
 - GIGAスクール環境下における体育活動の充実**に向けた一人一台端末を活用した指導方法の研究・成果の普及
- 4. 授業以外の児童生徒の運動時間を増加**
 小・中学校における時間割例を含めた、**業前業間や放課後**における体力向上の**取組事例を周知**

家 庭

- 5. 家庭で運動を実践するきっかけを提供**
 学校や地域で身に付けた運動習慣等を家庭でも実践するきっかけとして、**室伏長官が考案・実演する動画**を作成。幅広いプロモーションを実施。
 ・**身体診断「セルフチェック」動画をe-learning化**
 ・**「力を引き出す」ウォーミングアップ動画**を作成・公表

※ この他、今後の対策に向けた幅広い分析・研究に生かすため、全国体力・運動能力、運動習慣等**調査データの提供制度を開始**予定（令和6年から提供開始）

日本スポーツ協会では、子供が発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、**アクティブ・チャイルド・プログラム**を開発しています。親子でできる遊びをたくさん紹介しています。家庭への通信などに掲載するなど、**親子で運動するきっかけづくり**を発信していきましょう。

親子でパッチン



人間お好み焼き



バランスしりとり




スポーツ庁のホームページでは、学校や家庭など、生活の中で様々な運動を行う際に、本来自分もっている力を発揮するために参考となる「**力を引き出すウォーミングアップ動画**」を紹介しています。大人の皆さんも活用できるものとなっていますので、**家庭で運動をはじめるとき**のきっかけとなることが期待されます。



自分の身体
知っていますか？
室伏広治の動作改善エクササイズ
corrective exercise

体幹部の筋力への
アプローチ
Abdominal muscles strength --
Straight Leg Lowering 45





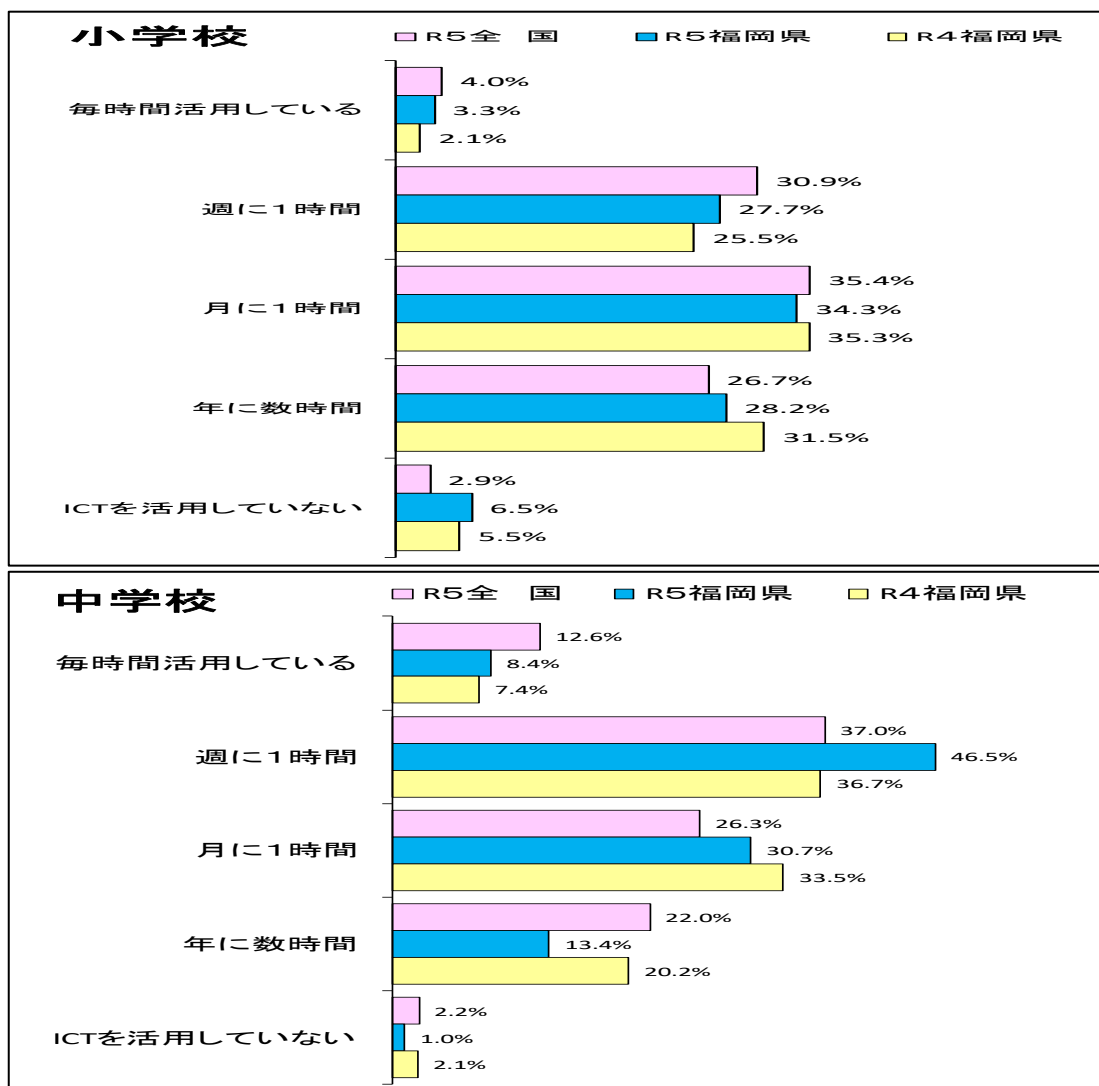

(2) ICT の活用について

体育・保健体育の授業において、ICT を活用して個々の学習の記録の管理や、その可視化をすることによって、運動や健康についての課題を見付けたり、その解決に向けて思考し判断したりする資質・能力の育成に向けて期待できる部分は多いです。

また、画像や映像を用いることで、より具体的な動きのモデルを短時間でいつでも確認することができるようになるなど、ICT の適切な活用による学習の効率化は、児童生徒がより多く運動やスポーツに触れる時間を創出することにつながります。

【令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の総括から】

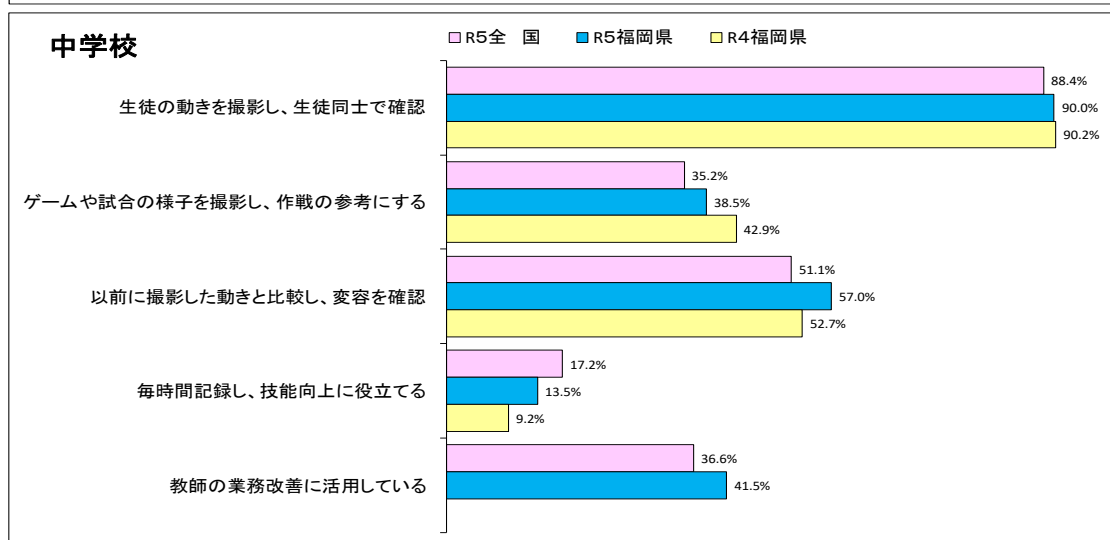
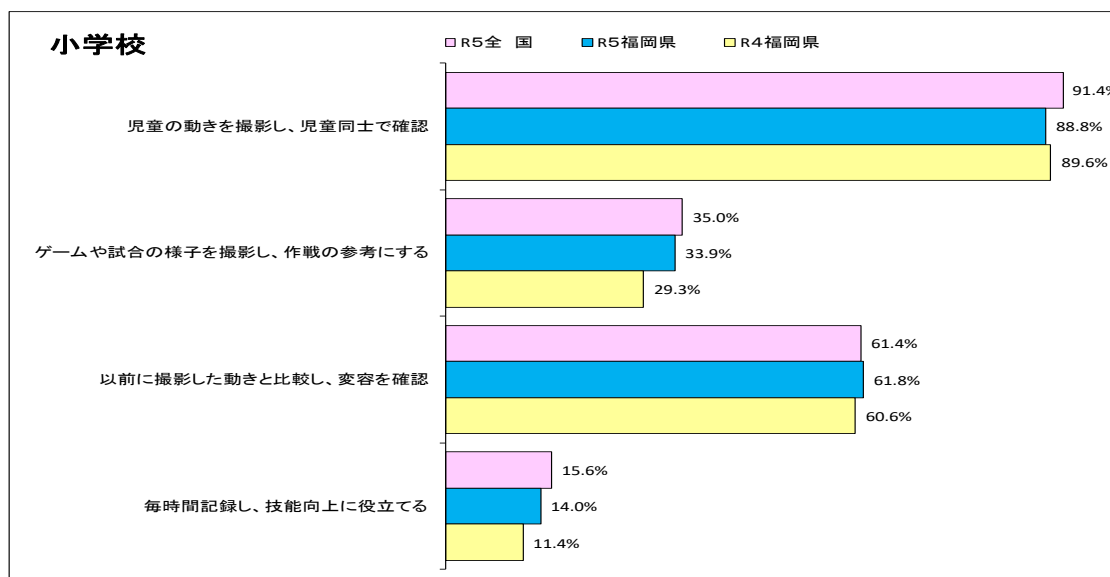
- ① 「体育・保健体育の授業における ICT の活用について、どのくらいの頻度で活用していますか」についての回答



【福岡県の状況】

- 小学校については、「月に1時間」、中学校については、「週に1時間」と回答している割合が最も高かった。
- 全国値と比較すると、小中学校ともに、「毎時間活用している」と回答した割合は低いものの、令和4年度と比較すると、小中学校ともに、「年に数時間」、「月に1時間」と回答した割合が減少し、「週に1時間」、「毎時間活用している」と回答した割合が増加している。
- 小学校と中学校を比較すると、小学校に比べ中学校は、「毎時間活用している」「週に1時間」と回答している割合が高かった。

② 「体育・保健体育の授業で ICT を活用している場合、どのように活用していますか」
の回答



※「教師の業務改善に活用している」は令和5年度に新たに追加された項目（中学校のみ）

【福岡県の状況】

- 小中学校ともに、「児童(生徒)の動きを撮影し、児童(生徒)同士で確認」と回答している割合が最も高く、「毎時間記録し、技能向上に役立てる」と回答している割合が最も低かった。
- 全国値と比較すると、小中学校ともに、「以前に撮影した動きと比較し、変容を確認」と回答した割合が高かった。
- 令和4年度と比較すると、小中学校ともに、「毎時間記録し、技能向上に役立てる」、「以前に撮影した動きと比較し、変容を確認」と回答している割合が増加している。

【参考資料】

児童生徒の1人1台端末
を活用した体育・保健
体育授業の事例集
(事例集作成委員会)



小学校体育の動画資料 ～器械・器具を使っ
ての運動遊び、器械運動～ (スポーツ庁)



IV 児童生徒の運動習慣・生活習慣の状況について

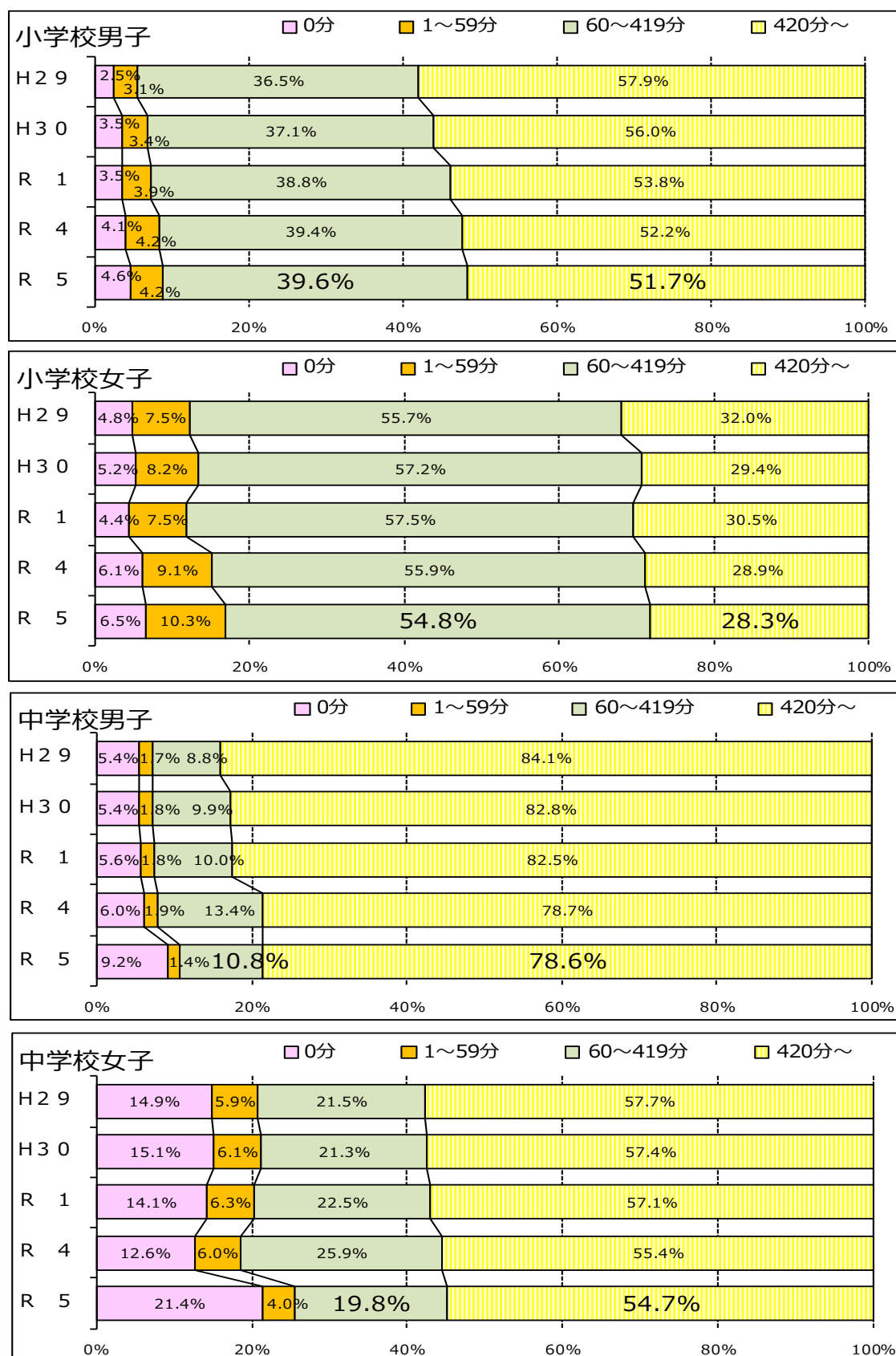
- (1) 1週間の総運動時間の推移
- (2) 肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移
- (3) 朝食を食べない児童生徒の推移
- (4) 1日の睡眠時間の推移
- (5) 1日のスクリーンタイムの推移
- (6) 体力総合評価の推移

【調査結果に関する注意事項と説明】

- ① 「Ⅱ-1 実技に関する調査」については、政令市(福岡市・北九州市)を含んだデータとなっていますが、「Ⅱ-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市(福岡市・北九州市)を除いたデータとなっています。
- ② 「IV 児童生徒の運動習慣・生活習慣の状況について」における経年比較のグラフは、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は調査中止、令和3年度は標本数が大幅に減少しています。
- ③ 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。(複数回答を除く)

IV 児童生徒の運動習慣・生活習慣の状況について

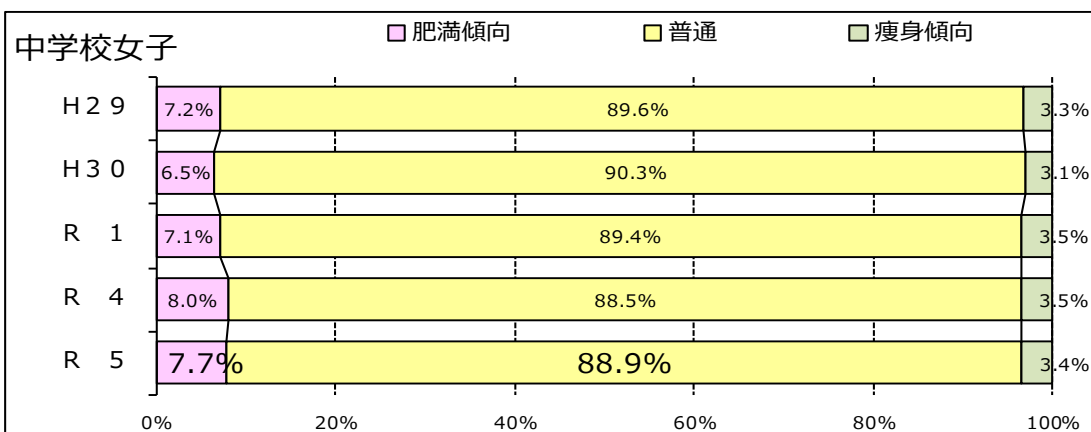
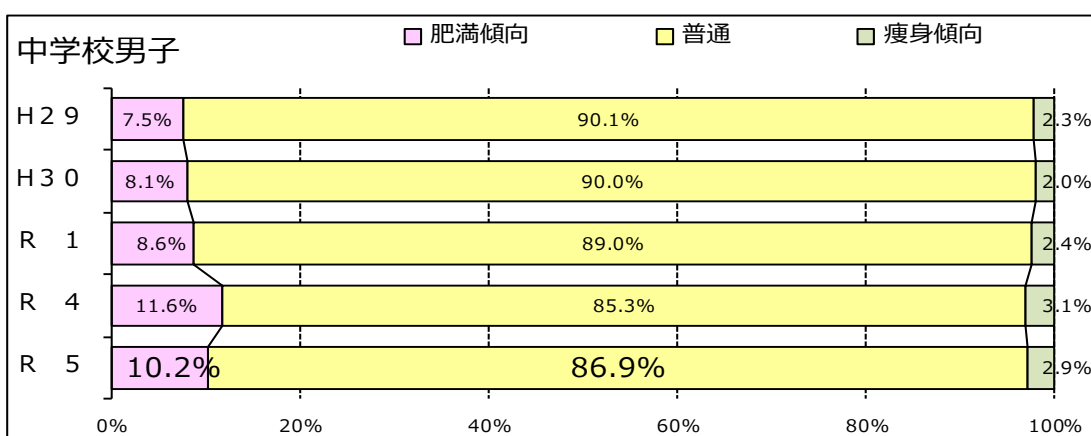
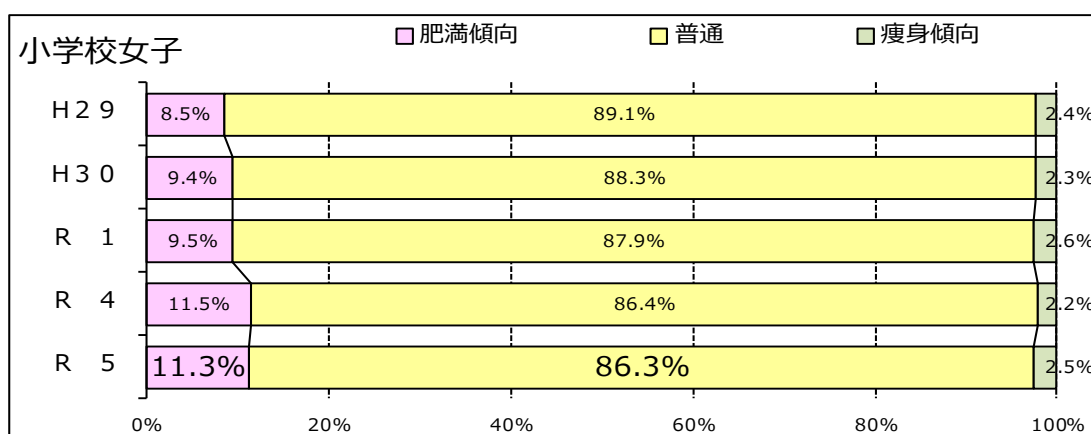
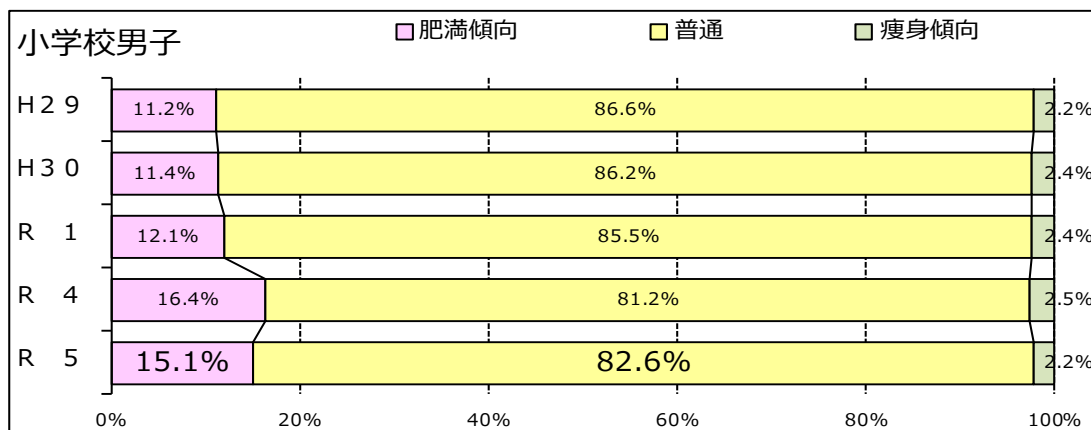
(1) 1週間の総運動時間の推移



【福岡県の状況】

1週間の総運動時間「60分以上」の割合は、小学校男子、中学校男子については平成29年度以降、小学校女子については令和元年度以降、減少傾向が続いている。中学校女子については、平成30年以降から増加傾向であったが、令和5年度に低下している。

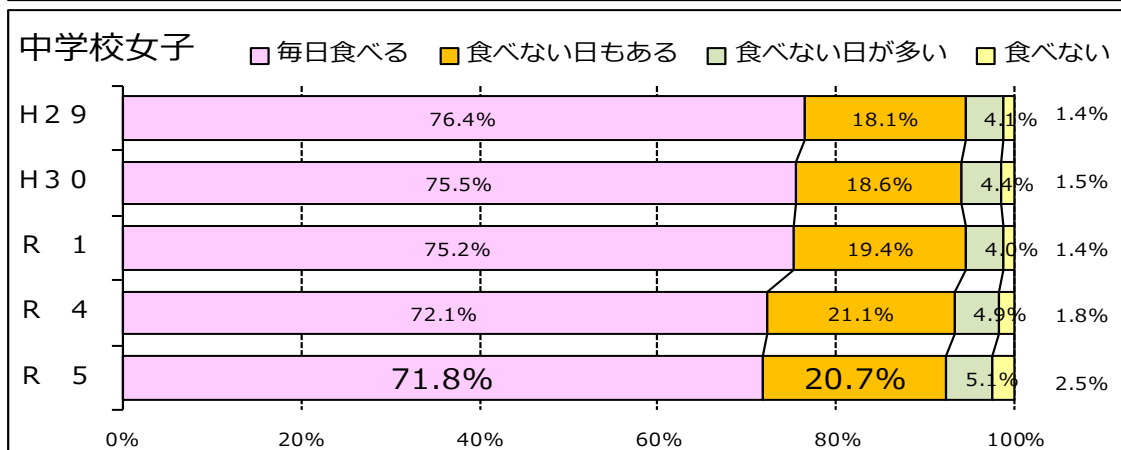
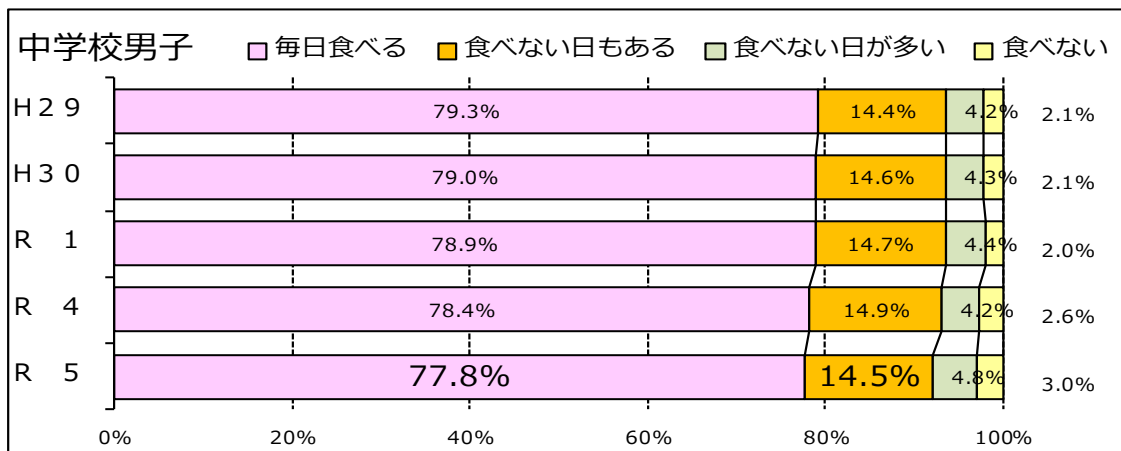
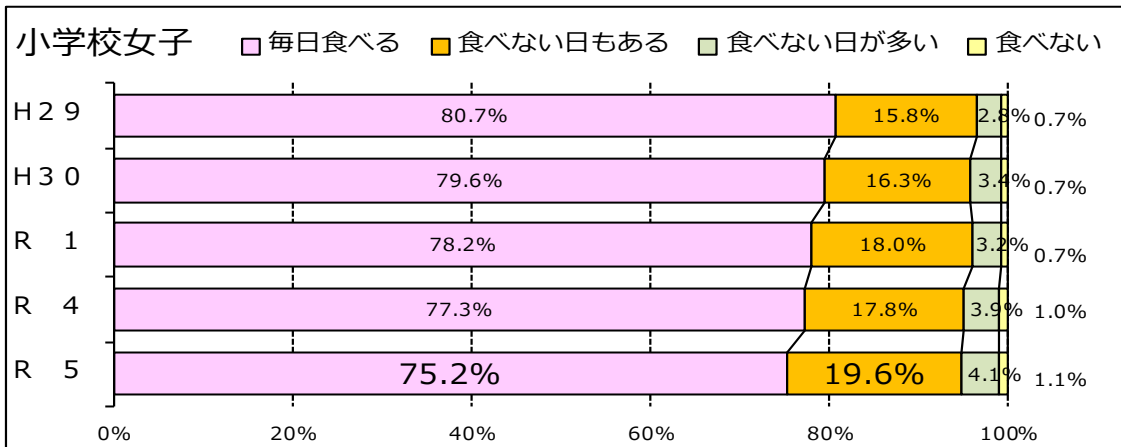
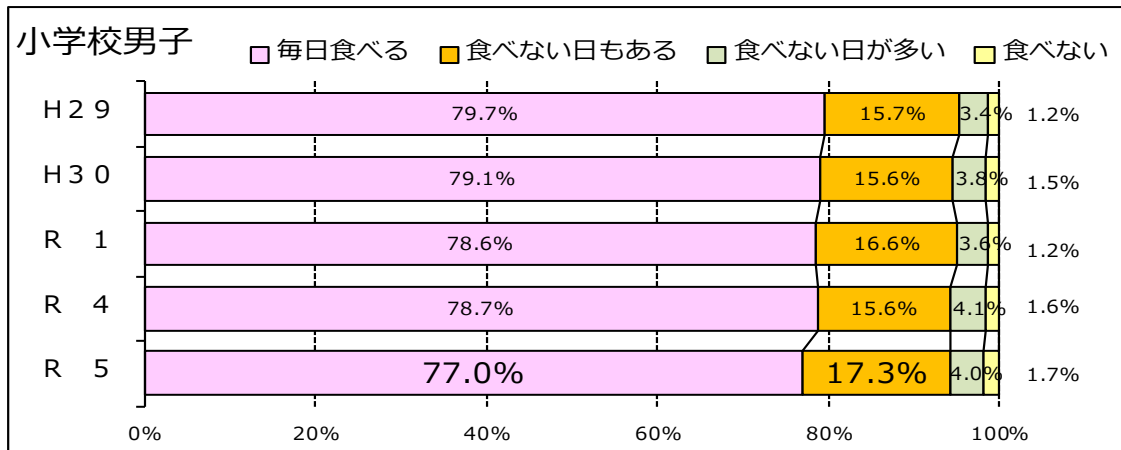
(2) 肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移



【福岡県の状況】

肥満傾向の割合は、小学校男女及び中学校男女すべての区分において、平成29年度以降増加傾向にあったが、令和4年度と比較すると回復傾向がみられる。

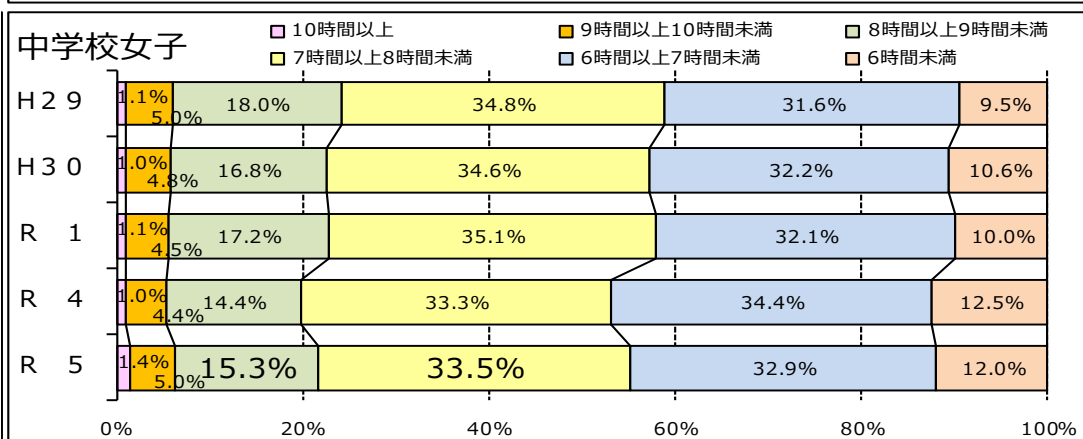
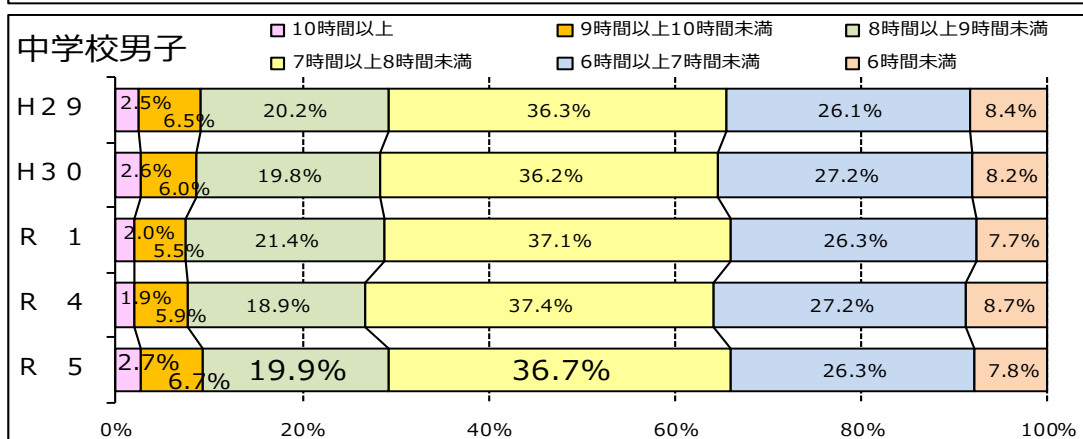
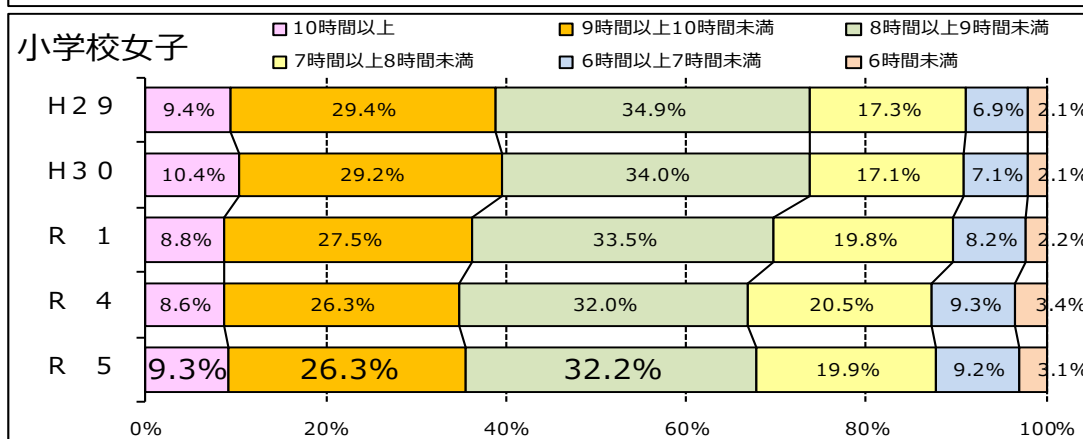
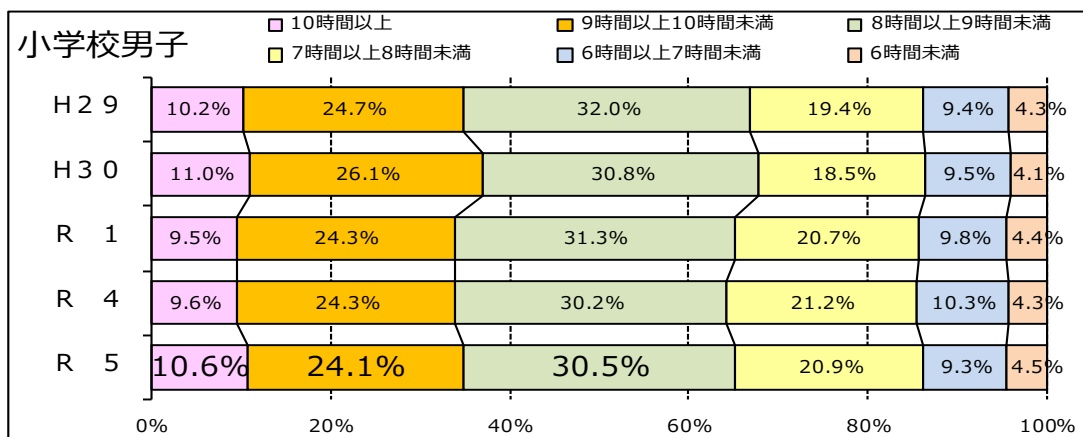
(3) 朝食を食べない児童生徒の推移



【福岡県の状況】

朝食を食べない日がある児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校男女すべての区分において、平成29年度以降、増加傾向が続いている。

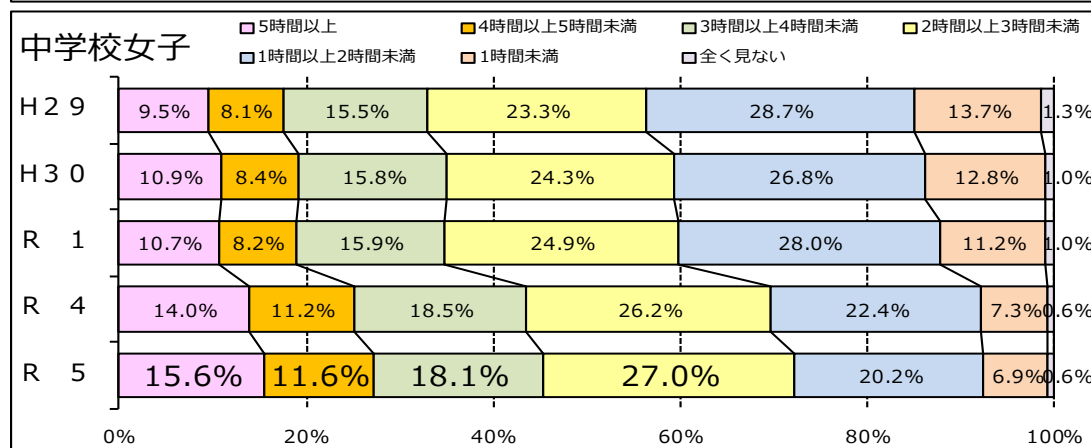
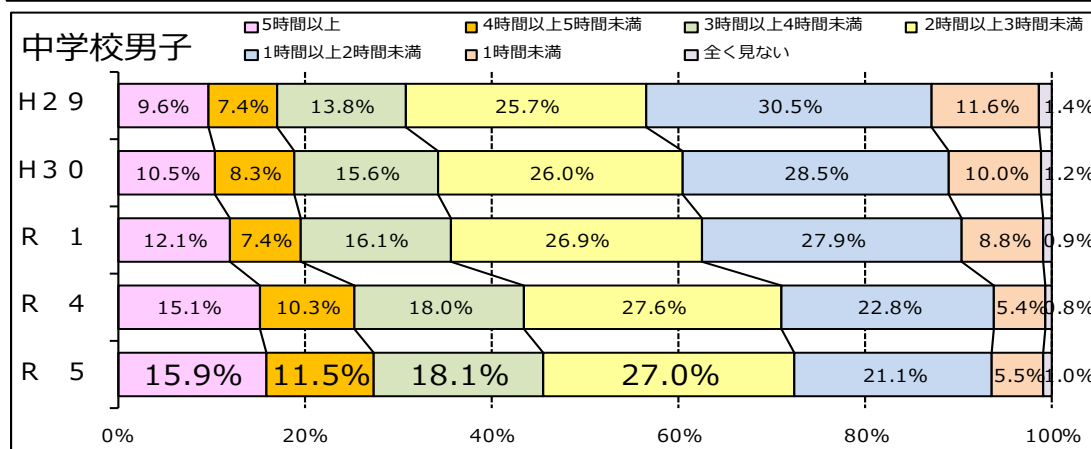
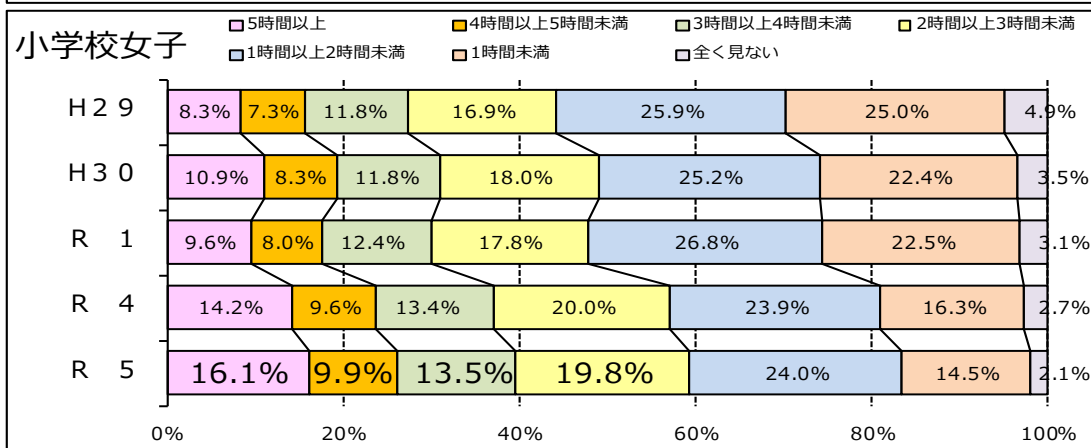
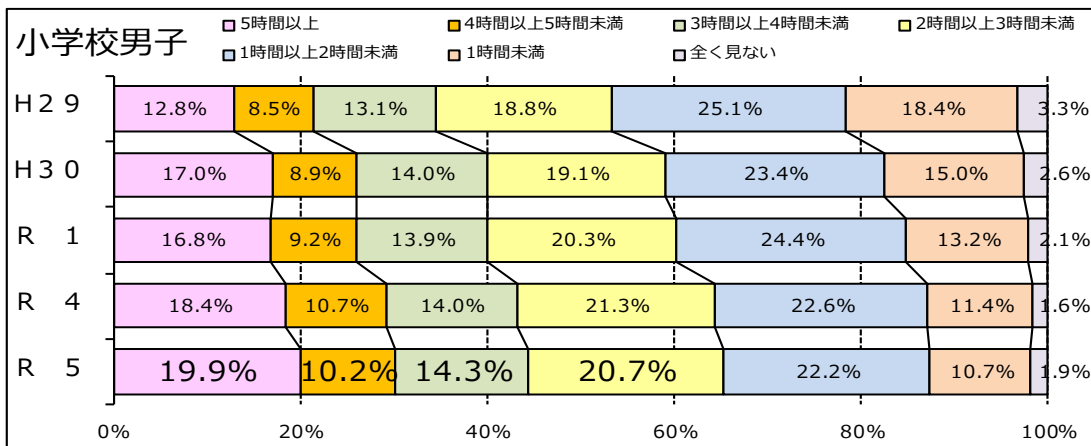
(4) 1日の睡眠時間の推移



【福岡県の状況】

睡眠時間8時間以上の児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校男女すべての区分において、減少傾向であったが、令和4年度と比較すると、回復傾向がみられる。

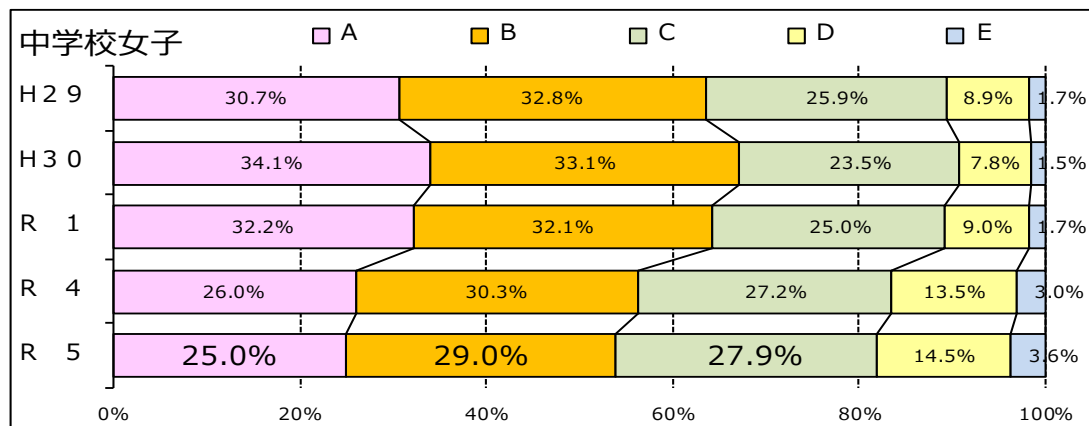
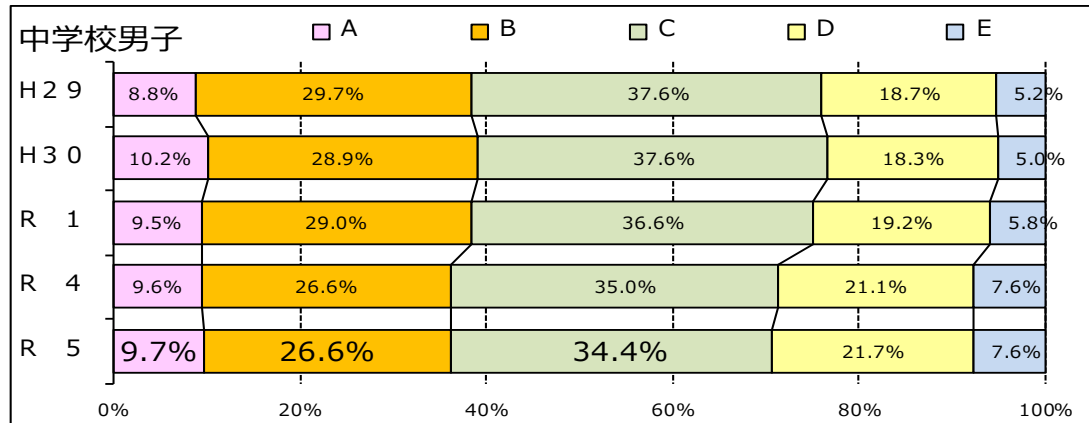
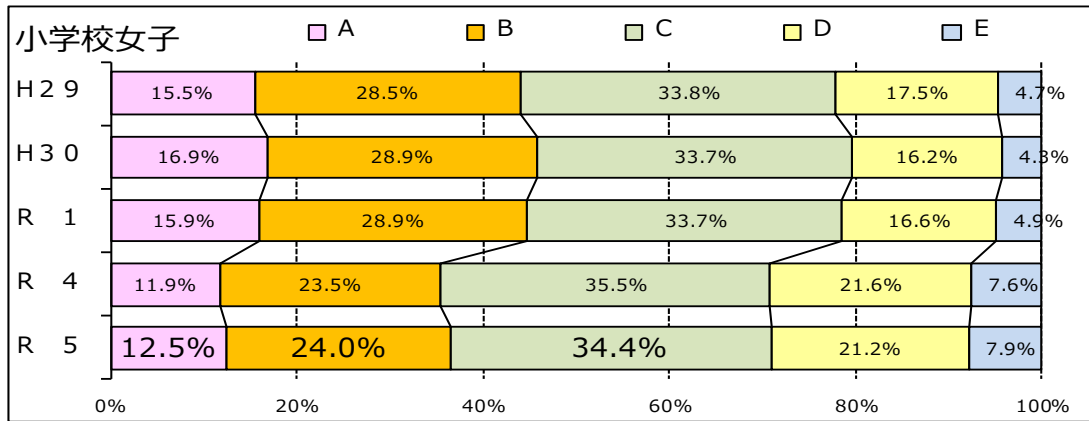
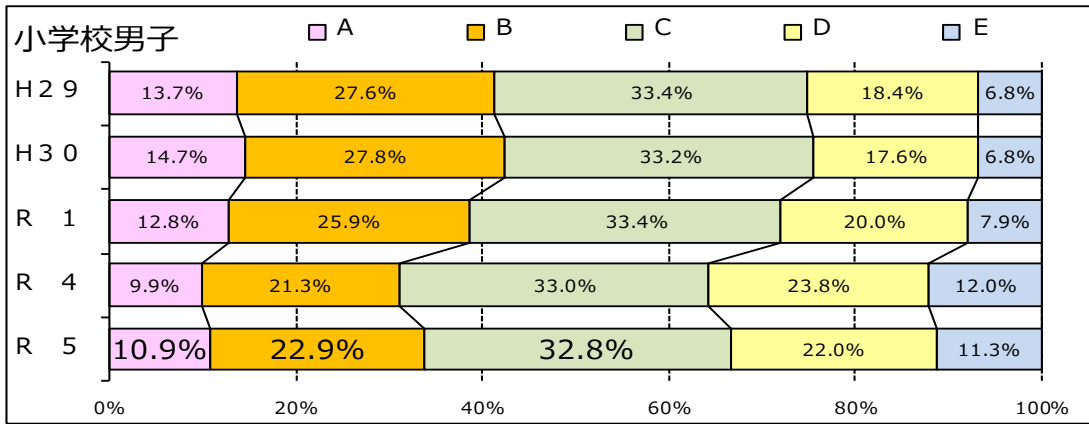
(5) 1日のスクリーンタイムの推移



【福岡県の状況】

1日のスクリーンタイムが「2時間以上」の割合は、平成29年度以降、小学校男女及び中学校男女すべての区分において、増加傾向が続いている。

(6) 体力総合評価※の推移



※ 体力総合評価については、実技に関する項目であるため、政令市も含んだデータを示している。

【福岡県の状況】

- 体力総合評価「中・上位層（A～C群）」の児童生徒の割合は、令和4年度と比較すると、小学校男女においては、増加しているが、中学校男女においては、減少傾向が続いている。

V テーマ分析

「体育と保健を関連させた指導の現状と期待される子供の姿」

学習指導要領解説に示されている体育科・保健体育科の目標については、「育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、引き続き、『**体育と保健を関連させていく考え方**』を強調したものである」と示されています。

今回の調査では、新たに「**保健領域**」と「**保健分野**」に関する項目が設定されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症に関する知識をもつことの必要性や、健康に過ごすためには運動が欠かせないことなどを改めて確認できました。まさに、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指す「**体育・保健体育**」は現代において重要な教科の一つだと言えます。

そこで、これまで以上に体育と保健を関連させて指導することによって、子供たちの**運動習慣の本質的な改善、体力の向上**へつなげていけるよう、本年度は、今回の調査における「**保健領域**」と「**保健分野**」に関する項目を分析しています。

V—1 福岡県の体育・保健体育の授業の取組

V—2 「体育・保健体育の授業で大切にしていることを上位から3つ選んでください」に対する回答

V—3 「体育・保健体育の授業では、運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）との関連を図っていますか」に対する回答

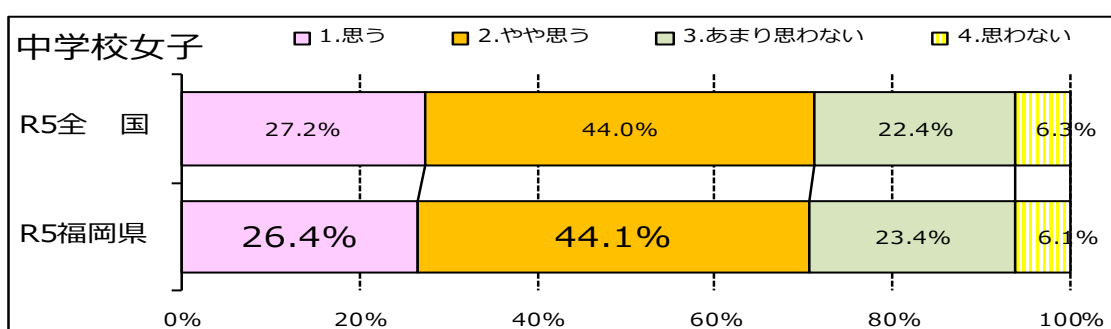
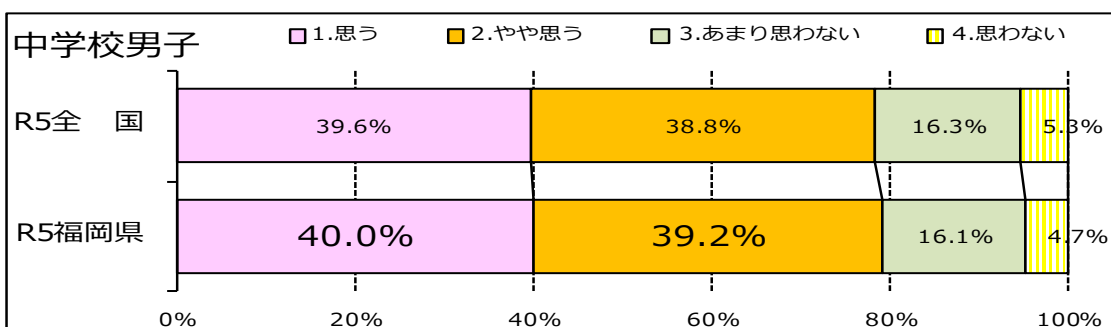
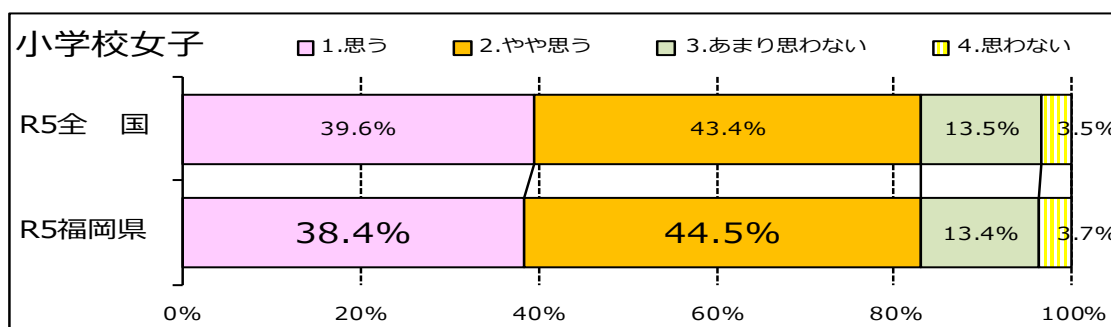
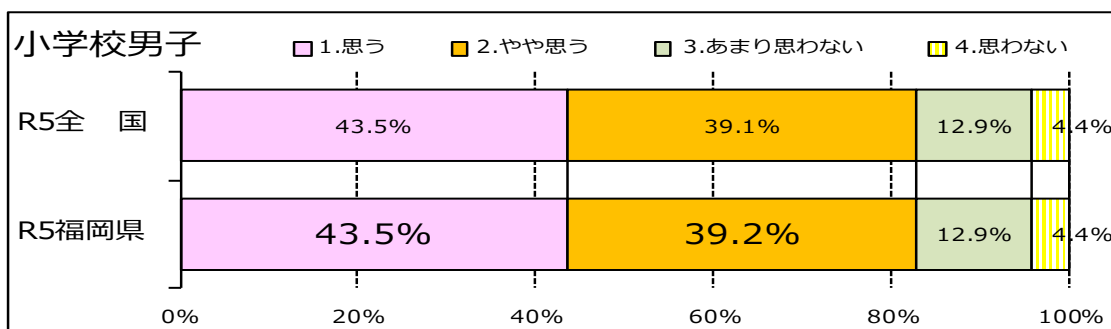
V—4 体育と保健を関連させた指導の現状と期待される子供の姿

【調査結果に関する注意事項と説明】

- ① 「II-2 児童生徒に対する調査」以降については、政令市（福岡市・北九州市）を除いたデータとなっています。
- ② 集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。（複数回答を除く）

V-1 福岡県の体育・保健体育の授業の取組

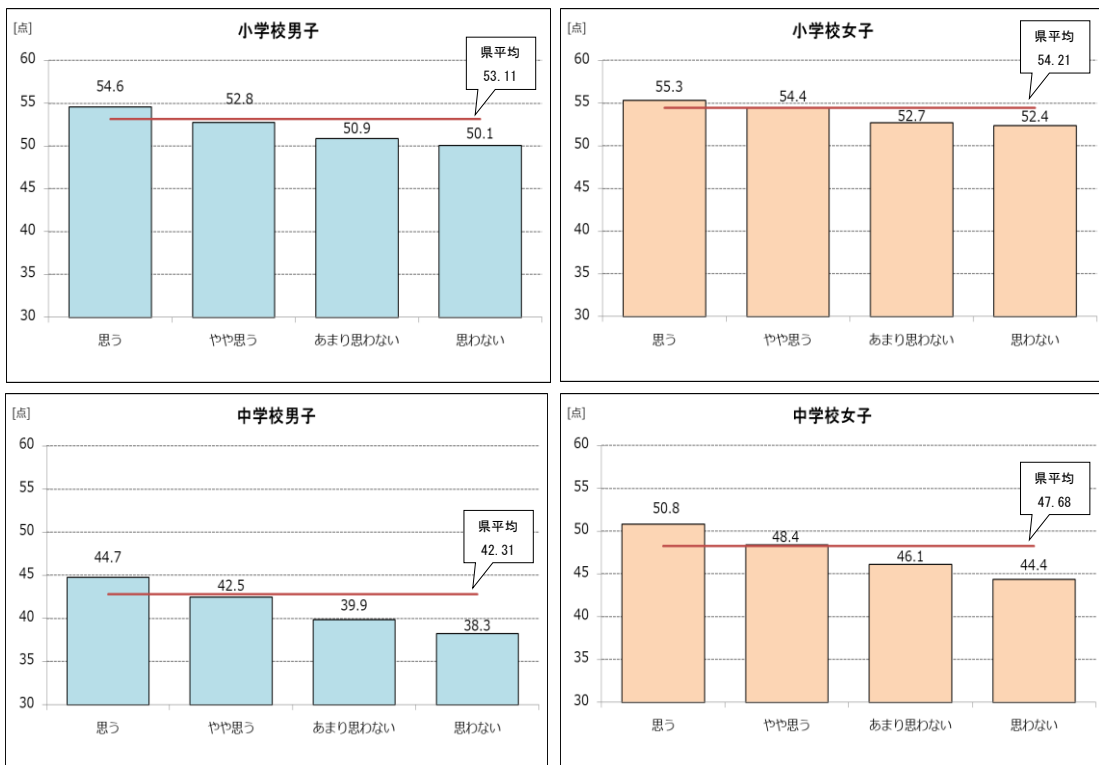
(1)「保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思いますか」に対する回答（児童生徒へのアンケート結果）
※令和5年度に新たに加わった項目



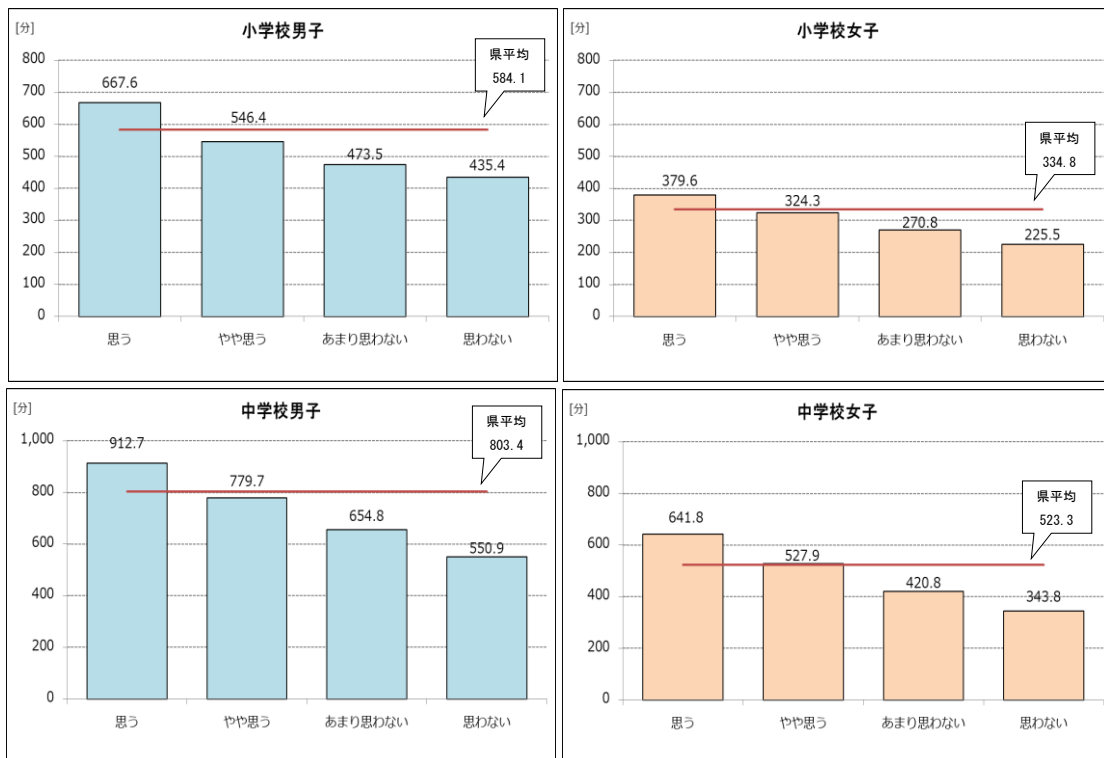
【福岡県の状況】

- 小学校は、「思う」「やや思う」と回答した児童の割合が、男子は全国平均を0.1ポイント上回り、女子は0.1ポイント下回っている。
- 中学校は、「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合が、男子は全国平均を0.8ポイント上回り、女子は0.7ポイント下回っている。
- 「思う」「やや思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校の方が中学校よりも高い傾向がある。

(2) 「保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思う」と「体力合計点」のクロス集計

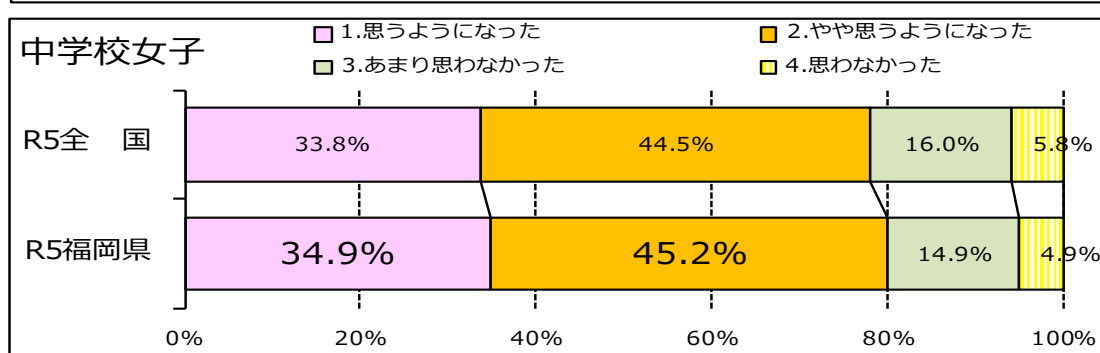
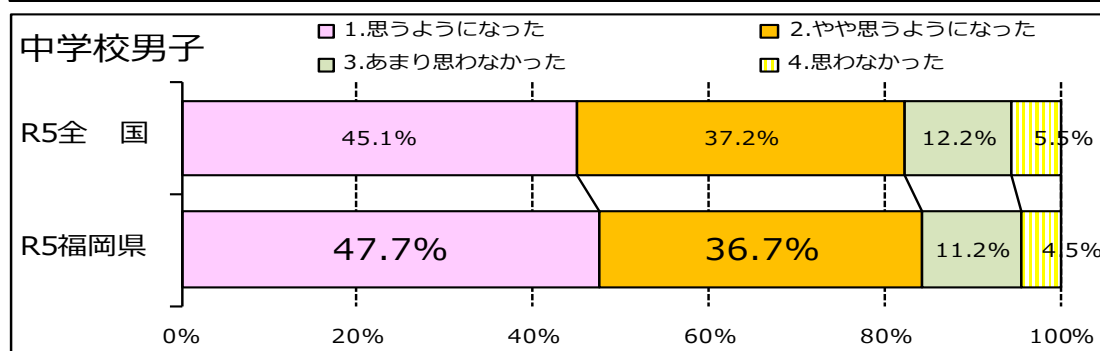
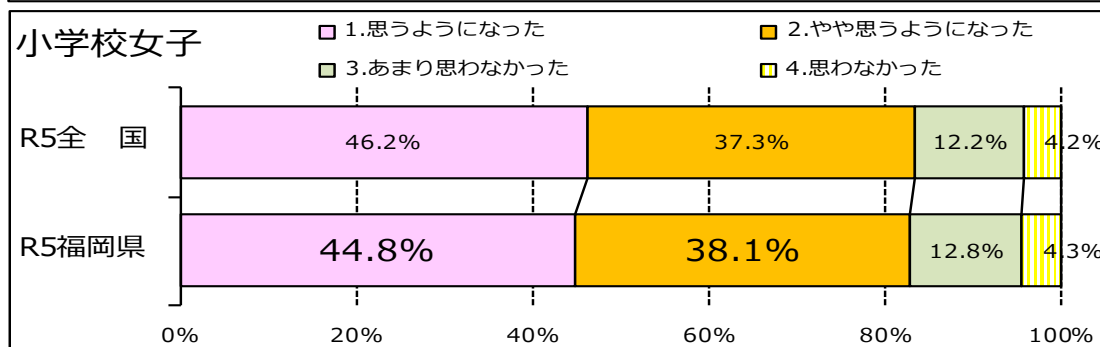
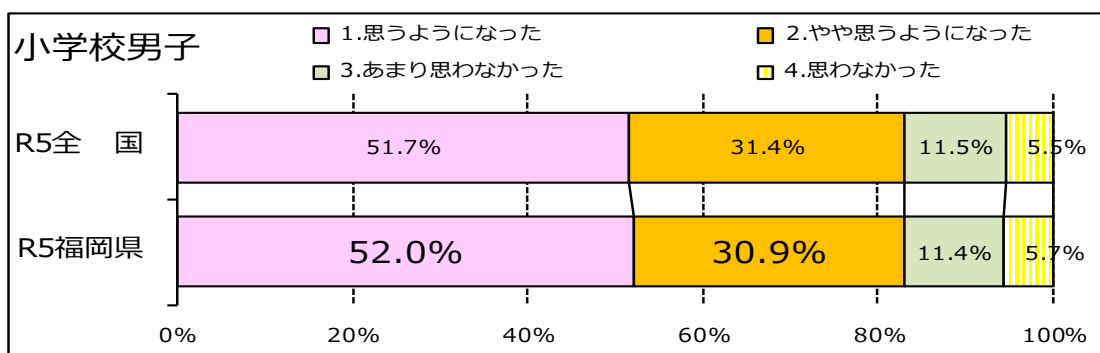


(3) 「保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思う」と「1週間の総運動時間」のクロス集計



- 小中学校男女ともに、「思う」、「やや思う」と回答した児童生徒ほど、体力合計点が高く、1週間の総運動時間も長い傾向がある。
- 特に、小学校男女よりも中学校男女にその傾向が強くなっている。

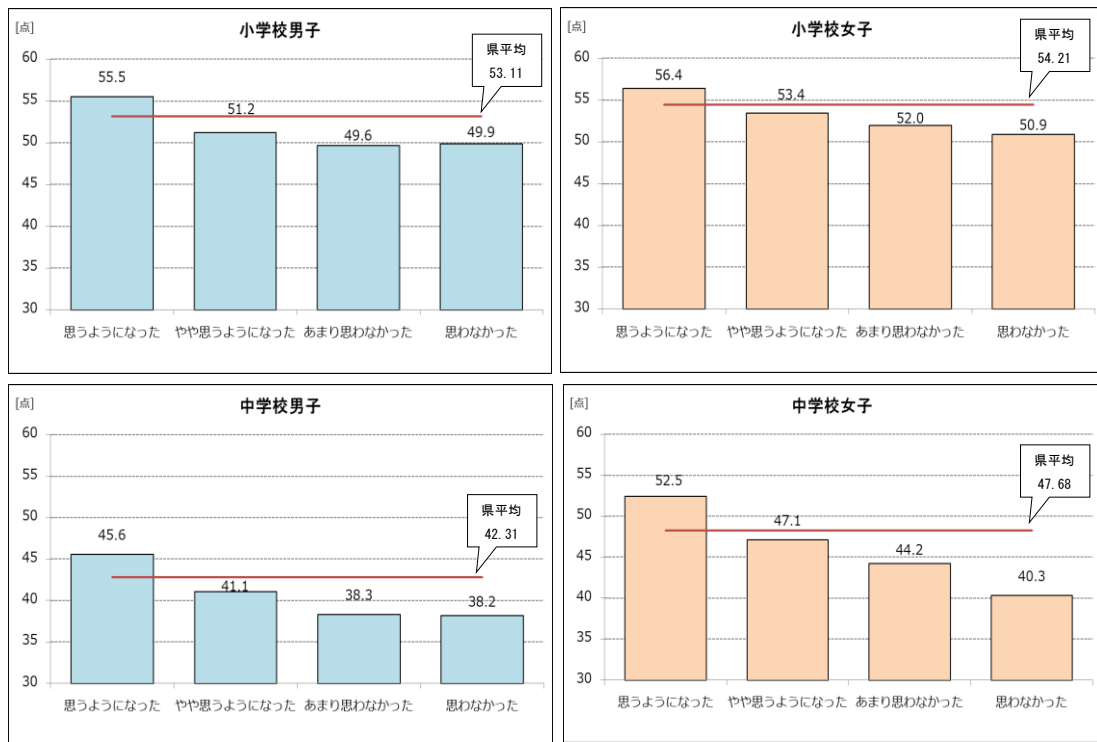
(4) 「保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか」に対する回答
 (児童生徒へのアンケート結果) ※令和5年度に新たに加わった項目



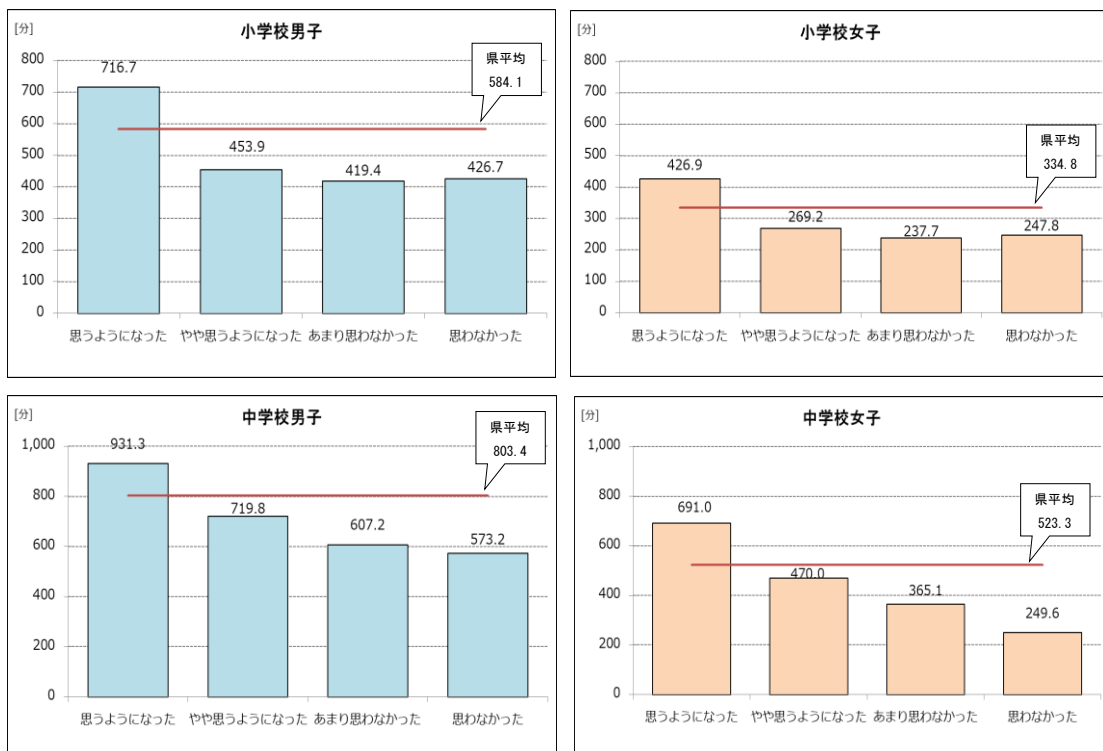
【福岡県の状況】

- 小学校は、「思うようになった」「やや思うようになった」と回答した児童の割合が、男子は全国平均を0.2ポイント下回り、女子は0.6ポイント下回っている。
- 中学校は、「思うようになった」「やや思うようになった」と回答した生徒の割合が、男子は全国平均を2.1ポイント上回り、女子は1.8ポイント上回っている。
- 「思うようになった」と回答した児童生徒の割合は、男子の方が女子よりも高い傾向がある。

(5)「保健を学習して、もっと運動しようと思う」と「体力合計点」のクロス集計（児童生徒へのアンケート結果）



(6)「保健を学習して、もっと運動しようと思う」と「1週間の総運動時間」のクロス集計

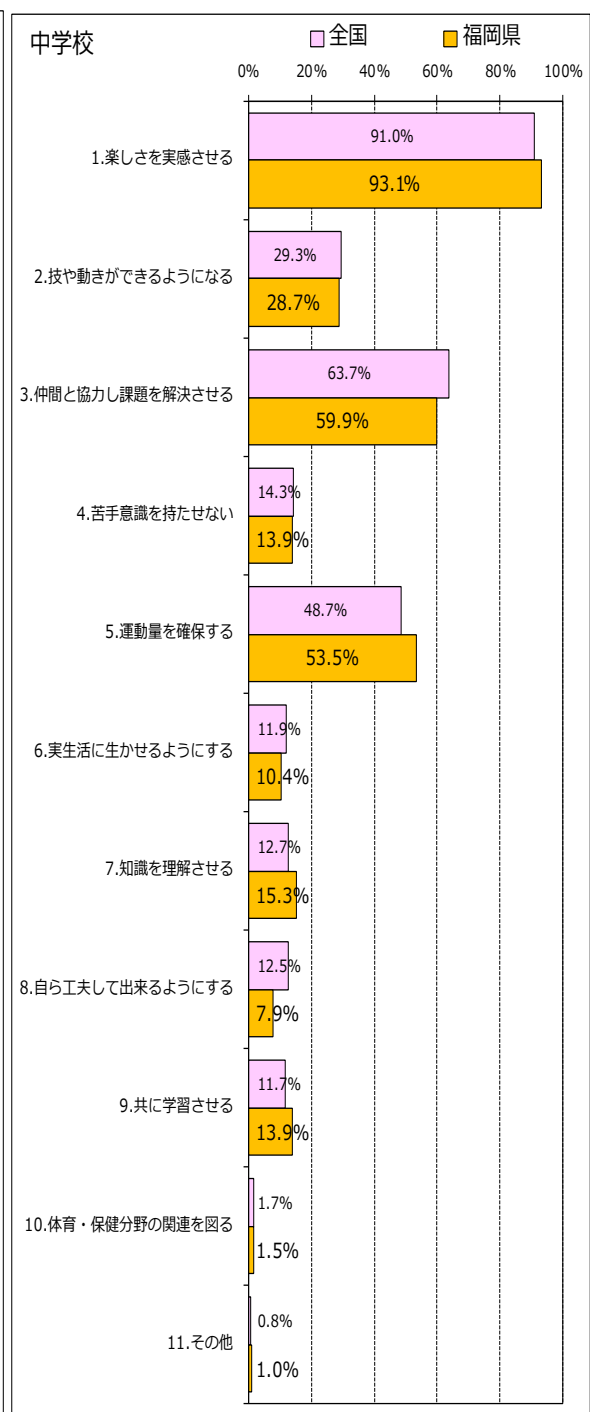
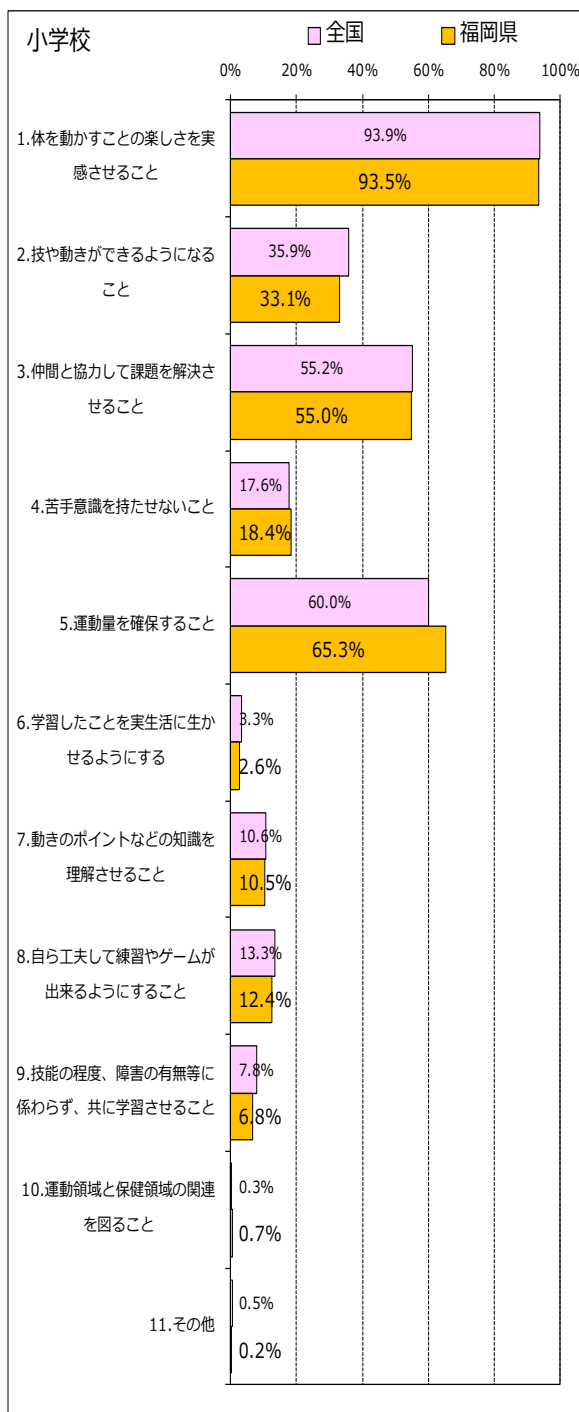


- 小中学校男女ともに、「思うようになった」「やや思うようになった」と回答した児童生徒ほど、体力合計点が高く、1週間の総運動時間も長い傾向がある。
- 特に、中学校女子にその傾向が強くなっている。

V-2 「体育・保健体育の授業で大切にしていることを上位から3つ選んでください」に対する回答（学校へのアンケート結果）

【上位3項目（福岡県）】

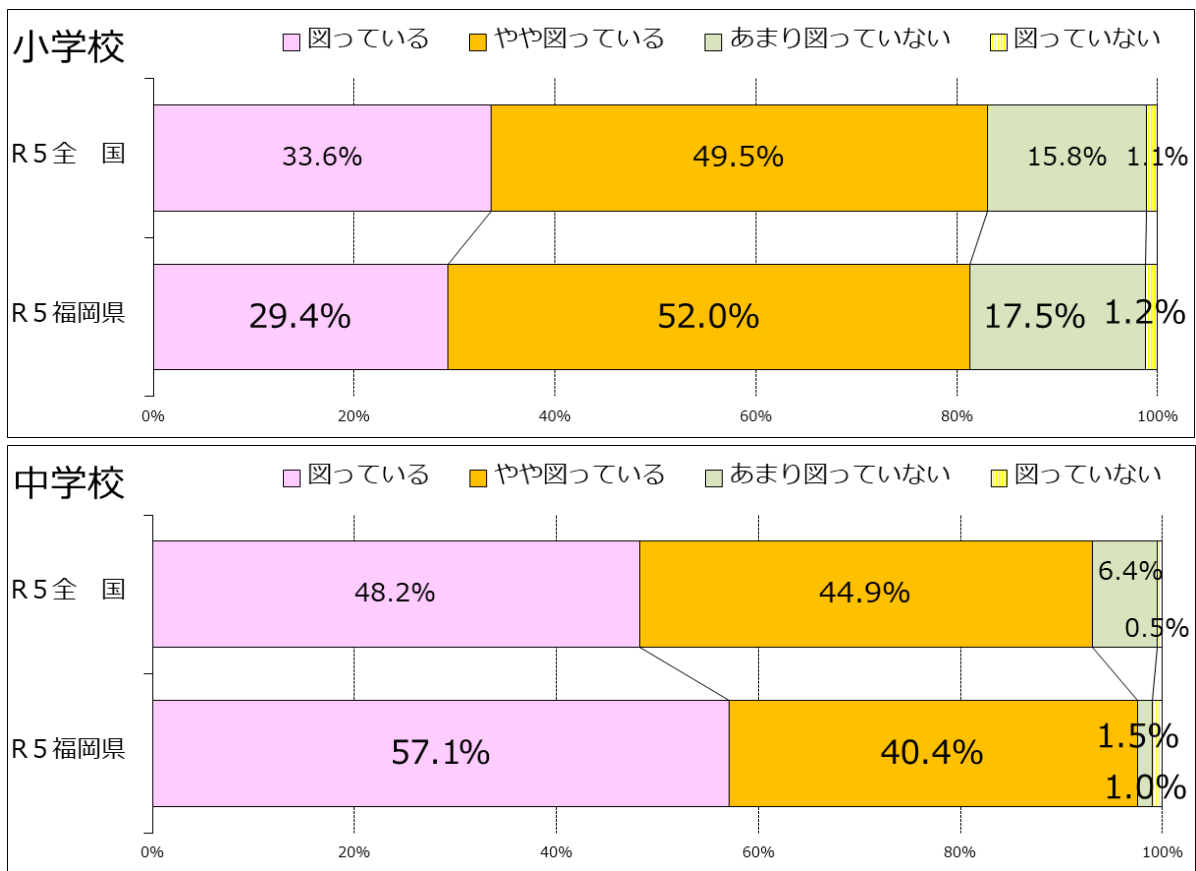
小学校			中学校		
1位	体を動かすことの楽しさを実感させること	93.5%	1位	楽しさを実感させる	93.1%
2位	運動量を確保すること	65.3%	2位	仲間と協力して課題を解決させる	59.9%
3位	仲間と協力して課題を解決させること	55.0%	3位	運動量を確保する	53.5%



【下位3項目（福岡県）】

小学校			中学校		
1位	運動領域と保健領域の関連を図ること	0.7%	1位	体育分野と保健分野の関連を図る	1.5%
2位	学習したことを実生活で生かせるようにすること	2.6%	2位	自ら工夫してできるようにする	7.9%
3位	技能の程度や、障がいの有無等にかかわらず共に学習させること	6.8%	3位	実生活で生かせるようにする	10.4%

V-3 「体育・保健体育の授業では、運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）との関連を図っていますか」に対する回答（学校へのアンケート結果）※令和5年度に新たに加わった項目



○ 小中学校ともに、体育（保健体育）の授業で大切にしていることへの回答で、「運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）の関連を図る」が最も低い割合だった。

また、「学習したことを実生活で生かせるようにする」も小中学校ともに、低い割合だった。

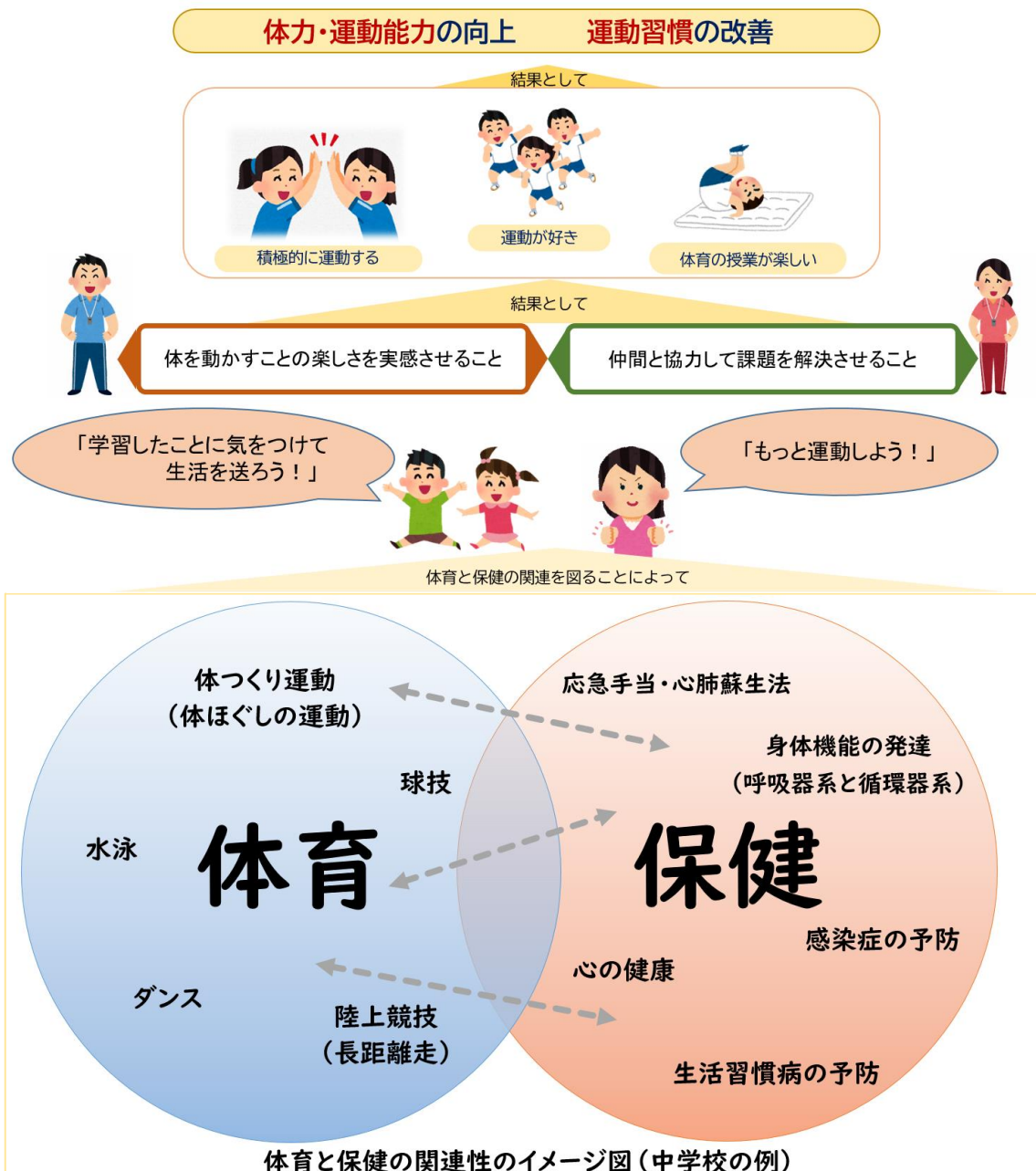
○ 「体育（保健体育）の授業では、運動領域と保健領域（体育分野と保健分野）との関連を図っていますか」に対する回答では、「図っている」「やや図っている」と回答した合計の割合が、小学校では81.4%、中学校では97.5%だった。

V-4 体育と保健を関連させた指導の現状と期待される子供の姿

全国の結果と同様に、福岡県の多くの学校で、「体を動かすことの楽しさを実感させること」「仲間と協力して課題を解決させること」が大切であると考えていることが確認されました。これは、「運動やスポーツが好き」という児童生徒の育成に欠かせないことであり、日頃から各学校において意識高く授業が行われていることの結果だと考えます (p27)。

一方で、「運動領域」と「保健領域」、「体育分野」と「保健分野」の関連については、多くの学校において関連させた指導が行われているものの、体育（保健体育）の授業で大切にしている項目として選ぶ学校は少ないことがわかりました (p53)。

今回の調査で、「保健を学習してもっと運動したいと思うようになった」児童生徒の多くが、運動習慣が身に付いており、体力も高いことがわかりました。このことを踏まえると、「運動領域」と「保健領域」、「体育分野」と「保健分野」との一層の関連を図った授業を計画、実施することは児童生徒の運動習慣の改善、体力の向上につながると考えます。



VI データで見る これからの授業改善の方向性

前章のテーマ分析では、体育と保健を関連させた指導の現状を分析し、「保健を学習してもっと運動したいと思うようになった」児童生徒の多くが、運動習慣が身に付いており、体力も高いことがわかりました。このことから、体育と保健を関連させて指導することによって、運動習慣の改善や体力の向上へつなげる重要性についてまとめました。

では、具体的にどんな体育・保健体育の授業を行っていくとよいのでしょうか。

第Ⅱ章で示したように、児童生徒の体力は、令和元年度の調査以降、低下傾向が続いていた中で、令和5年度は全体としては回復傾向が見られています。

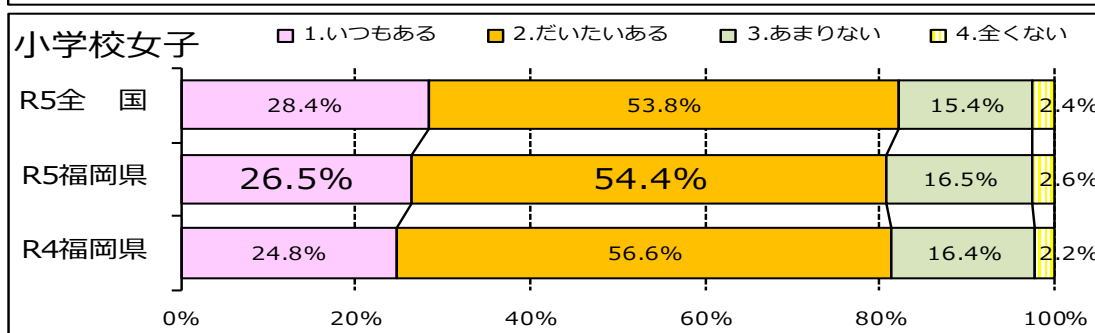
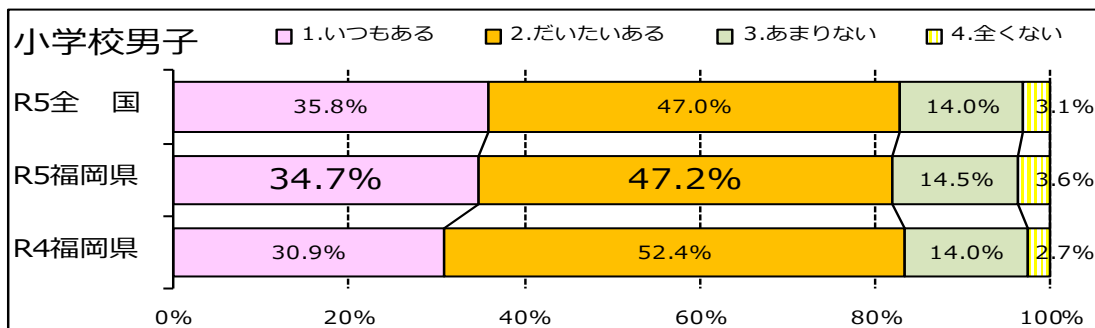
しかしながら小中学校ともに、コロナ禍以前の水準には至っていないことや、中学校男女は、全国平均を上回っているものの、低下傾向が続いていることから、今後も引き続き「体育科・保健体育科の授業」と「授業以外の取組」の両面からアプローチを続けていくことが必要です。

そこで、今回の調査の体育・保健体育の授業に対する児童生徒への質問、学校への質問から分析し、授業改善の方向性についてまとめています。

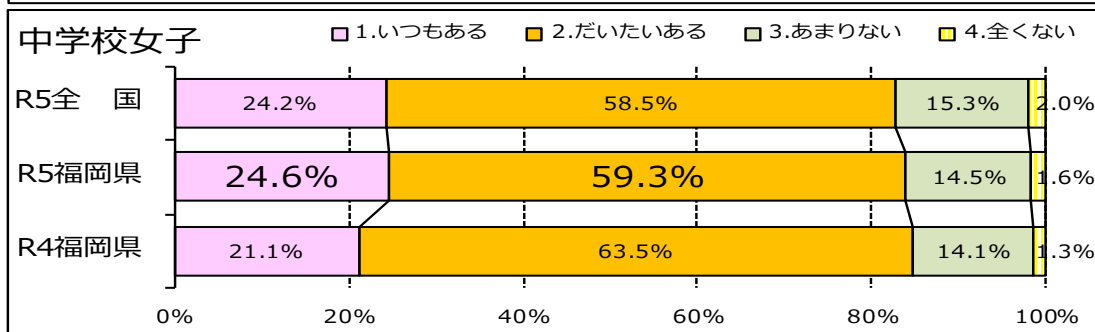
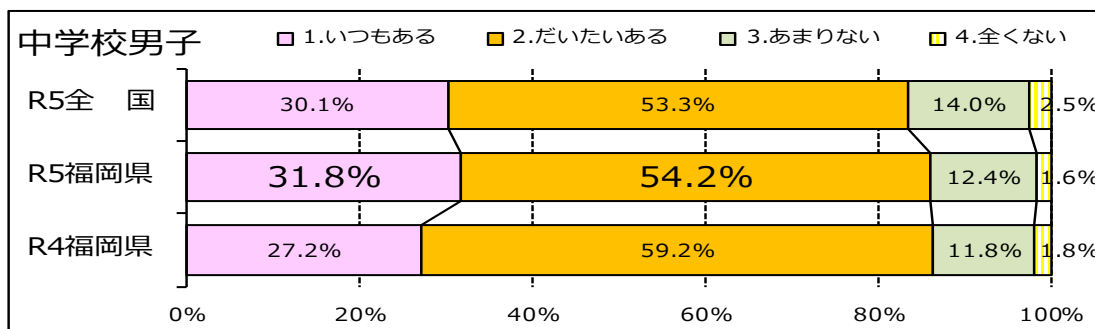
VI-1 児童生徒質問紙調査結果から見る体育科・保健体育科の授業の現状

(1) 「体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがありますか」に対する回答（児童生徒へのアンケート結果）

【小学校】



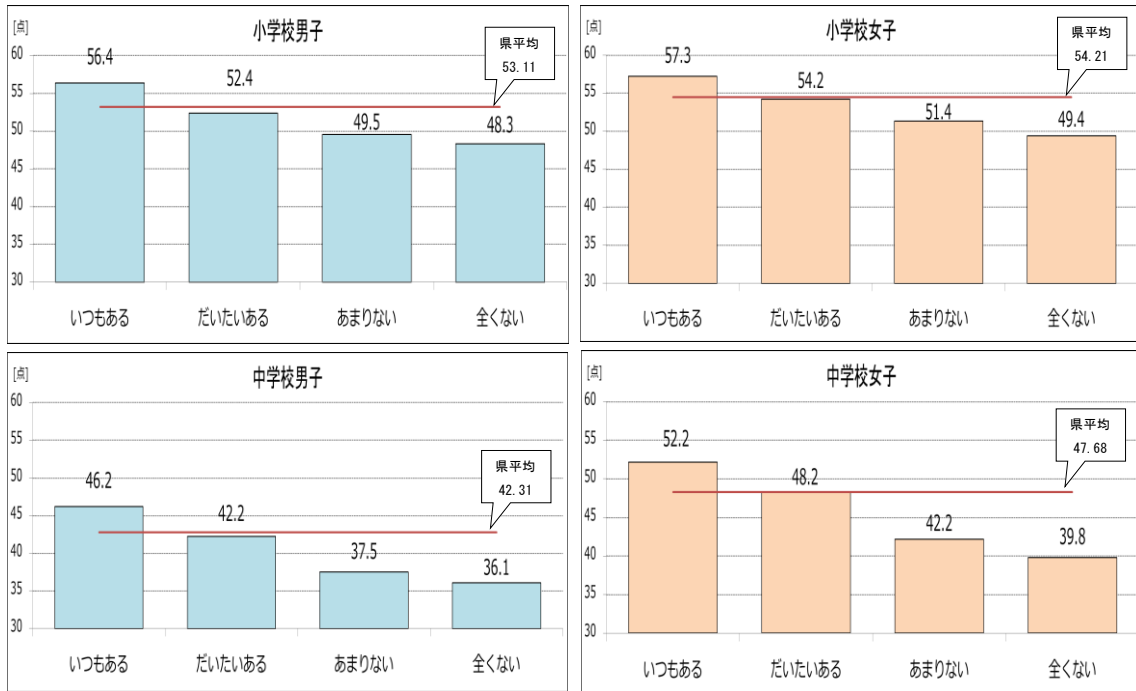
【中学校】



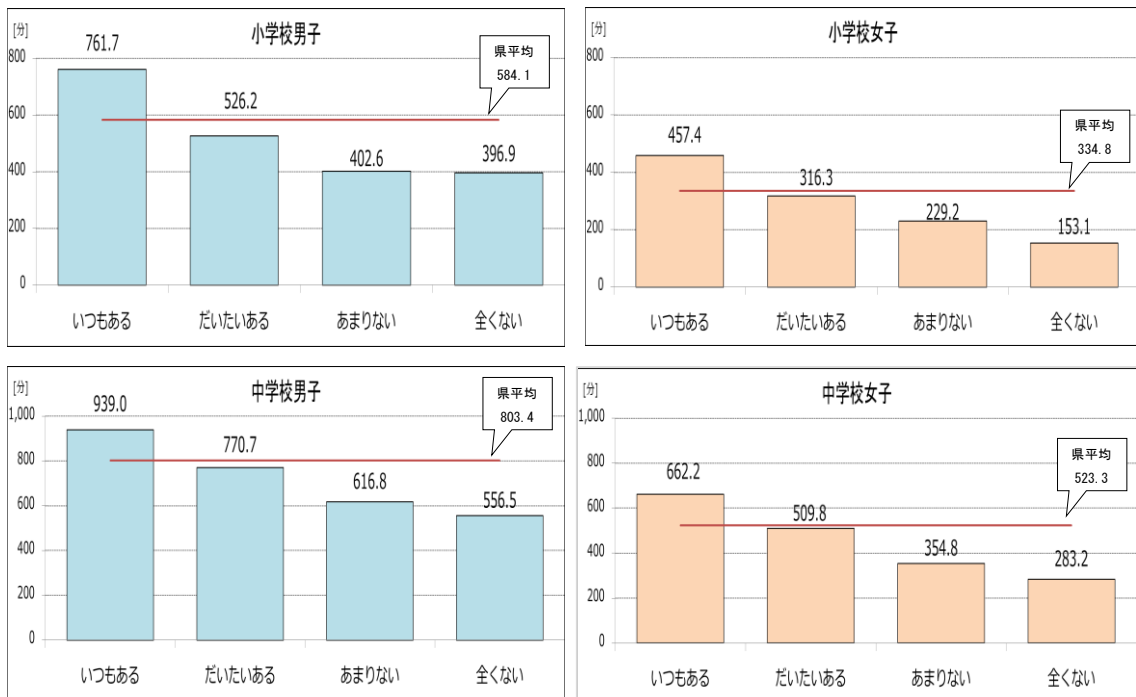
【福岡県の状況】

- 小学校は、男女ともに、「いつもある」と回答した児童の割合が、全国平均を下回っている。
- 中学校は、男女ともに、「いつもある」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 小中学校ともに、「いつもある」と回答した児童生徒の割合が、令和4年度と比較すると、増加している。

(1) - 1 「体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と「体力合計点」とのクロス集計



(1) - 2 「体育（保健体育）の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と「1週間の総運動時間」とのクロス集計

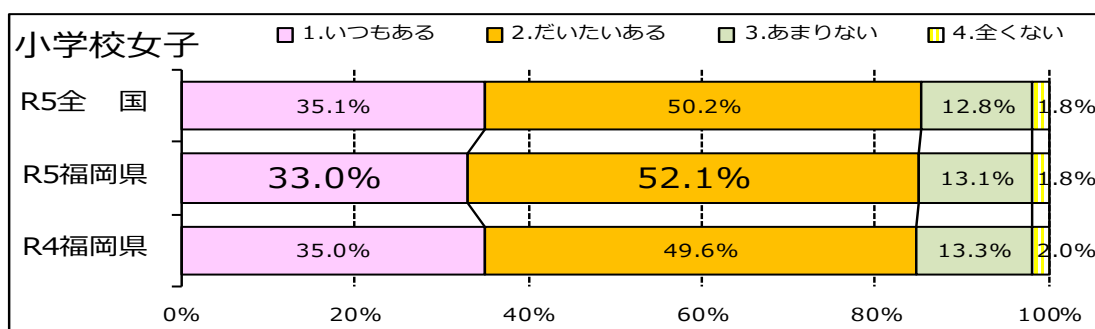
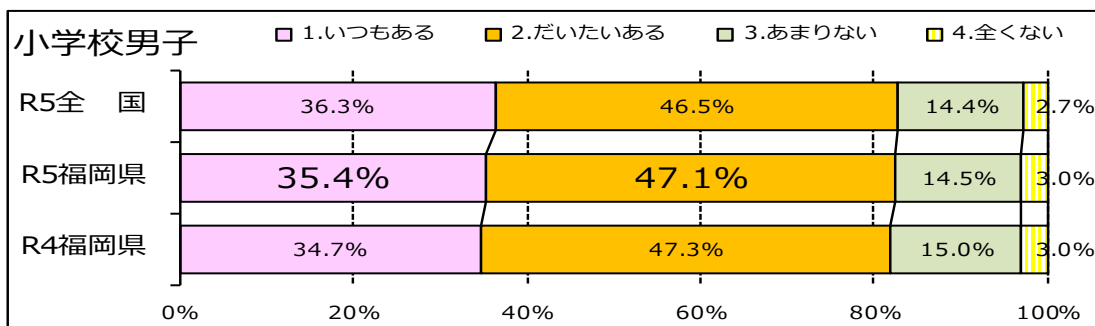


小中学校男女ともに、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した児童生徒は体力合計点が高く、1週間の総運動時間も長かった。

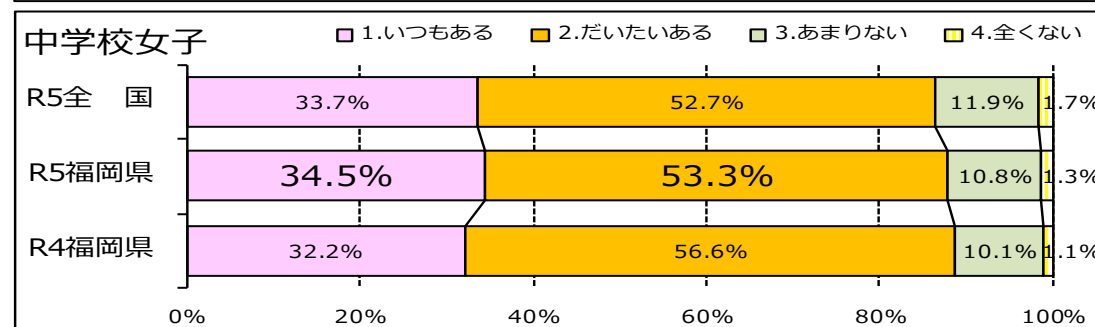
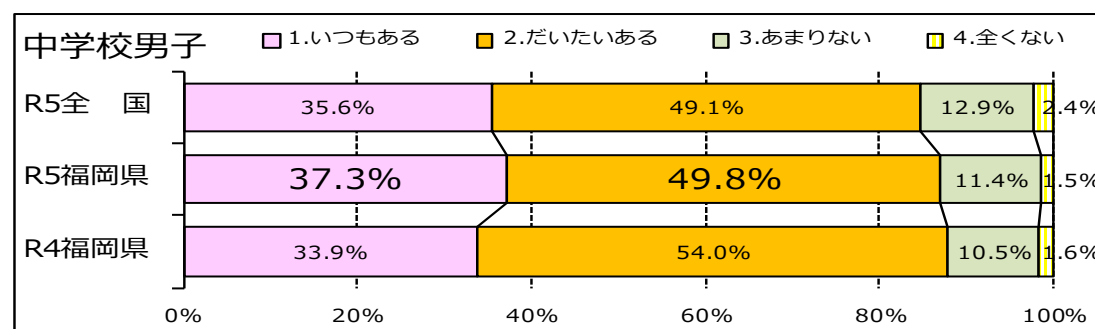
導入段階において、明確なめあてをもち、「できた」「わかった」という成功体験を積み重ねることで、体力や運動習慣に好影響を与えます。

(2)「体育（保健体育）の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか」に対する回答（児童生徒へのアンケート結果）

【小学校】



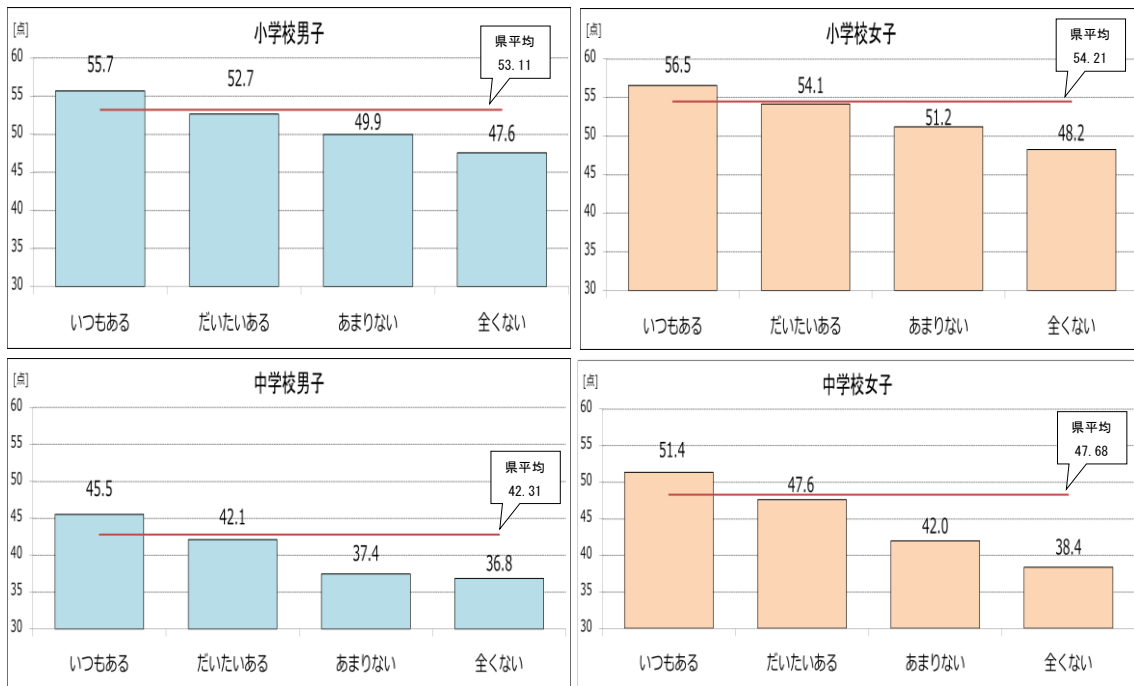
【中学校】



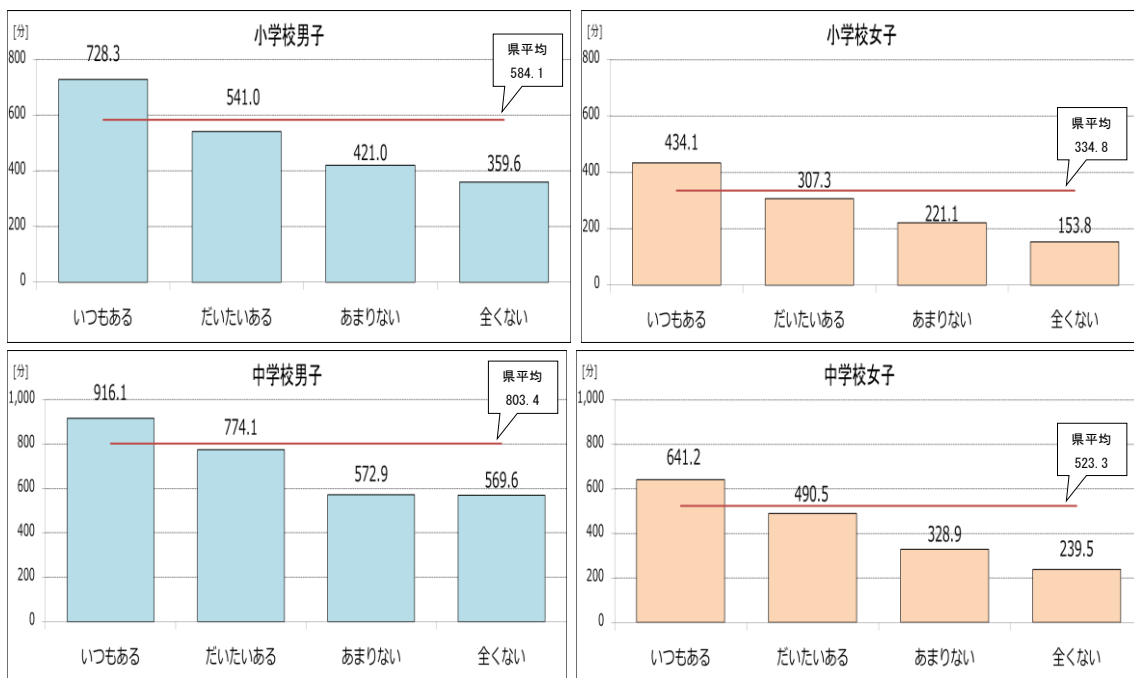
【福岡県の状況】

- 小学校は、男女ともに、「いつもある」と回答した児童の割合が、全国平均を下回っている。
- 中学校は、男女ともに、「いつもある」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 小学校男子、中学校男女は、「いつもある」と回答した児童生徒の割合が、令和4年度と比較すると、増加している。

(2) - 1 「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と「体力合計点」のクロス集計



(2) - 2 「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と「1週間の総運動時間」のクロス集計

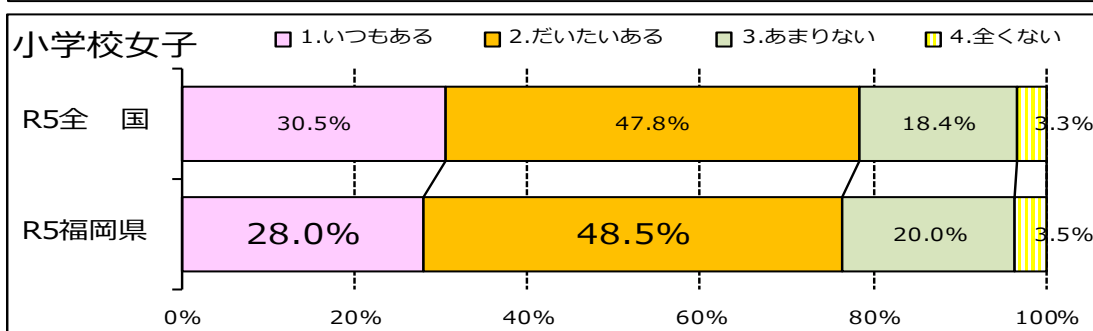
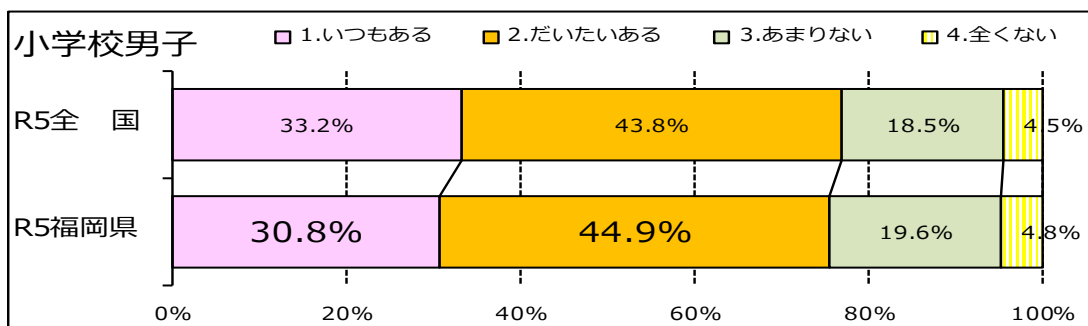


小中学校男女ともに、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した児童生徒は体力合計点が高く、1週間の総運動時間も長かった。
展開段階において、友達と一緒に課題解決を図る学習を意図的に仕組んでいくことで、体力や運動習慣に好影響を与えます。

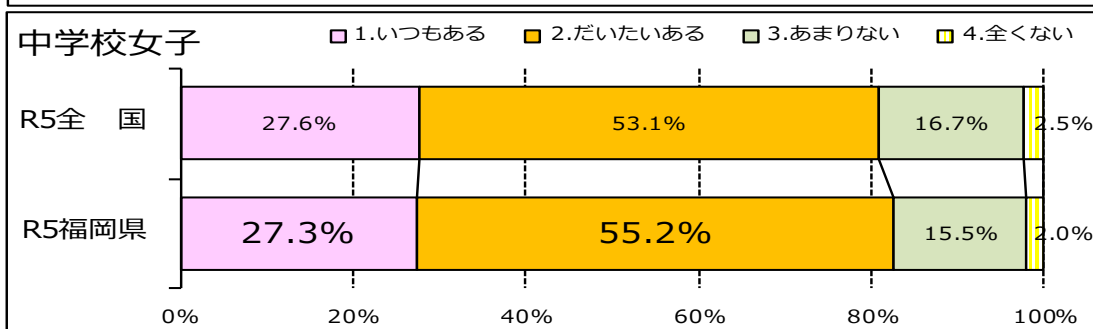
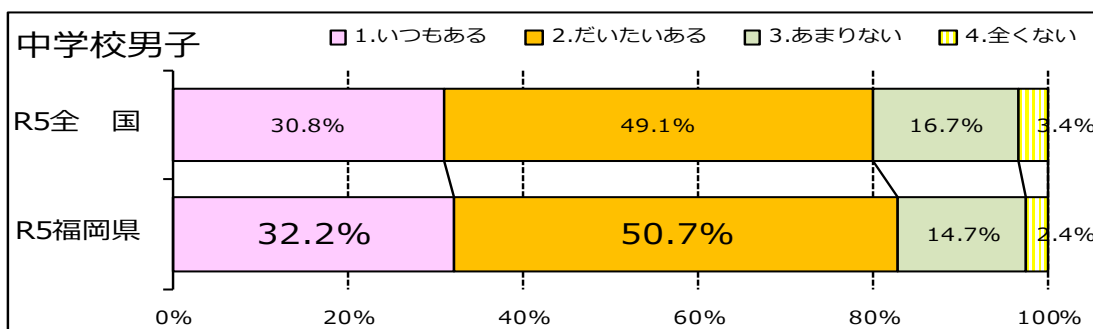
(3)「体育（保健体育）の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、『できたり、わかったり』することがありますか」に対する回答（児童生徒へのアンケート結果）

※令和5年度から新たに加わった項目

【小学校】



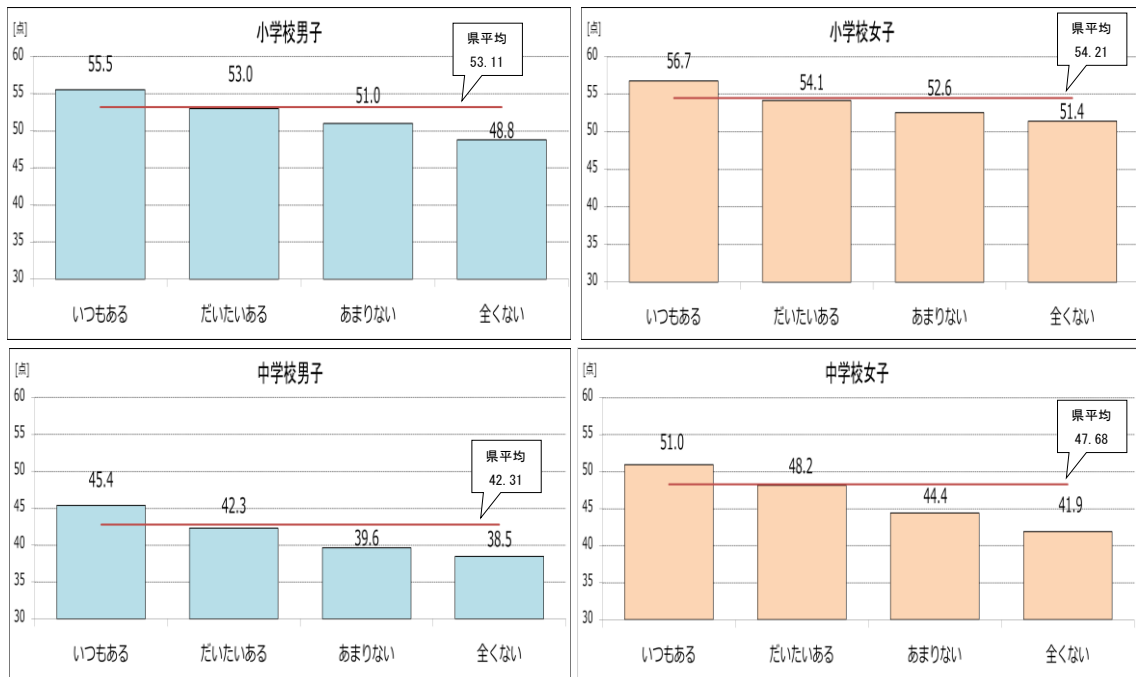
【中学校】



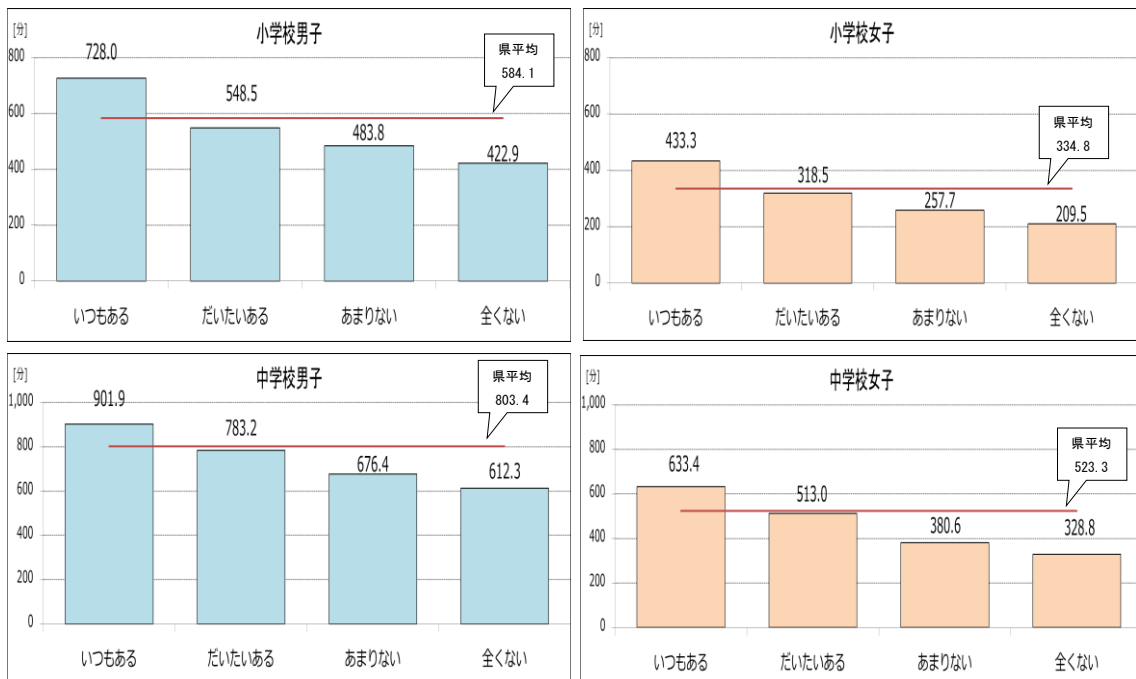
【福岡県の状況】

- 小学校は、男女ともに、「いつもある」と回答した児童の割合が、全国平均を下回っている。
- 中学校は、「いつもある」と回答した生徒の割合が、男子は全国平均を上回り、女子は下回っている。
- 小学校は、男女ともに、「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合が、全国平均を下回って、中学校は上回っている。

(3) - 1 「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、『できたり、わかったり』することがある」と「体力合計点」のクロス集計



(3) - 2 「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があること」で、『できたり、わかったり』することがある」と「1週間の総運動時間」のクロス集計



小中学校男女ともに、授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した児童生徒は体力合計点が高く、1週間の総運動時間も長かった。

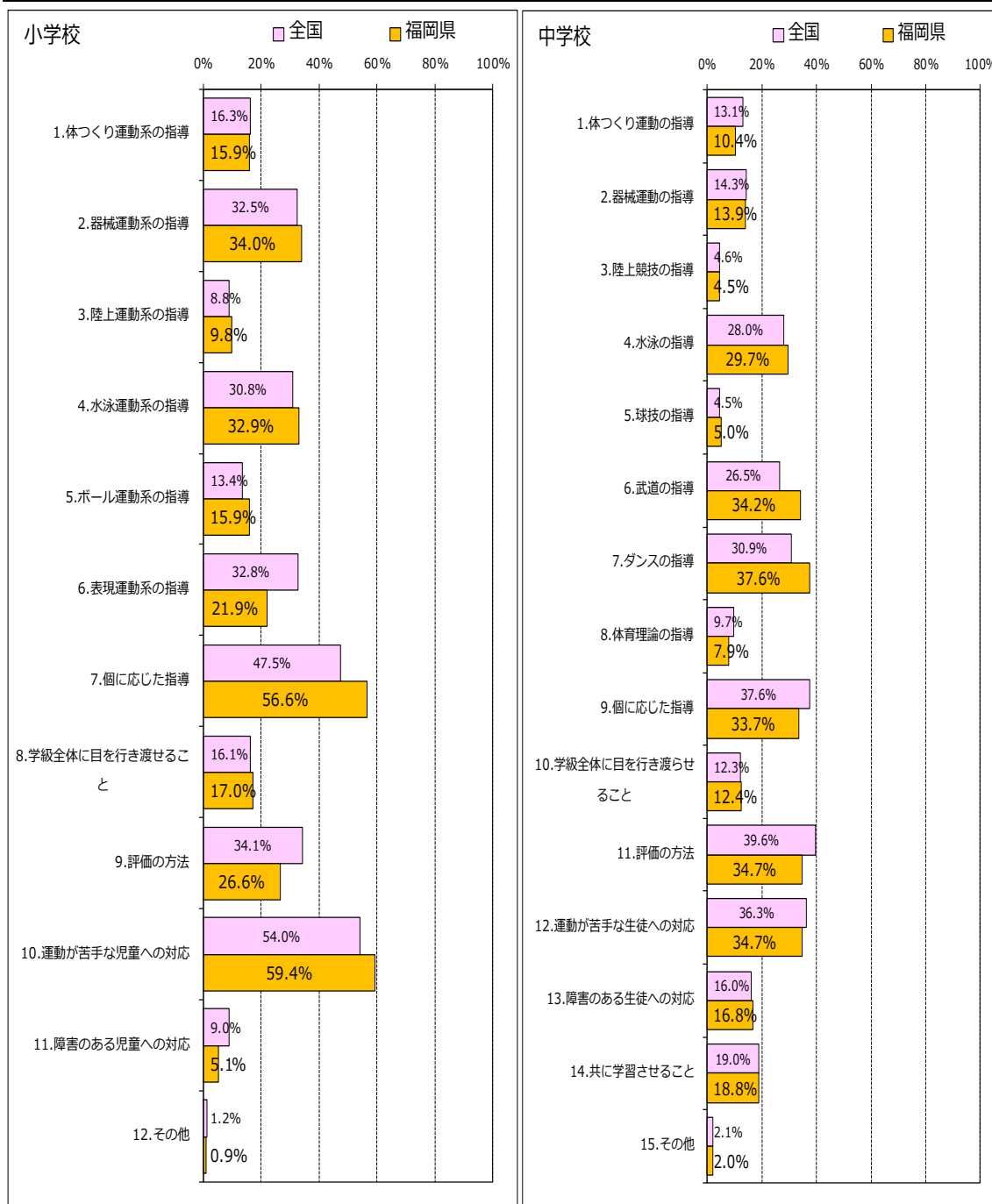
終末段階において、学習の成果を振り返ることで、「やってよかった」という成就感や「もっとやりたい」と運動意欲を次につなげることができ、体力や運動習慣に好影響を与えます。

VI-2 学校質問紙調査結果から見る体育科・保健体育科の授業の課題

(1)「体育(保健体育)の授業で課題に感じていることを上位から3つ選んでください。」に対する回答(学校へのアンケート結果)

【上位4項目(福岡県)】

小学校			中学校		
1位	運動が苦手な児童への対応	59.4%	1位	ダンスの指導	37.6%
2位	個に応じた指導	56.6%	2位	運動が苦手な生徒への対応 評価の方法	34.7%
3位	器械運動系の指導	34.0%	3位	武道の指導	34.2%
4位	水泳運動系の指導	32.9%	4位	個に応じた指導	33.7%



VI-3 体育科・保健体育科の授業改善の方向性（目指す授業像）

これまで示してきた結果を踏まえ、今後の授業改善の方向性（目指す授業像）について、以下まとめています。

(1) 「体力合計点」や「1週間の総運動時間」と関係する回答項目から（p56、p58、p60）

体育（保健体育）の授業に関する質問項目をクロス集計において分析した結果、特に以下の3点が、「体力合計点」や「1週間の総運動時間」と関係があることがわかりました。

- 目標（ねらい・めあて）を意識して学習すること
- 友達と助け合ったり、教え合ったりして学習すること
- 授業の最後に、学習したことを振り返る活動があること

(2) 「体育（保健体育）の授業で課題に感じていること」の回答項目から（p61）

学校質問紙調査で教師が体育（保健体育）の授業で課題に感じていることの結果から、小学校、中学校ともに、以下の2点が上位に挙げられました。

- 運動が苦手な児童（生徒）への対応
- 個に応じた指導

以上の児童生徒や学校の回答を整理すると、福岡県体力向上推進委員会が作成した「**全ての子供を運動好きにする体育の授業づくりリーフレット**」に示されている、体育科・保健体育科の授業づくりの「4つのポイント」と合致していることがわかります。（p59～参照）



- | | |
|------------|-----------------------------------------------------------------|
| ・ 目標 | めあてをつくる「 目標設定の活動 」 |
| ・ 仲間との協力 | 仲間と共に課題解決に取り組む「 挑む活動 」 |
| ・ 振り返り | 学習の成果を「 振り返る活動 」 |
| ・ 場やルールの工夫 | 一人一人の課題に応じた練習の 場づくり や全ての 子供が楽しむことができるようなルールの工夫 など |

このような授業づくりのポイントを踏まえて、体育科・保健体育科の授業をより一層改善・充実させていくことにより、全ての児童生徒が「目標」を自分で決め、進んで思いっきり体を動かし（「運動量」「安全」の保障）、「楽しさ」を実感する望ましい姿が見られると考えます。

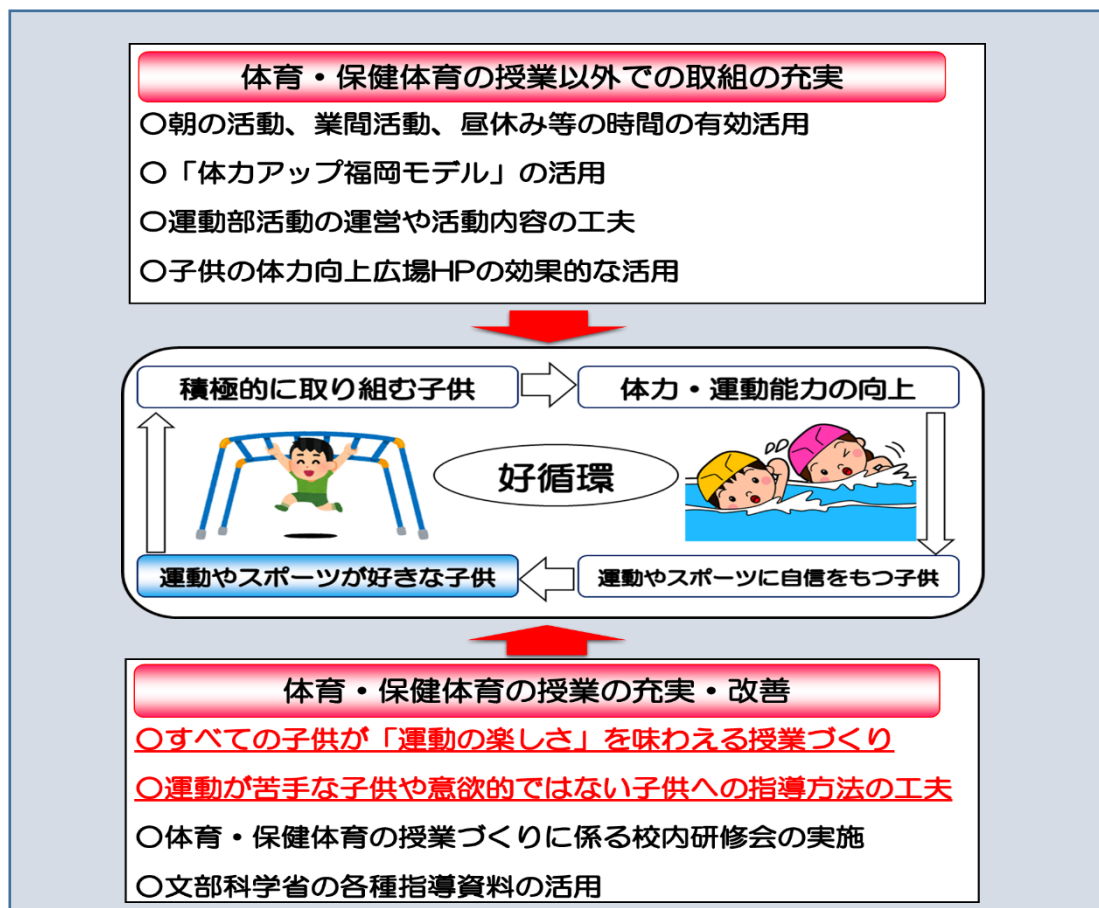
また、令和6年3月、福岡県体力向上推進委員会体育・保健体育授業検討部会を中心に、新たに「**子供の体力・運動能力の向上に向けた授業改善リーフレット**」を作成しました。子供が「**期待感**」「**安心感**」をもち、友達と「**共感**」しながら楽しく活動できるようにするための授業の具体例を掲載しています。資料を参考に、県内各地で、子供の笑顔があふれる楽しさいっぱい授業が展開されることを期待しています。



全ての子供を運動好きにする体育の授業づくりリーフレット

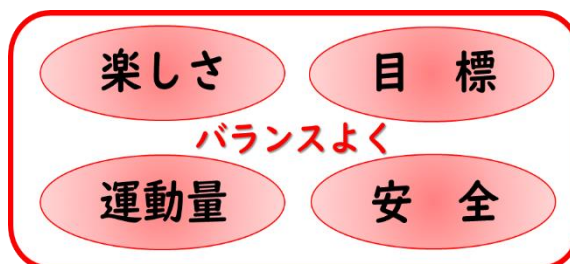
福岡県は、**全ての子供**が、**楽しく、安心して**運動に取り組みながら、**運動の楽しさや喜びを味わうための「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」**を確実に身に付け、**「運動やスポーツが好きなお子」**になることができるような体育科・保健体育科の「授業」を目指します。

その際、特に、「**運動やスポーツが苦手な子供**」や「**運動やスポーツに意欲的でない子供**」への指導等の在り方について配慮することがポイントとなります。このことは、全ての子供に対する有効な指導になると考えます。



図：福岡県が目指す体力向上に向けた取組と好循環のイメージ】

- ★全ての子供が「**楽しさ**」を実感している授業
- ★全ての子供が進んで体を動かす「**運動量**」のある授業



- ★全ての子供が「**目標**」を自分で決めている授業
- ★全ての子供の「**安全**」が保証されている授業

上に示した「**楽しさ**」「**目標**」「**運動量**」「**安全**」の1つも欠けることなく、偏りなく、バランスのよい体育科・保健体育科の授業を目指しましょう！

教材（「場づくり」や「ルール（規則）の工夫」）について

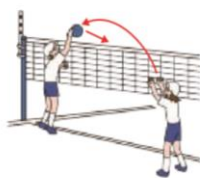
全ての子供が、各運動のもつ特有の楽しさを味わうことができるように！



○集団【ボール運動系（ネット型）の例】

誰もが楽しくゲームに参加できていますか？

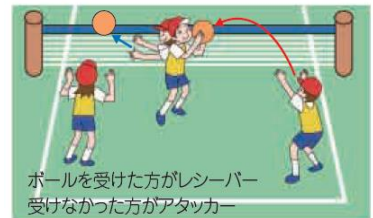
ボールは、**軽くて柔らかい**
50~100グラム



ネットの
高さは、**少し高め**
(理由)
ラリーが
続く、触
球数も増
える

人数は**3人**(毎回
ローテーション)、
1人**1回**、
3回で返球、
1回目キャッチ可、
サーブは**下から**
(理由)ラリーが
続く、必ず触球できる

4人チ
ームのロ
ーテーシ
ョン例



○個人【陸上運動系（走り幅跳び）の例】

体力や技能の程度にかかわらず
記録への挑戦や仲間との競争を
楽しむことができますか？

・自己の体力や技能の程度に応じた
「目標記録」を設定し、挑戦する
・「目標記録との差」や「伸び」を得
点化し、友達同士やチームで競争
する

一人一人の課題に応じた練習の場が用意されていますか？

リズムカ
ルな助走



力強い
踏み切り



空中姿勢
ゴムを
へそで
通過さ
せる



両足で着地
台の上から



○授業づくりの工夫について、動画で少しだけご紹介します！（QRコードから動画をご覧ください）



体づくり運動



器械運動(マット)



陸上競技(ハードル)



水泳運動



球技(ネット型)



武道(柔道)



表現運動(ダンス)

※福岡県体育研究所やスポーツ庁のHPにも、授業づくりの参考資料や参考動画が掲載されています。

<https://www.taiikukenyusho.ed.jp/custom1.html>

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/1371875.htm

VI-4 体育・保健体育の授業以外の「楽しい取組」について

授業以外の取組についても、授業同様、事前に児童生徒の実態について把握・分析することが必要です。その際は、「運動に対する意識」「運動習慣」についても、具体的な数値をもとに把握・分析しましょう。そして、「運動に対する意識」と「運動習慣」の両面から成果指標（具体的な数値）を設定し、その達成に向けた取組を設定しましょう。（「令和5年度体力向上プランの作成及び活用について」を参照）

運動習慣の面から、**1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合を減らすこと**を目指した取組例を以下に紹介しますので参考としてください。

<具体的取組例>

○運動が苦手な児童生徒も安心して取り組める、ニュースポーツを取り入れたスポーツ大会の開催

例) ソフトバレーボールやティーボールなど

○定期的なイベントの実施（学校、学年、クラス等）

例) 日本列島横断（約3000km=約428万歩※1歩=0.7mで計算）をクラスで達成する「チャレンジウォーキング月間」。※アプリや万歩計等の活用

例) 校内でのダンスコンテスト

○ヨガやストレッチ、エクササイズ、ダンス等、気軽に取り組める運動の場の提供

例) 放課後や休み時間に、「放課後スポーツジム」として、空き教室等を利用して実施（動画等ICT活用、得意な生徒や教師がインストラクターとなる等）

○休み時間等に、運動に取り組める環境づくり

例) グラウンドや体育館開放及び用具の貸し出し

例) 体力測定（握力や長座体前屈など）コーナーの設置

○家庭でも取り組める運動事例動画の配信

例) 家族で取り組める簡単な運動遊び紹介動画

例) 体力の程度に応じて取り組めるトレーニングの紹介動画

○スポコン広場チャレンジランキングゾーンの活用（小学校）

例) 各教育事務所管内で実施される地区大会との関連を図った取組

例) オンラインでの近隣学校との交流（オンラインでの対戦等）



『運動実践につながるひと工夫』

運動が苦手な児童生徒は、体力向上への取組=厳しくつらいトレーニングと捉えてしまっているかもしれません。苦手な児童生徒に、運動を「やってみようかな」と思わせるための仕掛けとして、「健康増進のため」、「ご飯をおいしく食べるため」など、気軽に取り組みやすい目標を設定し、活動や場の工夫を行うことで楽しさや心地よさを感じることができるようになります！

※参考：体力アップ福岡モデル（福岡県体育研究所）

